

光 LINK ルータ W200

取扱説明書

このたびは、光LINKルータ W200をご利用いただきまして、まことにありがとうございます。

- ●ご使用の前に、この「取扱説明書」をよく お読みのうえ、内容を理解してからお使い ください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。



技術基準適合認証品

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。

本書中のマーク説明

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
企注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を 負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が 想定される内容を示しています。
STOP お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本 来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示し ています。
が知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示してい ます。
ワンポイント	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

厳守事項

■ID とパスワードの取り扱いについて

ユーザ ID とパスワードはお客様の大切な個人情報です。入力は必ずお客様自身で行ってください。

■取扱説明書の内容について

機能追加などにより本書の内容は予告なく変更されることがあります。機能追加や変更などに関するサポート情報につきましては、以下のホームページの更新情報を定期的に閲覧していただくことを推奨します。

当社ホームページ:

[NTT 東日本] http://web116.ip/ced/

[NTT 西日本] http://www.ntt-west.co.jp/kiki/

本商品は、「外国為替及び外国貿易法」が定める規制対象貨物に該当いたします。

本商品を日本国外に持ち出す場合は、同法に基づく輸出許可等必要な手続きをお取りください。

<セキュリティに関するご注意>

本商品は、無線 LAN の暗号化(セキュリティ)設定がされた状態で出荷されています。通常はそのままご利用いただくか、AOSS または WPS を利用して無線 LAN 機器との接続設定を行ってください。

また、無線 LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもありえますので、ご理解のうえ、ご使用ください。

セキュリティ対策を行わず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。

ご使用にあたって

この装置は、クラス B 情報技術装置です。本商品は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

- ●ご使用の際は取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。
- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。 This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- ●本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害や万一本商品に登録された情報内容が消失してしまうことなどの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いします。
- ●本商品を設置するための配線工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となり、また事故のもととなりますので絶対におやめください。
- ●本書に、他社商品の記載がある場合、これは参考を目的としたものであり、記載商品の使用を強制するものではありません。
- ●本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申し付けください。
- ●この取扱説明書、ハードウェア、ソフトウェアおよび外観の内容について将来予告なしに変更することがあります。

【廃棄(または譲渡、返却)される場合の留意事項】

本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本商品内のデータ流出などによる不測の損害を回避するために、本商品を廃棄(または譲渡、返却)される際には、取扱説明書をご覧のうえ、本商品内に登録または保持されたデータを消去くださいますようお願いいたします。

記載している画面はイメージを説明したものです。実際の画面と相違している場合がありますのでご注意ください。また、機能向上のため画面は予告なく変更される場合があります。

Microsoft[®]、Windows[®]、Windows Vista[®] は米国 Microsoft[®] Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Windows $^{\otimes}$ XP は、Microsoft $^{\otimes}$ Windows $^{\otimes}$ XP Home Edition operating system および Microsoft $^{\otimes}$ Windows $^{\otimes}$ XP Professional operating system の略です。

Windows Vista[®] は、Microsoft[®] Windows Vista[®] Home Basic operating system、Microsoft[®] Windows Vista[®] Home Premium operating system、Microsoft[®] Windows Vista[®] Business operating system および Microsoft[®] Windows Vista[®] Ultimate operating system の各日本語版かつ 32 ビット(x86)版または 64 ビット(x64) 版の略です。

Windows[®] 7 は、Windows[®] 7 Starter、Windows[®] 7 Home Premium、Windows[®] 7 Professional および Windows[®] 7 Ultimate の各日本語版かつ 32 ビット (x86) 版または 64 ビット (x64) 版の略です。 Mac、Macintosh は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

AOSSTM は株式会社バッファローの商標です。

その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

®マークおよび TM 表記については本文中に明記しません。



設置場所

● 風呂、シャワー室への設置禁止 風呂場やシャワ一室などでは使用しないでください。 漏電して、火災・感電の原因となります。







● 水のかかる場所への設置禁止

水のかかる場所で使用したり、水にぬらすなどして使用しない でください。 漏電して、火災・感電の原因となります。



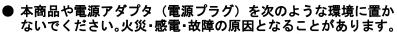




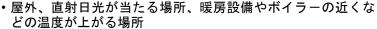
● 本商品や電源アダプタ(電源プラグ)のそばに、水や液体の入っ た花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、また は小さな金属類を置かないでください。本商品や電源アダプタ (電源プラグ) に水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に 入った場合、火災・感電の原因となることがあります。













- ・調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所
- 湿気の多い場所や水・油・薬品などのかかるおそれがある場所
- ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所
- 製氷倉庫など、特に温度が下がる場所
- 本商品を自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くに置 かないでください。



本商品からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、 誤動作による事故の原因となることがあります。

こんなときは

● 発煙した場合

万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま 使用すると、火災・感電の原因となることがあります。電源ア ダプタ(電源プラグ)を抜いて、煙が出なくなるのを確認し、 当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による 修理は危険ですから絶対におやめください。







● 水が装置内部に入った場合

万一、本商品やケーブルの内部に水などが入った場合は、すぐ に電源アダプタ(電源プラグ)を電源コンセントから抜いて、 当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると 漏電して、火災・感電の原因となります。







● 異物が装置内部に入った場合

本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの 異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異 物が入った場合は、すぐに電源アダプタ(電源プラグ)を電源 コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡くださ L1°







そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

● 電源アダプタの取り扱い注意

付属の電源アダプタ以外を使用したり、付属の電源アダプタを 他の製品に使用したりしないでください。火災・感電の原因と なることがあります。





また、電源アダプタに物を載せたり、掛けたりしないでくださ い。過熱し、火災・感電の原因となることがあります。

● 電源アダプタの設置の注意

電源アダプタは風通しの悪い狭い場所(収納棚や本棚の後ろな ど)に設置しないでください。過熱し、火災や破損の原因とな ることがあります。



また、電源アダプタ本体を宙吊りに設置しないでください。電 源プラグと電源コンセント間に隙間が発生し、ほこりによる火 災が発生する可能性があります。

電源アダプタ(電源プラグ)は容易に抜き差し可能な電源コン セントに差し込んでください。



● 電源コードが傷んだ場合

電源コードが傷んだ(芯線の露出・断線など)状態のまま使用 すると火災・感電の原因となります。すぐに電源アダプタ(電 源プラグ)を電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱 所に修理をご依頼ください。







● 電源コードの取り扱い注意

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲 げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでくださ い。火災・感電の原因となります。



また、重い物を載せたり、加熱したりすると電源コードが破損 し、火災・感電の原因となります。

● 延長コード 電源アダプタ(電源プラグ)のコードには、延長コードは使わ ないでください。火災の原因となることがあります。



● 破損した場合

万一、落としたり、破損した場合は、すぐに電源アダプタ(電 源プラグ)を電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱 所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因 となることがあります。







● 異常音がしたり、キャビネットが熱くなっている場合 本商品から異常音がしたり、キャビネットが熱くなっている状 態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。 すぐに電源アダプタ(電源プラグ)を電源コンセントから引き

抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。







禁止事項

● たこ足配線の禁止

本商品の電源コードは、たこ足配線にしないでください。たこ 足配線にするとテーブルタップなどが過熱・劣化し、火災の原 因となります。



● 商用電源以外の使用禁止

AC100 V ± 10 V (50/60 Hz) の商用電源以外では絶対に使用し ないでください。火災・感電の原因となります。



差込口が2つ以上ある壁などの電源コンセントに他の電気製品 の電源アダプタ(電源プラグ)を差し込む場合は、合計の電流 値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してくださ い。火災・感電の原因となります。





● 本商品は家庭用の電子機器として設計されております。人命に 直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステ ム(幹線通信機器や電算機システムなど)では使用しないでく ださい。



● 分解・改造の禁止

本商品のキャビネットは外さないでください。感電の原因とな ることがあります。キャビネットを開けられた場合は、本商品 の保証対象外といたします。指定以外の内部の点検・調整・清 掃・修理は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。







本商品や電源アダプタ(電源プラグ)、ケーブルに水が入ったり しないよう、また、ぬらさないようにご注意ください。漏電し て火災・感電の原因となります。







■ ぬれた手での操作禁止

ぬれた手で本商品や電源アダプタ(電源プラグ)、ケーブルを操 作したり、接続したりしないでください。感電の原因となりま す。



その他のご注意

● 異物を入れないための注意

本商品やケーブルの上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬 品や水の入った容器、または小さな貴金属を置かないでくださ い。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。





● 航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域で は、本商品の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影 響を与え、事故の原因となります。



● 本商品は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心 臓ペースメーカなどの近くに設置したり、近くで使用したりし ないでください。電子機器や心臓ペースメーカなどが誤動作す るなどの原因となることがあります。



また、医療用電子機器の近くや病院内など、使用を制限された 場所では使用しないでください。



● 本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しな いでください。 人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱



が発生する恐れがあります。

注

設置場所

● 火気のそばへの設置禁止

本商品やケーブルや電源コードを熱器具に近づけないでくださ い。ケースや電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因と なることがあります。



● 温度の高い場所への設置禁止

直射日光の当たるところや、温度の高いところ(40 ℃以上). 発熱する装置のそばに置かないでください。内部の温度が上が り、火災の原因となることがあります。



● 温度の低い場所への設置禁止

本商品を製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでく ださい。本商品が正常に動作しないことがあります。



● 湿度の高い場所への設置禁止

風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところ(湿度 90%以 上)では設置および使用はしないでください。火災、感電、故 障の原因となることがあります。





● 油飛びや湯気の当たる場所への設置禁止

調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの 多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となること があります。





● 不安定な場所への設置禁止

ぐらついた台の上や傾いた所、振動、衝撃の多い場所など、不 安定な場所に置かないでください。 また、本商品の上に重い物を置かないでください。バランスが



くずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。



● 本商品を逆さまに置かないでください。



● 通風孔をふさぐことの禁止

本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内 部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のよう な使いかたはしないでください。



- 収納棚や本棚などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
- じゅうたんや布団の上に置く
- テーブルクロスなどを掛ける
- 毛布や布団をかぶせる

1 注

● 重ね置きの禁止

本商品を重ね置きしないでください。重ね置きすると内部に熱 がこもり、火災の原因となることがあります。



● 温度変化の激しい場所 (クーラーや暖房機のそばなど) に置か ないでください。本商品やケーブルの内部に結露が発生し、火 災・感電の原因となります。



● 屋外には設置しないでください。屋外に設置した場合の動作保 証はいたしません。



● 塩水がかかる場所、亜硫酸ガス、アンモニアなどの腐食性ガス が発生する場所で使用しないでください。故障の原因となるこ とがあります。



禁止事項

● 乗ることの禁止 本商品に乗らないでください。特に小さなお子様のいるご家庭 ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。



● 高い信頼性を要求される、幹線通信機器や電算機システムでは 使用しないでください。



社会的に大きな混乱が発生する恐れがあります。

雷源

● プラグの取り扱い注意



電源アダプタ(電源プラグ)は電源コンセントに確実に差し込 んでください。抜くときは、必ずプラグを持って抜いてくださ い。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原 因となることがあります。



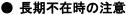
雷源アダプタ(電源プラグ)の金属部に金属などが触れると火 災、感電の原因となります。

● 電源アダプタ(電源プラグ)の清掃

電源アダプタ(電源プラグ)と電源コンセントの間のほこりは、 定期的(半年に1回程度)に取り除いてください。火災の原因 となることがあります。



清掃の際は、必ず電源アダプタ(電源プラグ)を電源コンセン トから抜いてください。火災・感電の原因となることがありま す。



長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源アダプタ (電源プラグ)を電源コンセントから抜いてください。



● 機器の電源の入れ直しは、10 秒間以上おいてから行ってくださ い。本商品が正常に動作しない場合があります。



その他のご注意

● 移動させるときの注意

移動させる場合は、電源アダプタ(電源プラグ)を電源コンセ ントから抜き、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行っ てください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることが あります。







■ 雷のときの注意

落雷の恐れのあるときは、必ず電源アダプタ(電源プラグ)を 電源コンセントから抜いてご使用をお控えください。 落雷時に、火災、感電、故障の原因となることがあります。 雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり、周辺機器の接続を

したりしないでください。落雷による感電の原因となります。







設置場所

- 本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のような所への設置は避けてください。
 - ほこりや振動が多い場所
 - ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
 - ラジオやテレビなどのすぐそばや、強い磁界を発生する装置が近くにある場所
 - 特定無線局や移動通信体のある屋内
 - 盗難防止装置など 2.4 GHz 周波数帯域を利用している装置の ある屋内
 - 高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機などが近く にある場所
- 本商品は、縦置きの場合はスタンドを取り付けて設置してください。
 転倒、落下により、けが、故障の原因となることがあります。
- 本商品を電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください。(電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など)
 - ・磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります。(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります。)
 - テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
 - 放送局や無線局などが近く、雑音が大きいときは、本商品の 設置場所を移動してみてください。
- 本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。
- 無線 LAN アクセスポイントと無線 LAN 端末の距離が近すぎる とデータ通信でエラーが発生する場合があります。1m 以上離 してお使いください。
- ●本商品とコードレス電話機や電子レンジなどの電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したり、データ通信が切れる場合があります。また、コードレス電話機の通話にノイズが入ったり、発信・着信が正しく動作しない場合があります。このような場合は、お互いを数メートル以上離してお使いください。
- 本商品の隙間から虫(ゴキブリなど)が入ると、故障の原因となることがあります。
 - ・厨房や台所などに設置するときは、虫が入らないようにご注意ください。



禁止事項

- 動作中にケーブル類が外れたり、接続が不安定になると誤動作の原因となり、大切なデータを失うことがあります。動作中は、コネクタの接続部には絶対に触れないでください。
- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 本商品は家庭用の電子機器として設計されております。本商品にパソコンなどの電子機器を非常に多く接続し、通信が集中した場合に、本商品が正常に動作できない場合がありますのでご注意ください。

日頃のお手入れ

- 本商品のお手入れをする際は、安全のため必ず電源アダプタ(電源プラグ)を電源コンセントから抜いて行ってください。
- 汚れたら、乾いた柔らかい布でふき取ってください。汚れのひどいときは、中性洗剤を含ませた布でふいたあと、乾いた布でふき取ってください。化学ぞうきんの使用は避けてください。ただし、コネクタ部分はよくしぼった場合でもぬれた布では、絶対にふかないでください。ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、アルコールは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因となることがあります。
- 本商品に殺虫剤などの揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール、粘着テープなどを長時間接触させないでください。変形や変色の原因となることがあります。

ご利用前の注意事項

通信に関する注意事項

- お客様宅内での接続環境により、最大通信速度が得られない場合や、通信速度が変動する状態または通信が利用できない状態となる場合があります。
- インターネット常時接続をご利用の場合、ネットワークを介して外部からの不正侵入および情報搾取などの危険が増えます。必要に応じて、お客様のパソコン上にファイアウォールのソフトウェアをインストールするなどの対応をお願いいたします。

お客様情報に関する注意事項

- 本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本商品内のデータが流出すると不測の損害を受ける恐れがありますので、データの管理には十分お気をつけください。
- 本商品を廃棄(または譲渡、返却など)される際は、本商品を 初期化することにより、本商品内のデータを必ず消去してくだ さい。
- 本商品の初期化は、本書に記載された初期化方法の手順にしたがって実施してください。

無線 LAN に関する注意事項

- 最大300Mbps(規格値)や最大54Mbps(規格値)は、IEEE802.11 の無線 LAN 規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度(実効値)を示すものではありません。
- 無線 LAN の伝送距離や伝送速度は、周囲の環境条件(通信距離、障害物・電子レンジなどの電波環境要素、使用するパソコンの性能、ネットワークの使用状況など)により大きく変動します。

電波に関するご注意

無線 LAN 機器の電波に関するご注意

本商品を IEEE802.11b、IEEE802.11g で利用時は、2.4GHz 帯域の電波を利用しており、この周波数帯では電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用構内無線局、および免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下、「他の無線局」と略す)が運用されています。

- 1. 本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 2. 万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
- 3. その他、電波干渉の事例が発生し、何かお困りのことが起きた場合には、本書の裏表紙に記載のお問い合わせ先へご連絡ください。
- 本商品は、日本国内でのみ使用できます。
- 次の場所では、電波が反射して通信できない場合があります。
 - ・強い磁界、静電気、電波障害が発生するところ(電子レンジ付近など)
 - 金属製の壁(金属補強材が中に埋め込まれているコンクリートの壁も含む)の部屋
 - 異なる階の部屋どうし
- 本商品と同じ無線周波数帯の無線機器が、本商品の通信可能エリアに存在する場合、転送速度の低下や通信エラーが生じ、正常に通信できない可能性があります。
- 本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。
- ◆ 本商品は、技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
 - 本商品を分解/改造すること
- 本商品は、他社無線 LAN カードやパソコン内蔵の無線との動作を保証するものではありません。
- 本商品は2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。 変調方式として DS-SS 方式および OFDM 方式を採用しており、与干渉距離は40m です。

本商品に表示した

2.4 DS/OF 4

は、次の内容を示します。

2.4	使用周波数帯域	2.4GHz 帯
DS/OF	変調方式	DS-SS および OFDM 方式
4	想定干渉距離	40m 以下
	周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ、移動体識別装置の帯域を回避 可能であること

無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線 LAN アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁など)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

● 通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報、メールの内容などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

● 不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す(情報漏洩)、特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流したり、傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)、コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN カードや無線 LAN アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

無線 LAN 機器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が行われていない場合があります。

したがって、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線 LAN カードや無線 LAN アクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線 LAN 機器のセキュリティに関するすべての設定をマニュアルにしたがって行ってください。

なお、無線 LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもありえますので、ご理解のうえ、ご使用ください。 セキュリティの設定などについて、ご不明な点があれば、本書の裏表紙に記

セキュリティの設定などについて、ご不明な点があれば、本書の裏表紙に記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

当社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

セキュリティ対策を行わず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。

目次

1_	はじめに	21
	おもな特長	21
	動作環境	
	ポープ・パー・ボー・ボー・ボー・ボー・ボー・ボー・ボー・ボー・ボー・ボー・ボー・ボー・ボー	
	各部の名称とはたらき	
	前面	
	背面	
	上面	
	底面	
	側面	
	使用環境の確認	
	本商品の動作モード	
	ルータモード	
	ブリッジモード	
	オートモード	
	リピータモード	
2	本商品の設置	33
	設置方法	33
	縦置きにする場合	33
	横置きにする場合	33
	壁に設置する場合	34
	回線の接続と電源の接続	35
	ランプ状態の確認	37
_	<u> </u>	
3	本商品の初期設定 (ルータ・ブリッジモード)	39
	+n+n=n,ch	
	初期設定のながれ	
	パソコンとの接続	40
	LAN ケーブルを使って接続する場合(有線 LAN)	
	無線で接続する場合 (無線 LAN)	
	インターネットへの接続(接続確認)	11

4	本商品の初期設定 (リピータモード)	47
	4TH=Thウのようよう	47
	初期設定のながれ 設定用パソコンと本商品の接続	47
	設定用パソコンへの IP アドレスの割り当て	48
	設定用バノコンへの IF アドレスの割り当 C	
	Windows / とぬ という場合 Windows Vista をお使いの場合	
	Windows Visita ともしている場合	
	Mac OS Xをお使いの場合	
	リピータモードへの切り替え	
	無線親機との接続	64
	AOSS を使って接続する場合	64
	かんたん設定ファイルを使って接続する場合	66
	無線親機を検索して接続する場合	69
	設定用パソコンの IP アドレス設定の変更	
	Windows 7 をお使いの場合	
	Windows Vista をお使いの場合	
	Windows XP をお使いの場合	
	Mac OS Xをお使いの場合	
	パソコンとの接続	
	LAN ケーブルを使って接続する場合(有線 LAN)	
	無線で接続する場合(無線 LAN)	/8
5	本商品の設定画面	81
	設定画面とは	81
	設定画面を表示する	83
	Windows パソコンで設定画面を表示する	83
	Macintosh で設定画面を表示する	87
	メニュー構成 (ルータモード)	88
	メニュー構成(ブリッジモード)	90
	メニュー構成(リピータモード)	
	Internet/LAN(LAN 設定)	94
	Internet (ルータモード時のみ) PPPoE (ルータモード時のみ)	94
	PPTP サーバ(ルータモード時のみ)	
	PPTP リーバ(ルータモート時のみ) LAN	
	DHCP リース(ルータモード時のみ)	
	アドレス変換(ルータモード時のみ)	107 108
	経路情報	
	RIP	
	無線設定	

	WPS1	12
	AOSS1	
	基本 (11n/g/b) (ルータ / ブリッジモード時のみ)	
	パソコン側(11n/g/b)(リピータモード時のみ)	
	拡張 (11n/g/b)	
	WMM (11n/g/b)	
	MAC アクセス制限	
	マルチキャスト制御1 リピータ(ルータ / ブリッジモード時のみ)	
	アクセスポイント側(リピータモード時のみ)	34
	セキュリティ(ルータモード時のみ)1	
	ファイアウォール(ルータモード時のみ)	
	IP フィルタ(ルータモード時のみ)1	38
	IPv6/PPPoE ブリッジ・VPN パススルー (ルータモード時のみ)1	41
	ゲーム&アプリ(ルータモード時のみ)1	
	ポート変換(ルータモード時のみ)	
	DMZ(ルータモード時のみ)1	
	UPnP(ルータモード時のみ)1	
	QoS(ルータモード時のみ)1	45
	管理設定1	47
	本体1	47
	パスワード1	48
	時刻1	49
	NTP1	50
	エコ1	51
	アクセス1	
	ログ1	
	保存 / 復元	
	初期化 / 再起動	
	ファーム更新	
	ステータス1	
	システム1	
	ログ1	
	通信パケット	
	クライアントモニタ	
	診断1	וסו
	上	
5	本商品の各種設定10	53
	おまかせ節電機能を使って消費電力を抑える1	63
	AOSS 接続で設定された内容を確認する	
	AOSS 接続を無効にする	

	倍速モード (最大 300Mbps) で通信する	
	無線チャンネルを変更する	1/1
	他の無線機器から本商品を検索できなくする(ANY 接続拒否)	_
	アクセス可能な無線機器を制限する(MAC アクセス制限)	
	無線機器同士の通信を禁止する(プライバシーセパレータ)	
	WEP 接続の無線機器からのアクセスを制限する(隔離機能)	
	ポートを開放する	
	ネットワークゲームや各種サーバを公開する場合など、あらかし	
	利用するポート番号が分かっている場合	
	利用するポート番号が不明な場合	
	フレッツ・スクウェアの設定をする	
	フレッツ 光ネクスト サービス情報サイトの設定をする	
	ブロードバンド映像サービスの利用設定をする	
	Windows Live メッセンジャーを使う	
	DHCP サーバ機能(IP アドレス自動割当機能)の設定を変更する。	
	B フレッツなどで固定 IP サービスを利用する(IP Unnumbered)	
	2つ以上のプロバイダに同時に接続する	
	ルータ機能を停止する	
	本商品の LAN 側 IP アドレスを変更する	
	設定画面のパスワードを設定する	
	本商品のファームウェアバージョンを確認する	
	かんたん設定ファイルを作成する	213
		213
-	かんたん設定ファイルを作成する	
7		
7	かんたん設定ファイルを作成する	215
7	かんたん設定ファイルを作成する	215 215
7	かんたん設定ファイルを作成する	2 15 215 215
7	かんたん設定ファイルを作成する 2 付属ソフトの使いかた 2 ソフトウェア概要 無線親機設定ユーティリティ 無線子機設定ユーティリティ(FT-STC/U-B 設定ユーティリティ)	215 215 215 215 215
7	かんたん設定ファイルを作成する	215 215 215 215 216
7	かんたん設定ファイルを作成する	215 215 215 215 216 219
7	かんたん設定ファイルを作成する	215 215 215 215 216 219 219
7	かんたん設定ファイルを作成する 付属ソフトの使いかた ソフトウェア概要 無線親機設定ユーティリティ 無線子機設定ユーティリティ (FT-STC/U-B 設定ユーティリティ) インストール方法 無線親機設定ユーティリティの使いかた 起動と終了のしかた トップ画面 トップ画面	215 215 215 216 219 219 219
7	かんたん設定ファイルを作成する 付属ソフトの使いかた ソフトウェア概要 無線親機設定ユーティリティ 無線子機設定ユーティリティ (FT-STC/U-B 設定ユーティリティ) インストール方法 無線親機設定ユーティリティの使いかた 起動と終了のしかた トップ画面 無線親機の選択画面	215 215 215 216 219 219 219 220
7	かんたん設定ファイルを作成する 付属ソフトの使いかた ソフトウェア概要 無線親機設定ユーティリティ 無線子機設定ユーティリティ(FT-STC/U-B 設定ユーティリティ) インストール方法 無線親機設定ユーティリティの使いかた 上動と終了のしかた トップ画面 無線親機の選択画面 操作の選択画面 操作の選択画面	215 215 215 216 219 219 219 220 221
7	かんたん設定ファイルを作成する 付属ソフトの使いかた ソフトウェア概要 無線親機設定ユーティリティ 無線子機設定ユーティリティ (FT-STC/U-B 設定ユーティリティ) インストール方法 無線親機設定ユーティリティの使いかた 起動と終了のしかた トップ画面 無線親機の選択画面 操作の選択画面 完了画面	215 215 215 216 219 219 219 220 221 222
7	かんたん設定ファイルを作成する 付属ソフトの使いかた ソフトウェア概要 無線親機設定ユーティリティ 無線子機設定ユーティリティ (FT-STC/U-B 設定ユーティリティ) インストール方法 無線親機設定ユーティリティの使いかた 起動と終了のしかた トップ画面 無線親機の選択画面 操作の選択画面 完了画面 IP アドレス設定画面 1P アドレス設定画面	215 215 215 216 219 219 220 221 222 223
7	かんたん設定ファイルを作成する 付属ソフトの使いかた ソフトウェア概要 無線親機設定ユーティリティ 無線子機設定ユーティリティ (FT-STC/U-B 設定ユーティリティ) インストール方法 無線親機設定ユーティリティの使いかた 起動と終了のしかた トップ画面 無線親機の選択画面 操作の選択画面 完了画面	215 215 215 216 219 219 220 221 222 223
7	かんたん設定ファイルを作成する 付属ソフトの使いかた ソフトウェア概要 無線親機設定ユーティリティ 無線子機設定ユーティリティ (FT-STC/U-B 設定ユーティリティ) インストール方法 無線親機設定ユーティリティの使いかた 起動と終了のしかた トップ画面 無線親機の選択画面 完了画面 アドレス設定画面 パソコンの IP アドレス設定画面 無線親機の IP アドレス設定画面	215 215 215 216 219 219 220 221 222 223 224 225
7	かんたん設定ファイルを作成する 付属ソフトの使いかた ソフトウェア概要 無線親機設定ユーティリティ 無線子機設定ユーティリティ (FT-STC/U-B 設定ユーティリティ) インストール方法 無線親機設定ユーティリティの使いかた 起動と終了のしかた トップ画面 無線親機の選択画面 無線親機の選択画面 完了画面 IP アドレス設定画面 パソコンの IP アドレス設定画面	215 215 215 216 219 219 220 221 222 223 224 225
7	かんたん設定ファイルを作成する 付属ソフトの使いかた ソフトウェア概要 無線親機設定ユーティリティ 無線子機設定ユーティリティ (FT-STC/U-B 設定ユーティリティ) インストール方法 無線親機設定ユーティリティの使いかた 起動と終了のしかた トップ画面 無線親機の選択画面 完了画面 アドレス設定画面 パソコンの IP アドレス設定画面 無線親機の IP アドレス設定画面	215 215 215 215 216 219 219 220 221 222 223 224 225 226
7	かんたん設定ファイルを作成する 付属ソフトの使いかた 2 ソフトウェア概要 無線親機設定ユーティリティ 無線子機設定ユーティリティ(FT-STC/U-B 設定ユーティリティ) インストール方法 無線親機設定ユーティリティの使いかた 起動と終了のしかた トップ画面 無線親機の選択画面 完了画面 パソコンの IP アドレス設定画面 無線親機の IP アドレス設定画面 無線発機設定ユーティリティの使いかた (Windows 7/Vista)	215 215 215 215 216 219 219 220 221 222 223 224 225 226 226

	接続先の作成画面(オプション)	
	手動設定方法の選択画面	
	無線親機の検索画面	
	追加するワイヤレスネットワークの情報画面	
	詳細設定画面(ステータス)	233
	無線 LAN 診断画面	
	詳細設定画面(接続先一覧)	236
	接続先情報の編集画面(無線設定の表示)	
	接続先情報の編集画面(ネットワーク設定)	
	接続先情報の編集画面(ブラウザ設定)	
	接続先情報の編集画面(プリンタ設定)	
	無線子機設定ユーティリティの使いかた(Windows XP)	241
	起動と終了のしかた	241
	タスクトレイアイコンメニュー	242
	ステータス画面	243
	検索画面	245
	接続画面	246
	プロファイル画面	247
	プロファイル情報の設定画面(基本設定)	248
	プロファイル情報の設定画面(ネットワーク)	249
	プロファイル情報の設定画面(ブラウザ)	250
	プロファイル情報の設定画面(プリンタ)	251
	オプションメニュー	252
	ソフトウェアの削除	
8	パソコンを無線接続する	257
_		201
	本商品との接続例	0.57
	接続のながれ	
	AOSS/WPS(プッシュボタン式)を使って接続する場合	
	WPS(PIN コード式)を使って接続する場合	
	本商品を検索して接続する場合	
	本商品を検索して接続する場合 本商品との接続	262
	本商品を検索して接続する場合本商品との接続本商品との接続	262 ndows 7/
	本商品を検索して接続する場合本商品との接続 本商品との接続AOSS/WPS(プッシュボタン式)を使って接続する場合(Wil Vista)	262 ndows 7/ 262
	本商品を検索して接続する場合本商品との接続	262 ndows 7/ 262 ndows
	本商品を検索して接続する場合本商品との接続	262 ndows 7/ 262 ndows 269
	本商品を検索して接続する場合本商品との接続	262 ndows 7/ 262 ndows 269 ta) . 274
	本商品を検索して接続する場合本商品との接続	262 ndows 7/ 262 ndows 269 ta) . 274 281
	本商品を検索して接続する場合本商品との接続	262 ndows 7/ 262 ndows 269 ta) . 274 281 286
	本商品を検索して接続する場合本商品との接続	262 ndows 7/ 262 ndows 269 ta) . 274 281 286 292

9	PPTP サーバ機能	. 297
	PPTP サーバ機能とは	207
	外出先から接続するための準備をする	208
	外出先で使用するパソコンの設定をする	
	Windows 7/Vista をお使いの場合	
	Windows XP をお使いの場合	
	Mac OS X をお使いの場合	
	自宅 / 社内のパソコンを外出先から遠隔操作できるようにする	313
	Windows 7/Vista をお使いの場合	
	Windows XP をお使いの場合	
	外出先から接続する	
	Windows 7 をお使いの場合	
	Windows Vista をお使いの場合	
	Windows XP をお使いの場合	320
	Mac OS X をお使いの場合	322
	外出先から自宅/社内のパソコンを遠隔操作する	
40	田・もしさは	205
10	困ったときは	. 325
	無線接続で困ったとき	325
	無	326
	その他の設定で困ったとき	
	との他の設定で超りたとと	320
11	付録	. 329
	製品仕様	
	ケーブル仕様	
	ツイストペアケーブルとポート仕様	
	初期設定一覧	
	用語集	
	保守サービスのご案内	
	保証について	
	保守サービスについて	344
	補修用部品の保有期間について	
	設定内容一覧表	345

はじめに

おもな特長

本商品のおもな特長は次のとおりです。

IEEE802.11n、IEEE802.11b/g 対応

2.4GHz MIMO-OFDM/OFDM 方式、2.4GHz DS-SS 方式を採用。IEEE802.11n や IEEE802.11b/g 規格に対応した無線機器との間でデータ通信ができます。

倍速モードを搭載

2 つのチャンネル(通信帯域)を使用して無線通信を高速化する倍速モードを搭載。規格上 300Mbps の高速通信を実現します。

AOSS 機能

バッファロー社が開発した AOSS (AirStation One-Touch Secure System) 機能を搭載。無線機器同士の接続と暗号化をワンタッチで簡単に行うことができます。

セキュリティ機能

本商品は、以下のセキュリティ機能を搭載しています。

- WPA-PSK (TKIP/AES)
- WPA2-PSK (TKIP/AES)
- WEP (128/64bit)

※ 暗号化に WEP(128/64bit)や TKIP を設定すると通信速度が遅くなる場合があります。暗号化は、AES のご利用を推奨します。

マルチセキュリティ機能

AES/TKIP/WEP を混在利用できるマルチセキュリティ機能を搭載。3 つのセキュリティ方式の混在利用が可能で様々な機器と接続することができます。

リピータ機能

障害物を回避して、電波の届かない死角エリアへ無線 LAN 通信を中継するリピータ機能を搭載しています。

電波混雑防止機能

周囲にある無線機器の使用状況を見て、使用されていないチャンネルを自動的に本商品に割り当てる電波混雑防止機能を搭載。電波干渉の発生を防ぎます。

100BASE-TX/10BASE-T 対応スイッチングハブを搭載

背面に 100BASE-TX/10BASE-T に対応したスイッチングハブを搭載しているため、パソコンやネットワーク機器を接続することができます。

動作環境

本商品の動作環境は次のとおりです。

対応 OS

<光 LINK ルータ W200 本体>

Windows 7(32bit/64bit)、Vista(32bit/64bit)、XP(32bit)、Mac OS X (10.4 以降)

- ※ Windows 7 は、Starter/Home Premium/Professional/Ultimate に対応しています。
- ※ Windows Vista は、Home Basic/Home Premium/Business/Ultimate に対応しています。

く設定ユーティリティ>

Windows 7 (32bit/64bit), Vista (32bit/64bit), XP (32bit)

- ※ Windows 7 は、Starter/Home Premium/Professional/Ultimate に対応しています。
- ※ Windows Vista は、Home Basic/Home Premium/Business/Ultimate に対応しています。

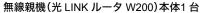
対応ブラウザ

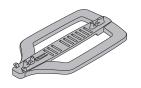
Internet Explorer 6.0 以降 Safari 3.0 以降(Mac OS X のみ)

パッケージ内容

設置を始める前に、パッケージ内容がすべて揃っていることを確認してください。セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所にご連絡ください。







スタンド......1個



壁掛け用ねじ......2本



LAN ケーブル(ストレート)1本



AC アダプタ1 個



光 LINK ルータ W200 専用 CD-ROM 1 枚



取扱説明書(本書)......1冊

保証書	

保証書......1 枚

第1章 はじめに



無線LAN機器の電波に関するご注意

通信機器お取扱相談センタシール...1枚

無線注意ラベル1 枚



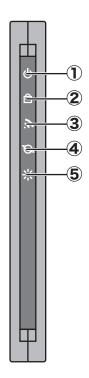
ワンポイント

- ・別紙で追加情報が添付されている場合は、必ず参照してください。
- 本商品に格納されているプログラムには、GNU General Public Licence (GPL) または GNU Lesser Public Licence (LGPL) にもとづきライセンスされるソフトウェアが含まれています。
 本商品に格納されているプログラムのライセンス対象ソースコードは、下記 Web サイトからダウンロードいただけます。

http://opensource.buffalo.jp/gpl_ntt_wireless.html

各部の名称とはたらき

前面



(1) **POWER ランプ(緑)** 電源 ON 時に点灯します。

② SECURITY ランプ(橙) 消灯 :AOSS 設定をしていない/暗号を設定していない

点灯 :セキュリティキー交換処理に成功(AOSS/WPS 成功)/

手動で暗号を設定している

2回点滅 :セキュリティキー交換処理を行える状態(AOSS/WPS 待

機中)

点滅 : セキュリティキー交換処理に失敗(AOSS/WPS 失敗)

※このランプが点灯しているときは、暗号化キーが設定されています。AOSSにて設定された暗号化キーは、「AOSS接続で設定された内容を確認する」(P166)を、WPSにて設定された暗号化キーは、「WPS用無線セキュリティ設定」の画面(P112)を参照して確認してください。

③ WIRELESS ランプ(緑) 点灯:無線 LAN 動作時 点滅:無線 LAN 通信時

④ ROUTER ランプ(緑)点灯:ルータ機能有効時 消灯:ルータ機能無効時

(ルータモード) (ブリッジモード、リピータモード)

⑤ DIAG ランプ(赤)

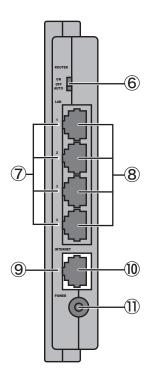
点滅回数により本商品の状態を示します。

※本商品の電源を投入した際にも、しばらく点灯します。

ランプ状態	内容	状態
2 回点滅 ^{※ 1}	フラッシュ ROM 異常	フラッシュメモリの読み書きが できません。
3 回点滅※1	有線 LAN 異常	有線 LAN コントローラが 故障しています。
4 回点滅 ^{※ 1}	無線 LAN 異常	無線 LAN コントローラが 故障しています。
5 回点滅	IP アドレス 設定異常	INTERNET ポートと LAN ポートのネットワークアドレスが同じのため通信できません。本商品の LAN 側 IP アドレスの設定を変更してください。
連続点滅※2	ファーム ウェア 更新中 設定保存中	ファームウェアを更新していま す。 設定を保存しています。

- ※1 一度、AC アダプタをコンセントから抜いて、しばらくしてから 再度差し込んでください。再びランプが点滅している場合は、 故障受付にご連絡ください。
- ※2 ファームウェア更新中と設定保存中は、絶対に AC アダプタを コンセントから抜かないでください。本商品が故障する恐れが あります。

背面



⑥ ROUTER スイッチ

本商品のルータ機能の有効/無効/AUTOを切り替えます。

:ルータ機能有効(ルータモード) ON

:ルータ機能無効(ブリッジモード/リピータモード)

AUTO: INTERNET ポートに接続された機器の情報を元に、ルータ

機能の ON/OFF を自動で切り替えます。(オートモード)

(出荷時は AUTO に設定されています)

※ リピータモードへの切り替えは、本商品の設定画面(P62)からのみ行 えます。

※ ROUTER スイッチを切り替える場合は、あらかじめ本商品の AC アダ プタをコンセントから抜いてください。

⑦ LAN ランプ(緑)

点灯: 各 LAN ポートリンク時 点滅: 各 LAN ポート通信時

® LAN ポート

パソコン等を接続します。10M/100M 対応スイッチングハブです。

③ INTERNET ランプ(緑) 点灯: INTERNET ポートリンク時 点滅: INTERNET ポート通信時

⑩ INTERNET ポート

回線終端装置(ONU)、加入者網終端装置(CTU)、ひかり電話ルータ、

ADSL モデム等を接続します。10M/100M 対応です。

① DC コネクタ

付属の AC アダプタを接続します。

上面



⑫ AOSS ボタン

本商品の電源を入れた状態で、SECURITY ランプが点滅するまで(約 1 秒間)ボタンを押すと、本商品がセキュリティキー交換処理を行える状態(AOSS/WPS 動作状態)になります。

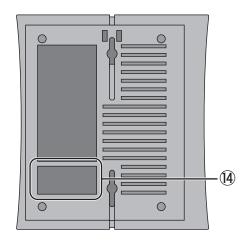
底面



③ RESET ボタン

本商品の電源を入れた状態で、DIAG ランプが点滅するまで(約3秒間)ボタンを押すと、本商品の設定が初期化されます。

側面



(4)出荷時設定ラベル

本商品の出荷時設定値(設定画面を表示するためのSSID、PINコード、セキュリティキーなど)が記載されています。

使用環境の確認

本商品の設置を行う前に、以下の事項をご確認ください。

■ プロバイダ契約および工事は完了していますか?

プロバイダへの加入およびフレッツ 光ネクスト、B フレッツ、フレッツ・光プレミアム、フレッツ・ADSL などの接続サービスに加入し、工事が完了していないと、インターネットに接続できません。

サービスへの加入や工事が完了しているか、あらかじめご確認ください。

■ 回線終端装置(ONU)、加入者網終端装置(CTU)、ひかり電話ルータ、 ADSL モデムなどの機器はそろっていますか?

インターネットに接続するには、回線に応じた機器(回線終端装置(ONU)/ 加入者網終端装置(CTU)/ひかり電話ルータ/ADSLモデムなど)が必要です。これらの機器が設置され、配線が完了していることを確認してください。設置 / 配線については、各機器の取扱説明書を参照するか、ご契約のプロバイダへお問い合わせください。

■ ユーザ名やパスワードなどの情報はそろっていますか?

本商品の初期設定を行う際に、プロバイダから通知されたユーザ名やパスワードなどの情報が必要になる場合があります。それらの情報はプロバイダとの契約書類に記載されていますので、本商品の初期設定を行う前にご準備ください。

設定に必要な情報の例:・接続先ユーザ名

- ・接続先パスワード
- ·DNS(ネーム)サーバアドレス

■ パソコンの準備は完了していますか?

本商品にLANケーブルをつないでインターネットに接続する場合は、パソコンにLAN端子があるかご確認ください。LAN端子がない場合は、LANアダプタを増設してください。

本商品とパソコンを無線でつないでインターネットに接続する場合は、パソコン本体の無線機能を有効にするか、無線子機を増設してください。



ワンポイント

LAN アダプタや無線子機の増設方法やパソコン本体の無線機能を有効にする方法については、 各機器の取扱説明書を参照してください。

本商品の動作モード

本商品には、「ルータモード」、「ブリッジモード」、「リピータモード」の3つの動作モードに加えて、ルータモードとブリッジモードを自動判別する「オートモード」があります。本商品をご使用になる環境にあわせて、動作モードを設定してください。動作モードの設定方法は、本書P27を参照してください。



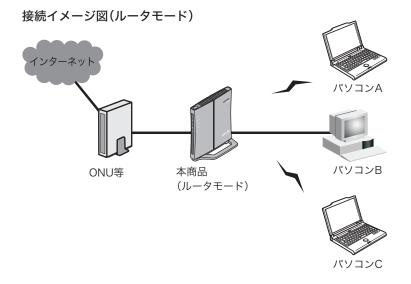
お知らせ

本商品は、出荷時は「オートモード」に設定されていますので、設定変更が必要にならない限りは、オートモードでご利用いただくことをお勧めします。

ルータモード

複数の機器からインターネットに接続する場合など、インターネット接続を共有する場合は、 ルータモードに設定します。

本商品では、PPPoE 機能が実装されているため、フレッツ接続ツールなどのソフトウェアをインストールしなくても各機器からインターネットに接続できます。



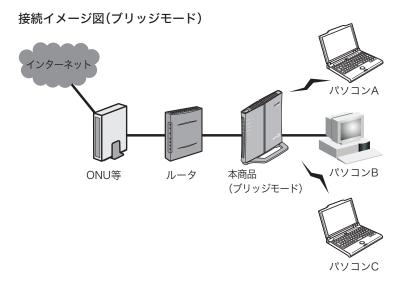


お知らせ

すでにネットワーク内にルータがある場合(フレッツ・光プレミアムで CTU(加入者網終端装置)をお使いの場合などを含む)は、本商品をブリッジモード(P31)でお使いください。

ブリッジモード

すでにネットワーク内にルータがある場合(フレッツ・光プレミアムでCTU(加入者網終端装置)をお使いの場合などを含む)は、ブリッジモードに設定します。「ブリッジ」とは、橋渡しを意味し、ネットワークを流れるデータの中継を行います。

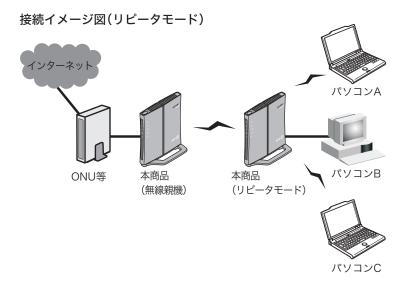


オートモード

本商品の INTERNET ポートに接続された機器の情報を元に、ルータモードとブリッジモードを 自動判別し、最適な設定にするモードです。本商品の出荷時状態は、このモードに設定されていま す。

リピータモード

無線親機と無線機器間に障害物等がある場合など、電波が届きにくく、通信が不安定な場合は、本商品をリピータモードに設定して、無線親機と無線機器の間に設置します。この場合、本商品は無線の中継器として機能します。





本商品の設置

設置方法

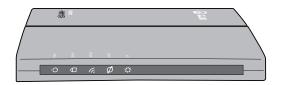
縦置きにする場合

縦置きにする場合は、付属のスタンドを使って設置します。



横置きにする場合

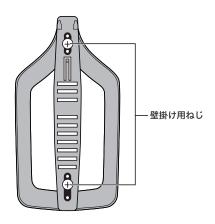
横置きにする場合は、下図のように設置します。



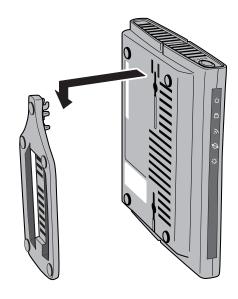
壁に設置する場合

壁に設置する場合は、以下の手順で設置します。

1 壁掛け用ねじを使って、スタンドを壁に固定します。



2 本商品をスタンドに取り付けます。



回線の接続と電源の接続

設置が完了したら、ONU(回線終端装置)、CTU(加入者網終端装置)、ひかり電話ルータ、ADSL モデムなどと本商品を接続します。

- 1 ONU(回線終端装置)、CTU(加入者網終端装置)、ひかり電話ルータ、ADSL モデムなどの電源を OFF にします。
- 2 本商品背面の ROUTER スイッチが「AUTO」になっていることを確認します。





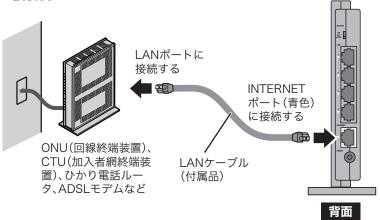
) ワンポイント

- ・背面の ROUTER スイッチは、出荷時は「AUTO」に設定されています。
- ・スイッチを切り替える場合は、あらかじめ本商品の AC アダプタをコンセントから抜いてください。

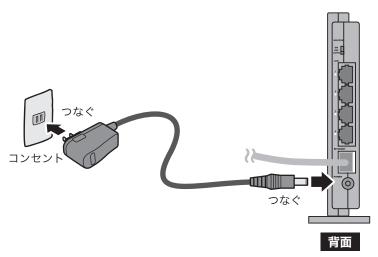
第2章 本商品の設置

3 ONU(回線終端装置)、CTU(加入者網終端装置)、ひかり電話ルータ、ADSL モデム などのLANポートと本商品背面のINTERNETポート(青色のポート)を付属のLAN ケーブルを使って接続します。

<接続例>



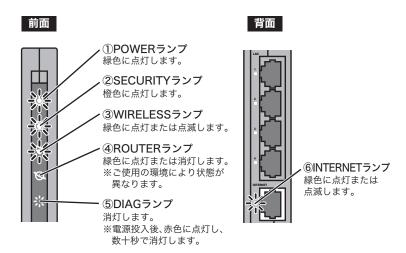
- **4** ONU(回線終端装置)、CTU(加入者網終端装置)、ひかり電話ルータ、ADSL モデム などの電源を ON にします。
- 5 付属の AC アダプタを本商品とコンセントに接続します。



以上で回線と電源の接続は完了です。 続いて本商品のランプの状態(P37)を確認します。

ランプ状態の確認

本商品と回線の接続が完了したら、本商品のランプの状態を確認します。



ランプが上記の状態にならないときは、10章「困ったときは」を参照してください。



ワンポイント

- ROUTER ランプが緑色に点灯している場合は、本商品がルータモードで動作しています。
- ・ROUTER ランプが消灯している場合は、本商品はブリッジモード (またはリピータモード) で動作しています。

第2章 本商品の設置

MEMO



本商品の初期設定

(ルータ・ブリッジモード)

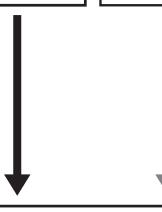
初期設定のながれ

本商品をルータまたはブリッジとして使用する場合は、以下のながれで初期設定を行います。

LANケーブルで 本商品に接続する場合

無線で本商品に接続する場合

パソコンと本商品を LANケーブルで接続 する (P40) 当社の無線子機 (Web Caster FT-STU-Bng等) をセットアップする (無線子機の取扱説明書を 参照) パソコン本体の無線 機能を有効にする





本商品の無線設定 情報をご確認のうえ、 無線で接続する (P42)



インターネットに接続できるか確認する (P44) ※お使いの環境によっては、プロバイダ情報の設定が必要になる場合があります。





設定完了

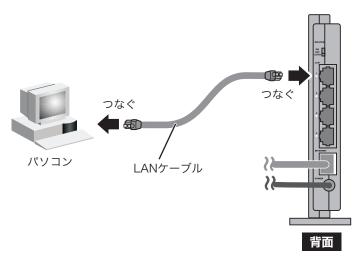
パソコンとの接続

本商品とパソコンとの接続方法は、次の2通りあります。

- LAN ケーブルを使って接続する方法(P40)
- ・無線で接続する方法(P42)

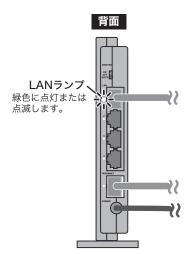
LAN ケーブルを使って接続する場合(有線 LAN)

- 1 パソコンの電源を OFF にします。
- **2** パソコンのLANポートと本商品背面のLANポートをLANケーブルで接続します。



 $oldsymbol{3}$ パソコンの電源を ON にします。

4 本商品背面の LAN ランプが点灯または点滅していることを確認します。



ランプが上記の状態にならないときは、 10章「困ったときは」を参照してください。

以上で本商品とパソコンの接続は完了です。

無線で接続する場合(無線 LAN)

■当社の無線子機(Web Caster FT-STU-Bng 等)をお使いの方

本商品に無線で接続する場合は、事前に以下の内容を確認した後、無線子機(Web Caster FT-STU-Bng 等)の取扱説明書に記載の手順で接続してください。

※ AOSS または WPS で本商品に無線接続する場合は、接続設定が自動的に行われますので、下記内容の確認は不要です。

事前にご確認いただく内容

·本商品の SSID

(出荷時設定値: 本商品の出荷時設定ラベル(P28)に記載)

・暗号化の種類

(出荷時設定値: WPA/WPA2 mixedmode-PSK TKIP/AES mixedmode)

・暗号化キー

(出荷時設定値: 本商品の出荷時設定ラベル(P28)に記載)



ワンポイント

- 現在の設定は、「WPS 用無線セキュリティ設定」の画面(P112)で確認できます。
- 本商品に既に AOSS が設定されている場合、設定値は「現在のセキュリティ情報」の画面 (P114)で確認できます。

■パソコン本体の無線機能をお使いの方

本商品に無線で接続する場合は、事前に以下の内容を確認した後、本書第 8 章に記載の手順で接続してください。

※ AOSS または WPS で本商品に無線接続する場合は、接続設定が自動的に行われますので、下記内容の確認は不要です。

事前にご確認いただく内容

·本商品の SSID

(出荷時設定値: 本商品の出荷時設定ラベル(P28)に記載)

・暗号化の種類

(出荷時設定値: WPA/WPA2 mixedmode-PSK TKIP/AES mixedmode)

・暗号化キー

(出荷時設定値: 本商品の出荷時設定ラベル(P28)に記載)



(√√√√) ワンポイント

- ・現在の設定は、「WPS 用無線セキュリティ設定」の画面(P112)で確認できます。
- ・本商品に既に AOSS が設定されている場合、設定値は「現在のセキュリティ情報」の画面 (P114) で確認できます。

インターネットへの接続(接続確認)

本商品とパソコンとの接続が完了したら、以下の手順でインターネットに接続できるか確認してください。

Internet Explorer (または Safari)などの Web ブラウザを起動し、ホームページが表示されることを確認します。



ワンポイント

- ・ホームページが表示された場合は、設定完了です。手順2以降の操作は必要ありません。
- ・ホームページが表示されない場合は、続いて手順2以降を行ってください。
- 2 ユーザ名とパスワードの設定画面が表示されたら、ユーザ名に「root」(小文字)、 パスワードを空欄にして[OK]をクリックします。





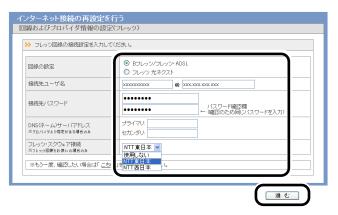
お知らせ

[OK]をクリックしたときに再度同じ画面が表示される場合は、もう一度この操作を行ってください。

3 以下の画面が表示されたら、画面が切り替わるまでしばらく待ちます。



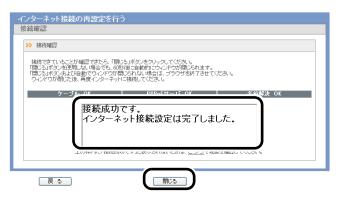
4 プロバイダの資料(プロバイダ登録通知書など)にしたがって、各項目を入力し、 [進む]をクリックします。



5 本商品が接続設定を確認しますので、画面が切り替わるまでしばらく待ちます。

ケーブル OK PPPoEサーバ 名前解決 一 確認中です	/ターネット接続の再設定を行う 統確認 ** 接続確認		
		,	名前解決

 $oldsymbol{6}$ 「接続成功です」という画面が表示されたら、[閉じる]をクリックします。





ワンポイント

- 「接続成功です」と表示されない場合は、画面の指示にしたがってください。
- •「PPPoE サーバへ接続できませんでした」と表示された場合は、接続先ユーザ名/パスワードの入力が間違っている可能性があります。[戻る]をクリックして、入力画面へ戻り、プロバイダの資料(プロバイダ登録通知書など)をご確認のうえ、接続先ユーザ名/パスワードを正しく入力してください。

また、前回接続した際に回線が正常に切断されていない場合も、「PPPoE サーバへ接続できませんでした」と表示されることがあります。その場合は、十分から数十分後ほどお待ちいただいてから、設定を行ってください。

7 再度、Internet Explorer(または Safari)などの Web ブラウザを起動し、ホームページが表示されることを確認します。

以上で本商品の初期設定は完了です。



本商品の初期設定

(リピータモード)

初期設定のながれ

本商品をリピータとして使用する場合は、以下のながれで初期設定を行います。

本商品のROUTERスイッチを「OFF」にする (P48)



設定用パソコンと本商品をLANケーブルで接続する(P49)



設定用パソコンにIPアドレスを割り当てる(P51)



本商品をリピータモードに切り替える (P62)



接続先の無線親機と本商品を無線で接続する (P64)



設定用パソコンのIPアドレスを元に戻す(P72)



本商品とパソコンを接続する (P76)



設定完了

設定用パソコンと本商品の接続

リピータの設定を行うため、設定用パソコンと本商品をLANケーブルで接続します。以下の手順に従って接続を行ってください。

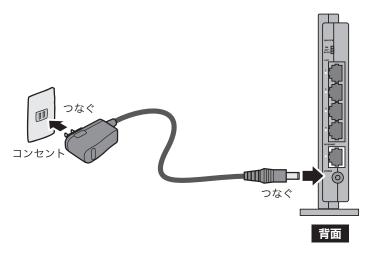
- 1 設定用パソコンの電源を OFF にします。
- 2 本商品背面の ROUTER スイッチを「OFF」に切り替えます。



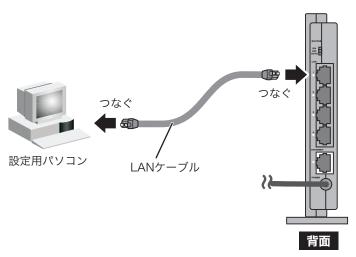


ワンポイント

- ・背面の ROUTER スイッチは、出荷時は「AUTO」に設定されています。
- ・スイッチを切り替える場合は、あらかじめ本商品の AC アダプタをコンセントから抜いてください。
- **3** 付属の AC アダプタを本商品とコンセントに接続します。



4 設定用パソコンの LAN ポートと本商品背面の LAN ポートを LAN ケーブルで接続します。



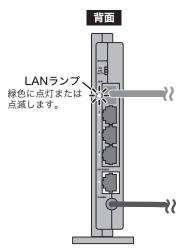


お知らせ

接続先の無線親機と本商品を LAN ケーブルで接続しないでください。 ループ現象(円環状に形成されたネットワーク内で、データが永遠に循環する現象)が 発生し、正常に通信ができなくなります。

5 設定用パソコンの電源を ON にします。

 $oldsymbol{6}$ 本商品背面の LAN ランプが点灯または点滅していることを確認します。



ランプが上記の状態にならないときは、 10章「困ったときは」を参照してください。

以上で設定用パソコンと本商品の接続は完了です。

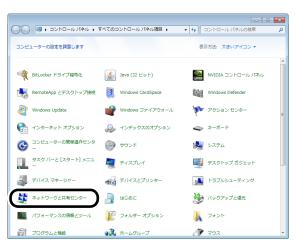
設定用パソコンへの IP アドレスの割り当て

設定用パソコンと本商品の接続が完了したら、設定用パソコンに IP アドレスを割り当てます。手順は OS よって異なりますので、以下を参照して設定を行ってください。

- Windows 7 をお使いの場合 (P51)
- Windows Vista をお使いの場合 (P54)
- Windows XP をお使いの場合 (P57)
- Mac OS Xをお使いの場合 (P59)

Windows 7 をお使いの場合

- 1 [スタート]ー[コントロールパネル]の順にクリックします。
- $\, 2 \,$ 「ネットワークと共有センター」をクリックします。



第4章 本商品の初期設定 (リピータモード)

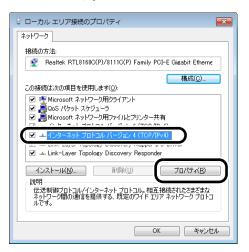
3 「アダプターの設定の変更」をクリックします。



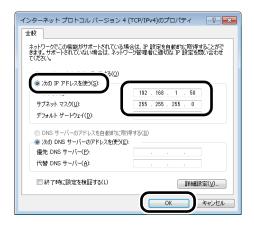
4 「ローカルエリア接続」アイコンを右クリックして、[プロパティ]をクリックします。



5 「インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)」を選択して、[プロパティ]を クリックします。



「次の IP アドレスを使う」を選択して、IP アドレス欄に設定用パソコンの IP アドレス(画面では例として「192.168.1.50」を使用)とサブネットマスク(画面では例として「255.255.255.0」)を入力して、[OK]をクリックします。



以上で IP アドレスの設定は完了です。

Windows Vista をお使いの場合

- 1 [スタート]ー[コントロールパネル]の順にクリックします。
- 2 「ファイルの共有の設定」をクリックします。



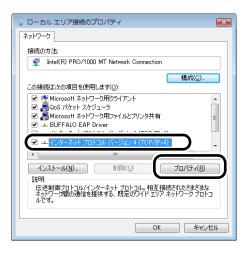
3 「ネットワーク接続の管理」をクリックします。



4 「ローカルエリア接続」アイコンを右クリックして、[プロパティ]をクリックします。

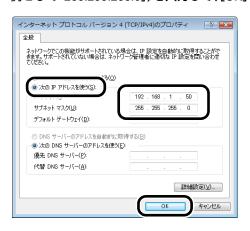


- 5 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[続行]をクリックします。
- 「インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)」を選択して、[プロパティ]を クリックします。



第4章 本商品の初期設定 (リピータモード)

7 「次の IP アドレスを使う」を選択して、IP アドレス欄に設定用パソコンの IP アドレス(画面では例として「192.168.1.50」を使用)とサブネットマスク(画面では例として「255.255.255.255.0」)を入力して、[OK]をクリックします。



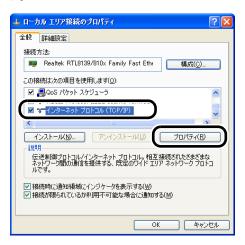
以上で IP アドレスの設定は完了です。

Windows XP をお使いの場合

- 1 [スタート]ー([設定])ー[コントロールパネル]の順にクリックします。
- 2 [ネットワークとインターネット接続]ー[ネットワーク接続]の順にクリックします。
- **3** 「ローカルエリア接続」アイコンを右クリックして、[プロパティ]をクリックします。

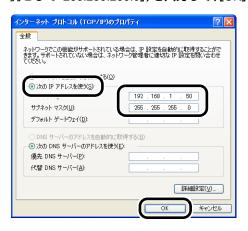


4 「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択して、[プロパティ]をクリックします。



第4章 本商品の初期設定 (リピータモード)

5 「次の IP アドレスを使う」を選択して、IP アドレス欄に設定用パソコンの IP アドレス(画面では例として「192.168.1.50」を使用)とサブネットマスク(画面では例として「255.255.255.0」)を入力して、[OK]をクリックします。



以上で IP アドレスの設定は完了です。

Mac OS Xをお使いの場合



ワンポイント

ここでは例として、 $Mac\ OS\ X\ 10.6$ の場合の手順を説明します。 $Mac\ OS\ のバージョンによっては、手順が一部異なることがあります。$

1 [アップルメニュー]ー[システム環境設定]の順にクリックします。



2 (x,y)



第4章 本商品の初期設定 (リピータモード)

 $\mathbf{3}$ 「Ethernet」をクリックします。





お知らせ

Mac OS X 10.4 の場合は、「内蔵 Ethernet」を選択して[設定]をクリックしてください。

4 IPv4 の構成で「手入力」を選択し、IP アドレス欄に設定用 Macintosh の IP アドレス(画面では例として「192.168.1.50」を使用)とサブネットマスク(画面では例として「255.255.255.0」)を入力して、[適用]をクリックします。





お知らせ

Mac OS X 10.4 の場合は、IPv4 の設定で「手入力」を選択し、IPアドレス欄に設定用のIPアドレス(例: 192.168.1.50)とサブネットマスク(例: 255.255.255.0)を入力して、[今すぐ適用]をクリックします。

以上で IP アドレスの設定は完了です。

リピータモードへの切り替え

設定用パソコンに IP アドレスを割り当てたら、本商品をリピータモードに切り替えます。以下を参照して設定を行ってください。

- 1 Internet Explorer (または Safari)を起動します。
- 2 アドレス欄に「192.168.1.201」と入力して、[Enter]キーを押します。



3 ユーザー名とパスワードの設定画面が表示されたら、ユーザー名に「root」(小文字)、パスワードを空欄にして[OK]をクリックします。



4 以下の画面が表示されたら、動作モードの選択で「リピータモード」を選択して、 [動作モード切り替え]をクリックします。



5 リピータモード時の IP アドレス設定画面が表示されたら、「自分で設定を行う」を 選択して、IP アドレス(画面では例として「192.168.1.202」を使用)とサブネットマ スク(画面では例として「255.255.255.0」)を入力して、[進む]をクリックします。



6 [設定]をクリックします。



7 「リピータモードの設定が完了しました」と表示されたら、いったん画面を閉じます。

以上でリピータモードへの切り替えは完了です。

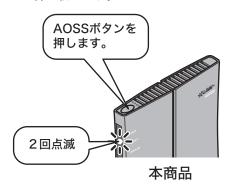
無線親機との接続

リピータモードへの切り替えが完了したら、無線親機と本商品を無線で接続します。接続方法は以下の3通りありますので、以下を参照して設定を行ってください。

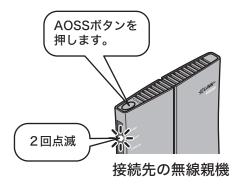
- AOSS を使って接続する場合 (P64)
 - 接続先の無線親機と本商品の AOSS ボタンを押すだけで設定が完了する最も簡単な接続方法です。 通常はこちらの方法で接続されることをお勧めします。
- ・かんたん設定ファイルを使って接続する場合 (P66) 接続先の設定情報を記録した「かんたん設定ファイル」を使って接続する方法です。
- 無線親機を検索して接続する場合 (P69)
 事前に接続先無線親機の SSID と暗号化設定を調べて、手動設定で接続する方法です。

AOSS を使って接続する場合

1 本商品の SECURITY ランプが 2 回点滅を繰り返すまで(約 1 秒間)AOSS ボタンを押し続けます。



2 接続先の無線親機の SECURITY ランプ(または AOSS ランプ)が 2 回点滅を繰り返すまで AOSS ボタンを押し続けます。



3 自動的に本商品と無線親機が通信し、設定が行われます。本商品と無線親機の SECURITY ランプ(または AOSS ランプ)が点灯したら、接続は完了です。





お知らせ

- ・AOSS 接続の場合、無線親機-本商品間は1対1で設定が行われるため、設定中に別のリピータを AOSS 接続することはできません。1つの親機に対して複数のリピータを接続するときは、先に接続したリピータの AOSS 設定完了後に別のリピータを AOSS 接続してください。
- ・親機に正しく接続できなかった場合、本商品の SECURITY ランプが連続点滅します。その場合は、再度 AOSS ボタンを約 1 秒間押し続けると、AOSS 接続を行うことができます。

以上で無線親機との接続は完了です。

かんたん設定ファイルを使って接続する場合



) ワンポイント

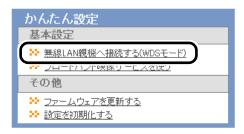
- 接続先の無線親機の「かんたん設定ファイル」がない場合は、「AOSS を使って接続する場合」 (P64) または「無線親機を検索して接続する場合」(P69) を参照して接続を行ってください。
- ・無線親機-本商品間の接続が AOSS 接続でない場合、無線子機は本商品に対して AOSS で接続できません。その場合、「AOSS を使って接続する場合」(P64)を参照して、無線親機-本商品間を AOSS で接続するか、AOSS を使用せずに無線子機を本商品に接続してください。
- Internet Explorer (または Safari)を起動します。
- **2** アドレス欄に「リピータモードへの切り替え」(P62) で設定した IP アドレス(例: 192.168.1.202)を入力して、[Enter]キーを押します。



3 ユーザー名とパスワードの設定画面が表示されたら、ユーザー名に「root」(小文字)、パスワードを空欄にして[OK]をクリックします。



4 以下の画面が表示されたら、「無線 LAN 親機へ接続する(WDS モード)」をクリックします。



5 かんたん設定ファイルに「利用する」を選択し、[設定]をクリックします。



6 [参照]をクリックし、かんたん設定ファイルを選択して[設定]をクリックします。



7 設定される内容を確認し、[設定]をクリックします。



第4章 本商品の初期設定 (リピータモード)

8 設定された内容を確認し、[完了]をクリックします。



以上で無線親機との接続は完了です。

無線親機を検索して接続する場合



無線親機-本商品間の接続が AOSS 接続でない場合、無線子機は本商品に対して AOSS で接続できません。その場合、「AOSS を使って接続する場合」(P64) を参照して、無線親機-本商品間を AOSS で接続するか、AOSS を使用せずに無線子機を本商品に接続してください。

- Internet Explorer (または Safari)を起動します。
- 2 アドレス欄に「リピータモードへの切り替え」の手順5 (P63)で設定した IP アドレス(例:192.168.1.202)を入力して、[Enter]キーを押します。

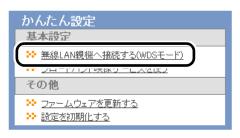


3 ユーザー名とパスワードの設定画面が表示されたら、ユーザー名に「root」(小文字)、パスワードを空欄にして[OK]をクリックします。



第4章 本商品の初期設定 (リピータモード)

4 以下の画面が表示されたら、「無線 LAN 親機へ接続する(WDS モード)」をクリックします。



5 かんたん設定ファイルに「利用しない」を選択し、[設定]をクリックします。



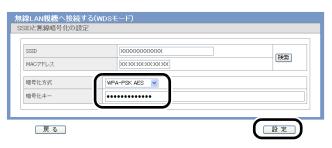
6 [検索]をクリックします。



7 接続先の無線親機を選択し、[選択]をクリックします。



接続先の無線親機に設定されている暗号化方式と暗号化キーを設定し、[設定]を クリックします。





ワンポイント

本商品同士を接続する場合(接続先の無線親機も光 LINK ルータ W200 の場合)で、親機が 出荷時状態の場合は、以下の設定で接続してください。

暗号化方式: WPA2-PSK AES(推奨)、または WPA-PSK TKIP

暗号化キー : 親機の側面のラベルに記載の KEY

9 「設定が完了しました」と表示され、しばらくして「かんたん設定が完了しました」と表示されたら[完了]をクリックします。



以上で無線親機との接続は完了です。

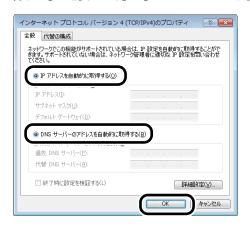
設定用パソコンの IP アドレス設定の変更

リピータ(本商品)と無線親機との接続が完了したら、設定用パソコンの IP アドレス設定を元の設定に戻します。手順は OS よって異なりますので、以下を参照して設定を行ってください。

- Windows 7 をお使いの場合 (P72)
- Windows Vista をお使いの場合 (P73)
- Windows XP をお使いの場合 (P74)
- Mac OS Xをお使いの場合 (P75)

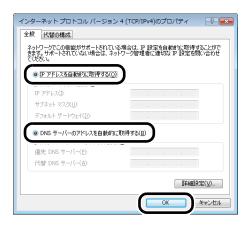
Windows 7 をお使いの場合

- **1** 「Windows 7 をお使いの場合」(P51) の手順 1 ~ 5 を行います。
- 2 「IP アドレスを自動的に取得する」および「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択して、[OK]をクリックします。



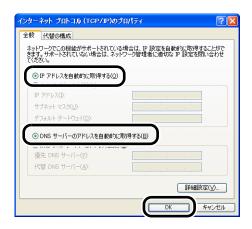
Windows Vista をお使いの場合

- 1 「Windows Vista をお使いの場合」(P54) の手順 $1\sim 6$ を行います。
- 2 「IP アドレスを自動的に取得する」および「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択して、[OK]をクリックします。



Windows XP をお使いの場合

- $oldsymbol{1}$ 「Windows XP をお使いの場合」(P57) の手順 $1\sim4$ を行います。
- 2 「IP アドレスを自動的に取得する」および「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択して、[OK]をクリックします。



Mac OS Xをお使いの場合



ワンポイント

ここでは例として、 $Mac\ OS\ X\ 10.6$ の場合の手順を説明します。 $Mac\ OS\ のバージョンによっては、手順が一部異なることがあります。$

- $oldsymbol{1}$ 「Mac OS Xをお使いの場合」(P59) の手順 $1\sim3$ を行います。
- 2 IPv4 の構成で「DHCP サーバを使用」を選択し、「適用」をクリックします。





お知らせ

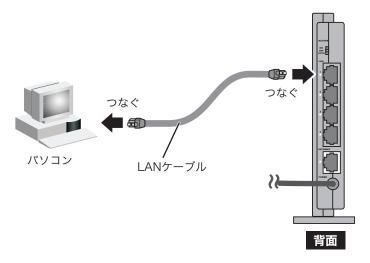
Mac OS X 10.4 の場合は、IPv4 の設定で「DHCP サーバを参照」を選択し、[今すぐ適用]を クリックします。

パソコンとの接続

パソコンとリピータ(本商品)は以下の手順で接続します。

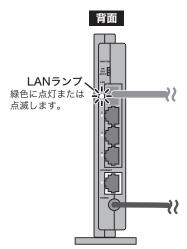
LAN ケーブルを使って接続する場合(有線 LAN)

- $oldsymbol{1}$ パソコンの電源を OFF にします。
- 2 パソコンの LAN ポートとリピータ(本商品)背面の LAN ポートを LAN ケーブルで接続します。



3 パソコンの電源を ON にします。

4 リピータ(本商品)背面の LAN ランプが点灯または点滅していることを確認します。



ランプが上記の状態にならないときは、 10章「困ったときは」を参照してください。

以上でパソコンとの接続は完了です。

無線で接続する場合(無線 LAN)

■当社の無線子機(Web Caster FT-STU-Bng 等)をお使いの方

リピータ(本商品)に無線で接続する場合は、事前に以下の内容を確認した後、無線子機(Web Caster FT-STU-Bng 等)の取扱説明書に記載の手順で接続してください。

※ AOSS または WPS で本商品に無線接続する場合は、接続設定が自動的に行われますので、下記内容の確認は不要です。

事前にご確認いただく内容

- ·無線親機の SSID
- ・暗号化の種類
- ・暗号化キー



ワンポイント

- ・出荷時設定の場合、SSID や暗号化の設定は、リピータ(本商品)が接続している無線親機の設定を引き継ぎます。本商品同士を接続している場合(接続先の無線親機も光 LINK ルータ W200 の場合)は、出荷時の SSID や暗号化キーは、出荷時設定ラベル(P28)でご確認ください。
- ・無線親機ー本商品間の接続が AOSS 接続でない場合、無線子機は本商品に対して AOSS で接続できません。その場合、「AOSS を使って接続する場合」(P64) を参照して、無線親機ー本商品間を AOSS で接続するか、AOSS を使用せずに無線子機を本商品に接続してください。
- ・AOSS/WPS(プッシュボタン式)は、パソコンと本商品とを1対1で設定するため、設定中に別の機器をAOSS/WPS(プッシュボタン式)接続することはできません。本商品1台に対して複数の機器を接続するときは、先に接続した機器のAOSS/WPS(プッシュボタン式)接続が完了してから接続してください。
- ・AOSS 設定に失敗すると、本商品の SECURITY ランプが連続点滅します。その場合は、再度 AOSS ボタンを約1秒間押し続けると、AOSS 設定を行うことができます。

■パソコン本体の無線機能をお使いの方

リピータ(本商品)に無線で接続する場合は、事前に以下の内容を確認した後、「パソコンを無線接続する」(P257)に記載の手順で接続してください。

※ AOSS または WPS で本商品に無線接続する場合は、接続設定が自動的に行われますので、下記内容の確認は不要です。

事前にご確認いただく内容

- ·無線親機の SSID
- ・暗号化の種類
- ・暗号化キー



ワンポイント

出荷時設定の場合、SSID や暗号化の設定は、リピータ(本商品)が接続している無線親機の設定を引き継ぎます。本商品同士を接続している場合(接続先の無線親機も光 LINK ルータ W200 の場合)は、出荷時の SSID や暗号化キーは、出荷時設定ラベル(P28)でご確認ください。

第4章 本商品の初期設定 (リピータモード)

MEMO



本商品の設定画面

設定画面とは

パラメーター

本商品の設定画面は、各種設定や機器診断を行う画面です。本商品の設定を変更するときや状態を確認したいときに使用します。



Internet/LAN (LAN 設定)	クリックすると、Internet ポート/ LAN ポートに関する設定画 面を表示します。

説明

無線設定 クリックすると、無線に関する設定画面を表示します。

セキュリティ クリックすると、セキュリティに関する設定画面を表示します。

ゲーム&アプリ クリックすると、ゲームやアプリケーションで使用する場合の 設定画面を表示します。

管理設定クリックすると、本商品の管理に関する設定画面を表示します。

第5草 本商品の設定画面	
パラメーター	説明
ステータス	クリックすると、本商品のステータス情報を表示します。
かんたん設定	無線信号の暗号化や無線チャンネルの変更などの本商品に 関する設定をかんたんに行なうことができます。
動作モード情報	現在の動作モード(ルータ / ブリッジ / リピータ)が表示されます。
[動作モード切り替え]	このボタンをクリックすると、本商品の動作モードを切り替え ることができます。
Internet 情報	現在の Internet 側の接続先情報が表示されます。
[接続確認]	このボタンをクリックすると、本商品がインターネットに 正しく接続しているか確認することができます。
[現在の状態を表示]	このボタンをクリックすると、現在表示されている画面が 更新されます。
無線情報	現在の無線の設定が表示されます。
(((])) AOSS	このボタンをクリックすると、AOSS 設定画面(P113)が表示されます。
	このボタンをクリックすると、WPS 設定画面(P112)が表示されます。
エコモード	現在の「エコモード」のステータスと、エコモード動作時には、 ランプ、有線 LAN、無線 LAN の動作モードを表示します。
[情報を更新する]	このボタンをクリックすると、現在表示されている情報が 更新されます。
ログアウト	本商品の設定画面からログアウトします。5 分間通信がない 場合、自動的にログアウトされます。

設定画面を表示する

設定画面の表示方法は、お使いの環境によって異なります。

<接続構成例>



Windows パソコンで設定画面を表示する



お知らせ

- ・以下の手順を行う前に無線親機設定ユーティリティがインストールされている必要があります。無線親機設定ユーティリティのインストール方法は、「インストール方法」(P216)を参照してください。
- ・無線親機設定ユーティリティは、Windows 7/Vista/XP に対応しています。
- 1 本商品と設定用パソコンを無線または有線で接続します。



ワンポイント

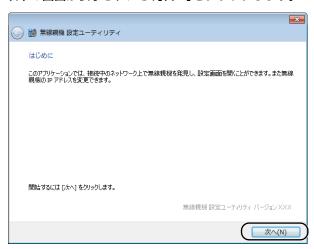
有線接続の場合は、本商品の LAN ポートと設定用パソコンの LAN ポートを LAN ケーブルで接続します。

無線接続の場合は、「パソコンを無線接続する」(P257)を参照して接続してください。

2 [スタート]ー[(すべての)プログラム]ー[NTT]ー[無線親機設定ユーティリティ] を選択して、無線親機設定ユーティリティを起動します。

第5章 本商品の設定画面

3 以下の画面が表示されたら、[次へ]をクリックします。





) ワンポイント

パソコンに複数のネットワークアダプタが搭載されている場合、「2つ以上のネットワーク接続がつながっています」というメッセージが表示されます。その場合は、使用していないネットワークアダプタを取り外すか無効にしてから[再実行]をクリックしてください。

4 以下の画面が表示されたら、本商品を選択して、[次へ]をクリックします。





本商品の SSID は、本体背面のラベルで確認できます。ラベルの位置は、「出荷時設定ラベル」(P28)を参照してください。

5 [設定画面を開く]をクリックします。





▽ℚ() ワンポイント

本商品とパソコンの IP セグメントが異なる場合は、以下の画面が表示されます。その場合は、画面の指示に従ってください。しばらくすると、新しい IP アドレスが設定され、手順6へ進みます。



第5章 本商品の設定画面

- 本商品のトップ画面が表示されたら、右上の「ログイン」をクリックします。
- 7 ユーザ名とパスワードの設定画面が表示されたら、ユーザ名に「root」(小文字)、パスワードに本商品に設定したパスワードを入力して[OK]をクリックします。





ワンポイント

- ・本商品の出荷時は、パスワードが設定されていません。
- ・設定したパスワードを忘れてしまった場合は、本商品の RESET ボタン (P28)を押して、設定を初期化してください。その場合、パスワード以外の値も出荷時設定に戻りますので、ご注意ください。
- 8 設定画面が表示されます。

Macintosh で設定画面を表示する



お知らせ

Macintosh から本商品の設定画面を表示する場合は、本商品の LAN 側 IP アドレス (P105) の値が必要です。

 $oldsymbol{1}$ 本商品と設定用 Macintosh を無線または有線で接続します。



ワンポイント

有線接続の場合は、本商品の LAN ポートと設定用 Machintosh の LAN ポートを LAN ケーブルで接続します。

無線接続の場合は、「本商品を検索して接続する場合(Macintosh)」(P294)を参照して接続してください。

2 ブラウザを起動し、アドレス欄に本商品の IP アドレスを入力して、本商品の設定 画面にアクセスします。





ワンポイント

本商品の LAN 側 IP アドレスの出荷時設定値は、本書 P334 を参照してください。 LAN 側 IP アドレスを任意の値に変更した場合は、変更後の値を入力してください。

3 ユーザ名とパスワードの設定画面が表示されたら、ユーザ名に「root」(小文字)、パスワードに本商品に設定したパスワードを入力して[OK]をクリックします。



ワンポイント

- 本商品は、出荷時はパスワードが設定されていません。
- ・設定したパスワードを忘れてしまった場合は、本商品の RESET ボタン(P28)を押して、 設定を初期化してください。その場合、パスワード以外の値も出荷時設定に戻りますの で、ご注意ください。
- 4 設定画面が表示されます。

メニュー構成(ルータモード)

ルータモード時のメニュー階層は、以下の通りです。各項目の説明は、それぞれのページを参照してください。

メイン画面	説明	ページ
Internet/LAN		
Internet	インターネット接続先の設定を行う画面 です。	P94
PPPoE	PPPoE に関する設定を行う画面です。	P96
PPTP サーバ	PPTP サーバに関する設定を行う画面です。	P101
LAN	LAN 側ポートの設定を行う画面です。	P105
DHCP リース	DHCP リースの設定を行う画面です。	P107
アドレス変換	インターネットに接続するときに使用するアドレス変換機能に関する設定を行う 画面です。	P108
経路情報	本商品が行う通信の IP 経路の設定を行う 画面です。	P109
RIP	RIP(Routing Information Protocol) の設定を 行う画面です。	P111
無線設定		
WPS	WPS の詳細な設定や状況を確認する画面です。	P112
AOSS	AOSS の詳細な設定や状況を確認する画面です。	P113
基本(11n/g/b)	無線の基本的な設定を行う画面です。	P116
拡張(11n/g/b)	無線の拡張設定を行う画面です。	P124
WMM (11n/g/b)	本商品が行う特定の通信に優先順位をつ ける設定を行う画面です。	P125
MAC アクセス制限	無線機器からのアクセスを制限する設定 を行う画面です。	P129
マルチキャスト制御	無線 LAN ポートに無駄なマルチキャストパケットが転送されないように制限する設定を行う画面です。	P131
リピータ	本商品を他の無線機器に接続するための 設定を行う画面です。	P132
セキュリティ		
ファイアウォール	本商品のファイアウォール機能を設定す る画面です。	P136
IP フィルタ	LAN 側と Internet 側の間で通過するパケットに関する IP フィルタの編集を行う画面です。	P138

IPv6/PPPoE ブリッジ・ VPN パススルー	IPv6 ブリッジ・PPPoE ブリッジ機能・ PPTP パススルーに関する設定を行う画 面です。	P141
ゲーム&アプリ		
ポート変換	ポート変換に関する設定を行う画面で す。	P142
DMZ	LAN 側からの通信と無関係な通信パケットの転送先を設定する画面です。	P144
UPnP	UPnP(Universal Plug and Play)に関する 設定を行う画面です。	P144
QoS	インターネットへの送信するパケットの 優先制御設定を行う画面です。	P145
管理設定		
本体	本商品の名称を設定する画面です。	P147
パスワード	本商品の設定画面にログインするための パスワードを設定する画面です。	P148
時刻	本商品の内部時計を設定する画面です。	P149
NTP	本商品の内部時計を NTP サーバと同期するための設定を行う画面です。	P150
エコ	本商品の省電力設定を行う画面です。	P151
アクセス	本商品の設定画面へのアクセスを制限する設定を行う画面です。	P153
ログ	syslog による本商品のログ情報を転送するための設定を行う画面です。	P154
保存 / 復元	本商品の設定を保存したり、設定ファイ ルから設定を復元する画面です。	P155
初期化/再起動	本商品を初期化したり、再起動するため の画面です。	P155
ファーム更新	本商品のファームウェアを更新するため の画面です。	P156
ステータス		
システム	本商品のシステム情報を確認する画面です。	P157
ログ	本商品に記録されているログ情報を確認 する画面です。	P159
通信パケット	本商品が通信したパケットの合計を確認 する画面です。	P160
クライアントモニタ	本商品と通信している機器を確認する画 面です。	P160
診断	本商品からネットワーク上の他の機器と の接続確認を行う画面です。	P161
ログアウト		
クリックすると本商品の設定	ご画面からログアウトします。	

メニュー構成(ブリッジモード)

ブリッジモード時のメニュー階層は、以下の通りです。各項目の説明は、それぞれのページを参照 してください。

メイン画面	説明	ページ
LAN 設定		
LAN	LAN 側ポートの設定を行う画面です。	P105
経路情報	本商品が行う通信の IP 経路の設定を行う 画面です。	P109
RIP	RIP(Routing Information Protocol) の設定を 行う画面です。	P111
無線設定		
WPS	WPS の詳細な設定や状況を確認する画面です。	P112
AOSS	AOSS の詳細な設定や状況を確認する画面です。	P113
基本(11n/g/b)	無線の基本的な設定を行う画面です。	P116
拡張(11n/g/b)	無線の拡張設定を行う画面です。	P124
WMM (11n/g/b)	本商品が行う特定の通信に優先順位をつ ける設定を行う画面です。	P125
MAC アクセス制限	無線機器からのアクセスを制限する設定 を行う画面です。	P129
マルチキャスト制御	無線 LAN ポートに無駄なマルチキャストパケットが転送されないように制限する設定を行う画面です。	P131
リピータ	本商品を他の無線機器に接続するための 設定を行う画面です。	P132
管理設定		
本体	本商品の名称を設定する画面です。	P147
パスワード	本商品の設定画面にログインするための パスワードを設定する画面です。	P148
時刻	本商品の内部時計を設定する画面です。	P149
NTP	本商品の内部時計を NTP サーバと同期するための設定を行う画面です。	P150
エコ	本商品の省電力設定を行う画面です。	P151
アクセス	本商品の設定画面へのアクセスを制限す る設定を行う画面です。	P153
ログ	syslog による本商品のログ情報を転送するための設定を行う画面です。	P154
保存 / 復元	本商品の設定を保存したり、設定ファイ ルから設定を復元する画面です。	P155
初期化/再起動	本商品を初期化したり、再起動するため の画面です。	P155

ファーム更新	本商品のファームウェアを更新するため の画面です。	P156	
ステータス			
システム	本商品のシステム情報を確認する画面です。	P157	
ログ	本商品に記録されているログ情報を確認 する画面です。	P159	
通信パケット	本商品が通信したパケットの合計を確認 する画面です。	P160	
クライアントモニタ	本商品と通信している機器を確認する画 面です。	P160	
診断	本商品からネットワーク上の他の機器と の接続確認を行う画面です。	P161	
ログアウト			
クリックすると本商品の設定画面からログアウトします。			

メニュー構成(リピータモード)

リピータモード時のメニュー階層は、以下の通りです。各項目の説明は、それぞれのページを参照してください。

メイン画面	説明	ページ
LAN 設定		<u>'</u>
LAN	LAN 側ポートの設定を行う画面です。	P105
経路情報	本商品が行う通信の IP 経路の設定を行う 画面です。	P109
RIP	RIP(Routing Information Protocol) の設定を 行う画面です。	P111
無線設定		
WPS	WPS の詳細な設定や状況を確認する画面です。	P112
AOSS	AOSS の詳細な設定や状況を確認する画面です。	P113
パソコン側(11n/g/b)	パソコン側との接続設定を行う画面で す。	P120
拡張(11n/g/b)	無線の拡張設定を行う画面です。	P124
WMM (11n/g/b)	本商品が行う特定の通信に優先順位をつ ける設定を行う画面です。	P125
MAC アクセス制限	無線機器からのアクセスを制限する設定 を行う画面です。	P129
マルチキャスト制御	無線 LAN ポートに無駄なマルチキャストパケットが転送されないように制限する設定を行う画面です。	P131
アクセスポイント側	アクセスポイントとの接続設定を行う画 面です。	P134
管理設定		
本体	本商品の名称を設定する画面です。	P147
パスワード	本商品の設定画面にログインするための パスワードを設定する画面です。	P148
時刻	本商品の内部時計を設定する画面です。	P149
NTP	本商品の内部時計を NTP サーバと同期するための設定を行う画面です。	P150
エコ	本商品の省電力設定を行う画面です。	P151
アクセス	本商品の設定画面へのアクセスを制限す る設定を行う画面です。	P153
ログ	syslog による本商品のログ情報を転送するための設定を行う画面です。	P154
保存/復元	本商品の設定を保存したり、設定ファイ ルから設定を復元する画面です。	P155

初期化/再起動	本商品を初期化したり、再起動するため の画面です。	P155
ファーム更新	本商品のファームウェアを更新するため の画面です。	P156
ステータス		
システム	本商品のシステム情報を確認する画面です。	P157
ログ	本商品に記録されているログ情報を確認 する画面です。	P159
通信パケット	本商品が通信したパケットの合計を確認 する画面です。	P160
クライアントモニタ	本商品と通信している機器を確認する画 面です。	P160
診断	本商品からネットワーク上の他の機器と の接続確認を行う画面です。	P161
ログアウト		
クリックすると本商品の設定	画面からログアウトします。	

Internet/LAN(LAN 設定)

Internet (ルータモード時のみ)

インターネット接続先の設定を行う画面です。

⇒ Internet/LAN - Internet

IPアドレス取得方法	● インターネット@フ ● DHCPサーバ から ● PPPoEクライアン ● IP Unnumberedを ● 手動設定	SIPアドレスを自動取得 ト機能を使用する
	IPアドレス	
	サブネットマスク	255.255.255.0

※PPPoE接続先の設定はInternet/LAN設定 - PPPoE設定で行ってください

[拡張設定]	
デフォルトゲートウェイ	
DNS(ネーム)サーバアドレス	プライマリ: セカンダリ:
Internet側MACアドレス	デフォルトのMACアドレスを使用(xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx
Internet側MTU値	1500 パイト

設定

パラメーター	説明
ハフスーツー	武 呼

IP アドレス取得方法

本商品背面の ROUTER スイッチが ON の場合に、インターネット側の IP アドレスの取得方法を指定します。

※ ROUTER スイッチが AUTO でかつ、本商品がルータモードである場合は、「インターネット@スタートを行う」以外には設定できません。

(出荷時設定:インターネット@スタートを行う)

インターネット@スタートを行う

インターネット側の回線種別を判定し、インターネット接続が完 了するまでの設定を分かりやすく案内します。

DHCP サーバから IP アドレスを自動取得

インターネット側の DHCP サーバから IP アドレスを自動取得します。

PPPoE クライアント機能を使用する

PPPoE 機能を使用して、プロバイダから IP アドレスを自動取得します。

IP Unnumbered を使用する

本商品の Internet ポートから指定の PPPoE サーバへ接続します。

手動設定

インターネット側の IP アドレスを手動で設定します。

デフォルトゲート ウェイ

デフォルトゲートウェイの IP アドレスを設定します。

(出荷時設定:空欄)

DNS (ネーム) サーバアドレス

DNS サーバの IP アドレスを指定します。

(出荷時設定:プライマリ/セカンダリ共に空欄)

Internet 側 MAC アドレス

インターネット側インターフェース (Internet ポート) の MAC アドレスを設定します。

(出荷時設定:デフォルトの MAC アドレスを使用)

※ 不適切な MAC アドレスを設定すると、本商品だけでなく、ネットワーク上の他の機器も使用できなくなります。 この設定は、お客様の責任において行ってください。

Internet 側 MTU 値

インターネット側インターフェース (Internet ポート) で通信を行うときに使用する MTU を $578 \sim 1500$ バイトの範囲で設定します。 (出荷時設定: 1500 バイト)

PPPoE(ルータモード時のみ)

PPPoE に関する設定を行う画面です。

⇒ Internet/LAN - PPPoE

デフォルトの接続先 1: Internet@Start ▼ IP Unnumbered使用時の接続先 1: Internet@Start ▼

設定

PPPoE接続先リスト

接続先No. 名称 状態 1 Internet@Start 有効

接続先の編集

接続先経路の表示

No. 接続先 宛先アドレス 送信元アドレス 接続先経路の設定は登録されていません

接続先経路の編集

パラメーター

説明

デフォルトの接続先

「PPPoE 接続先リスト」で複数の接続先を登録している場合、ここで選択した接続先が優先されます。デフォルト以外の接続先を用いるときは、PPPoE の接続先経路設定を別途行う必要があります。(出荷時設定:接続先なし)

IP Unnumbered 使用 時の接続先

INTERNET ポートの「IP アドレス取得方法」で「IP Unnumbered を使用する」を指定した際に使用する接続先を、「PPPoE 接続先リスト」に登録されている接続先の中から選択します。

(ここで選択した接続先のみ、IP Unnumbered 時に使用されます)

(出荷時設定:接続先なし)

PPPoE 接続先リスト

PPPoE の接続先の編集ができます。最大5セッションまで登録可能です。

(出荷時設定:接続先なし)

接続先 No.

接続先の番号が表示されます。

名称

PPPoE 接続先名称が表示されます。

状態

PPPoE 接続先の状態が表示されます。

パラメーター 説明

[接続先の編集]

クリックすると、接続先の設定を編集する画面が表示されます。

PPPoE 接続先の新規 追加 [接続先の編集]をクリックすると表示されます。

接続先名称

接続先を識別するための名称を半角英数字記号で32文字までで入力します。

(出荷時設定:空欄)

接続先ユーザ名

PPPoE の認証に使用するプロバイダ指定のユーザ名を半角英数字記号で 64 文字までで設定します。

(出荷時設定:空欄)

接続先パスワード

PPPoE の認証に使用するプロバイダ指定のパスワードを半角英数字記号で 64 文字までで設定します。

(出荷時設定:空欄)

サービス名

プロバイダからサービス名の指定がある場合のみ半角英数字記号で 64 文字までで設定します。

プロバイダから指定されなければ、空欄のままにします。 (出荷時設定:空欄)

接続方法

本商品がプロバイダに接続するタイミングを「常時接続」、「オンデマンド接続」、「手動接続」の中から指定します。

「常時接続」の場合は、本商品起動後、すぐに PPPoE サーバへ接続し、無通信状態でも接続し続けます。

「オンデマンド接続」の場合は、通信を行う時のみ自動的に PPPoE サーバへ接続を行います。無通信状態のまま指定した切断時間が 経過すると切断されます。

「手動接続」の場合は、手動接続の[接続]ボタンが押されたときに PPPoE サーバへ接続します。指定した切断時間が経過すると切断 されます。

(出荷時設定:常時接続)

自動切断

接続方法が「オンデマンド接続」または「手動接続」のときに、通信が停止してから、回線の使用を停止するまでの時間を $0 \sim 1440$ 分の範囲で設定します。

説明

切断条件は、「送受信ともにない場合」、「送信がない場合」、「受信が ない場合」から選択できます。

「送受信ともにない場合」は、PPPoE 接続中、本商品と PPPoE サーバの間で送信も受信もされないまま、指定した待機時間が経過すると切断されます。

「送信がない場合」は、PPPoE 接続中、本商品から PPPoE サーバへ 送信パケットが発生しない状態のまま、指定した待機時間が経過 すると切断されます。

「受信がない場合」は、PPPoE 接続中、PPPoE サーバから本商品へ受信パケットが発生しないまま、指定した待機時間が経過すると切断されます。

(出荷時設定:切断条件「送受信ともにない場合」、待機時間「5分」)

認証方法

プロバイダとの認証方法を設定します。 (出荷時設定:自動認証)

MTU 値

PPPoE 上で、通信を行うときに使用する MTU 値を $578 \sim 1492$ バイトの範囲で設定します。 (出荷時設定: 1454 バイト)

MRU 値

PPPoE 上で通信を行うときに使用する MRU 値を $578\sim1492$ バイトの範囲で設定します。 (出荷時設定: 1454 バイト)

キープアライブ

キープアライブを有効にすると、本商品は PPPoE サーバとの接続を維持するために、LCP エコーリクエストを 1 分に 1 度発行します。このとき、6 分以上サーバの応答がない場合は、回線が切断されたものと判断し、接続をいったん切断します。頻繁に PPPoE 接続が切断される場合は、キープアライブに応答を返さないサーバである可能性があるため、「無効」に設定してください。(出荷時設定:使用する)

説明

PPPoE 接続先リスト の表示 / 操作

登録した PPPoE 接続先リストが表示されます。

接続先 No.

接続先の番号が表示されます。

名称

PPPoE 接続先名称が表示されます。

状態

PPPoE 接続先の状態が表示されます。

操作

[ON]をクリックすると、PPPoE 接続先の状態を有効にできます。 [OFF]をクリックすると、PPPoE 接続先の状態を無効にできます。 [修正]をクリックすると、登録内容を修正することができます。 [削除]をクリックすると、登録内容が削除されます。

接続先経路の表示

接続先経路を設定すると、設定した情報が表示されます。(出荷時設定:接続先経路なし)

No.

接続先経路の番号が表示されます。

接続先

接続先が表示されます。

宛先アドレス

宛先アドレスが表示されます。

送信元アドレス

送信元アドレスが表示されます。

[接続先経路の編集]

クリックすると、接続先経路を編集する画面が表示されます。

接続先経路の新規追 加

[接続先経路の編集]をクリックすると表示されます。

接続先

「宛先アドレス」や「送信元アドレス」が一致する通信の場合に PPPoE 接続を行なう接続先です。

PPPoE 接続先リストに登録されている接続先から選択します。 (出荷時設定:なし)

宛先アドレス

通信の宛先アドレスです。このアドレス宛へ通信を行なうと、 設定した「接続先」へ通信します。 (出荷時設定:空欄)

送信元アドレス

通信の送信元アドレスです。この送信元アドレスから通信を行な うと、設定した「接続先」へ通信します。

(出荷時設定:空欄)

説明

接続先経路の表示 / 操作

登録した接続先経路が表示されます。

接続先

接続先が表示されます。

宛先アドレス

宛先アドレスが表示されます。

送信元アドレス

送信元アドレスが表示されます。

操作

[修正]をクリックすると、登録内容を修正することができます。 [削除]をクリックすると、登録内容が削除されます。

[↑]をクリックすると、登録内容が直上の行と入れ替わります。

[↓]をクリックすると、登録内容が直下の行と入れ替わります。

PPTP サーバ(ルータモード時のみ)

PPTP サーバに関する設定を行う画面です。

⇒ Internet/LAN - PPTP サーバ

現在の状態を表示

自動入力	a	ら勧めの((直を入力する				
LAN側IPアドレス	/ /	IPアドレス 192.168.1.1 サブネットマスク 255.255.255.0 ▼					
DHCPサーバ機能	☑使用	用する					
割り当てIPアドレス	192.10	68.1.2	_{ක්} න විද	4	台		
PPTPサーバ機能 認証方式	□使F		ĒI(40/128b	its暗号i	(神) 🗸		
[拡張設定]							
サーバIPアドレス		自動手動					
クライアントIPアドレス			● 自動設定○ 手動設定から5台				
※比INKルータW200のLAN側IPアドレス 手動設定 通知しない							
WINSサーバのIPアドレス							
MTU/MRU值		1396					
設定							
PPTP接続ユーザの	0表示						
		IPアドレ		操作		信機能	
User1 未	接続	未取得	(DHCP取得)		使用し	tal 1	
PPTP接続ユーザ	の編集						

パラメーター説明自動入力[お勧めの値を入力する]をクリックすると、当社製ルータ機器と重複し難い LAN 側 IP アドレスをランダムに生成します。 (出荷時設定:なし)LAN 側 IP アドレスLAN 側 IP アドレスとサブネットマスクを設定します。 (出荷時設定: 192.168.1.1 / 255.255.255.0)

パラメーター	説明
DHCP サーバ機能	DHCP サーバ(IP アドレス自動割り当て)機能を使用するかどうかを 設定します。 (出荷時設定:使用する)
割り当て IP アドレス	DHCP サーバ機能で割り当てる IP アドレスの範囲とその範囲から 除外する IP アドレスを設定します。(256 台まで設定できます) (出荷時設定:「192.168.1.2」から「64 台」)
PPTP サーバ機能	PPTP サーバ機能を使用するかどうかを設定します。 (出荷時設定:使用しない)
認証方式	PPTP クライアントが接続してきた際に使用する認証方式を設定します。 (出荷時設定:MS-CHAPv2 認証(40/128bits 暗号鍵))
サーバ IP アドレス	PPTP クライアントが接続した際、クライアントに通知するサーバ側の IP アドレスを設定します。 (出荷時設定:自動設定)
クライアント IP アド レス	PPTP クライアントが接続した際、クライアントに割り当てる IP アドレスの範囲を設定します。 (出荷時設定:自動設定)
DNS サーバの IP ア ドレス	PPTP クライアントに通知する DNS サーバアドレスを設定します。 (出荷時設定:光 LINK ルータ W200 の LAN 側 IP アドレス)
WINS サーバの IP ア ドレス	PPTP クライアントに通知する WINS サーバアドレスを設定します。 (出荷時設定:空欄)
MTU/MRU 値	PPTP 上で、通信を行なう際に使用する MTU/MRU 値を 578 〜 1500 バイトの範囲で設定します。 (出荷時設定: 1396 バイト)

説明

PPTP 接続ユーザの 表示

PPTP 接続ユーザ情報の編集ができます。最大 8 ユーザまで登録可能です。

(出荷時設定:接続先ユーザなし)

接続ユーザ名

接続ユーザ名が表示されます。

接続状態

接続状態が表示されます。

IP アドレス

接続ユーザに割り当てられている IP アドレスが表示されます。

操作

[切断する]をクリックすると、接続中のユーザを強制的に切断します。

RIP 送信機能

RIP 送信機能を使用するかどうかが表示されます。

[PPTP 接続ユーザの 編集]

クリックすると、PPTP 接続ユーザ情報を編集する画面が表示されます。

説明

PPTP 接続ユーザの 新規追加

[PPTP 接続ユーザの編集]をクリックすると表示されます。

ユーザ名

PPTP クライアントから本商品に接続する際に使用するユーザ名を半角英数字、および「"」、「」、「」、、スペースを除く半角記号を 16 文字まで入力します。

(出荷時設定:空欄)

接続先パスワード

PPTP クライアントから本商品に接続する際に使用するパスワードを半角英数字、および「"」、「'」、「/」、スペースを除く半角記号を16 文字までで入力します。

(出荷時設定:空欄)

IP アドレス割り当て方法

PPTP クライアントから本商品に接続した際に、PPTP クライアントに割り当てる IP アドレスの割り当て方法を指定します。

「DHCP サーバ設定の範囲から取得」を選択すると、本商品のDHCP サーバ機能より、IP アドレスを割り当てます。

「PPTP サーバ設定の範囲から取得」を選択すると、「クライアントIP アドレス」(P102)で指定した範囲のアドレスを割り当てます。

「固定 IP アドレス」を選択すると、ここで指定した IP アドレスを 割り当てます。

(出荷時設定:DHCP サーバ設定の範囲から取得)

RIP 送信機能

登録しているユーザが PPTP 接続をしてきた際、RIP を使用して 経路情報を送信するかどうかを設定します。 (出荷時設定:使用しない)

PPTP 接続ユーザの 表示 / 操作

登録した PPTP 接続ユーザの情報が表示されます。 (出荷時設定:なし)

ユーザ名

ユーザ名が表示されます。

IP アドレス割り当て方法

ユーザへの IP アドレスの割り当てる方法が表示されます。

RIP 送信機能

RIP 送信機能を使用するかどうかが表示されます。

操作

[修正]をクリックすると、登録内容を修正することができます。 [削除]をクリックすると、登録内容が削除されます。

[現在の状態を表示]

クリックすると、表示内容が更新されます。

LAN

LAN 側ポートの設定を行う画面です。

⇒ Internet/LAN (LAN 設定) - LAN

LAN側IPアドレス	IPアドレス 192.168.1.1 サブネットマスク 255.255.255.0 ▼
DHCPサーバ機能	☑使用する
割り当てIPアドレス	192.168.1.2 から 64 台 除外Pアドレス:
ADDING TO THE TOTAL THE TOTAL TO THE TOTAL TOTAL TO THE T	Pアドレス 255.255.255.0 ►

DHCPサーバ 設定 [拡張設定]

拡張設定 🛂表示する

リース期間	48 時間
デフォルトゲートウェイの通知	※LINK/レータ W200のLAN側IPアドレス (192.1681.1)※指定したIPアドレス 通知しない
DNSサーバの通知	 光LINKルータ W200のLAN側IPアドレス (19216811) 指定したIPアドレス ブライマリ セカンダリ 適知しない
WINSサーバの通知	取得済みのWINSサーバアドレス (なし)指定したIPアドレス適知しない
ドメイン名の通知	取得済みのドメイン名 (なし)指定したドメイン名適知しない

設定

パラメーター	説明
LAN 側 IP アドレス	LAN 側 IP アドレスとサブネットマスクを設定します。 (出荷時設定: 192.168.1.1 / 255.255.255.0(ルータモード時) 192.168.1.201 / 255.255.255.0(ブリッジモード時) 192.168.1.202 / 255.255.255.0(リピータモード時)
DHCP サーバ機能 ※ルータモード時のみ	DHCP サーバ(IP アドレス自動割り当て)機能を使用するかどうかを 設定します。 (出荷時設定:使用する)
割り当て IP アドレス ※ルータモード時のみ	DHCP サーバ機能で割り当てる IP アドレスの範囲とその範囲から 除外する IP アドレスを設定します。(256 台まで設定できます) (出荷時設定: 「192 168 1 2 から「64 台」、除外 IP アドレス「なし」)

パラメーター	説明
LAN 側 IP アドレス (IP Unnumbered 用) ※ルータモード時のみ	IP Unnumbered を利用するときに使用する LAN 側 IP アドレスを設定します。 ※ 通常の LAN 側の IP アドレスを持つパソコンと、IP Unnumbered 用の LAN 側の IP アドレスを持つパソコン間では通信を行うことができません。 (出荷時設定: なし)
拡張設定 ※ルータモード時のみ	「表示する」をクリックすると、DHCP サーバの拡張設定項目が表示 されます。 (出荷時設定:表示しない)
リース期間 ※ルータモード時のみ	DHCP サーバ機能で割り当てた IP アドレスの有効期間を設定します。(1 ~ 999 時間まで設定できます) (出荷時設定:48 時間)
デフォルトゲート ウェイの通知 ※ルータモード時のみ	DHCP サーバ機能で通知するデフォルトゲートウェイの IP アドレ スを設定します。 (出荷時設定: 光 LINK ルータ W200 の LAN 側 IP アドレス)
DNS サーバの通知 ※ルータモード時のみ	DHCP サーバ機能で通知する DNS サーバの IP アドレスを設定しま す。 (出荷時設定:光 LINK ルータ W200 の LAN 側 IP アドレス)
WINS サーバの通知 ※ルータモード時のみ	DHCP サーバ機能で通知する WINS サーバの IP アドレスを設定します。 (出荷時設定:通知しない)
ドメイン名の通知 ※ルータモード時のみ	DHCP サーバ機能で通知するドメイン名を設定します。 (半角英数字と「-」、「.」で 127 文字まで設定できます) (出荷時設定:取得済みのドメイン名)
デフォルトゲート ウェイ ※ブリッジ/リピータ モード時のみ	デフォルトゲートウェイの IP アドレスを設定します。 (出荷時設定:空欄)
DNS (ネーム) サーバアドレス ※ブリッジ / リピータ モード時のみ	DNS サーバの IP アドレスを設定します。 (出荷時設定:空欄)

DHCP リース(ルータモード時のみ)

DHCP リースの設定を行う画面です。

⇒ Internet/LAN - DHCP リース

リース情報の新規追加

IPアドレス MACアドレス 新規追加

リース情報

IPアドレス	MACアドレス	リース期限	状態	操作
192.168.1.2(*)	XXXXXXXXXXXX	47:49:41	自動割当	手動割当に変更
192.168.1.3	>>>>>>>	47:45:6	自動割当	手動割当に変更

(*) WEB設定を行っているパソコンのIPアドレス(192.168.1.2)

現在の状態を表示

パラメーター	説明
IPアドレス	DHCP サーバからリースする IP アドレスを手動設定する場合、 リースする IP アドレスを入力します。 (出荷時設定:空欄)
MAC アドレス	IP アドレスをリースする機器の MAC アドレスを入力します。 (出荷時設定:空欄)
リース情報	現在のリース情報が表示されます。 IP アドレス
	現在リースしている IP アドレスが表示されます。
	MAC アドレス
	現在リースしている機器の MAC アドレスが表示されます。
	リース期限
	リースの期限が表示されます。
	状態
	リースの状態(自動割当または手動割当)が表示されます。
	操作
	[手動割当に変更]をクリックすると、自動リースされた現在の値 を手動リースに変更できます。
[現在の状態を表示]	クリックすると、表示内容が更新されます。

アドレス変換(ルータモード時のみ)

インターネットに接続するときに使用するアドレス変換機能に関する設定を行う画面です。

⇒ Internet/LAN -アドレス変換

アドレス変換 **▽**使用する 破棄パケットのログ出力 □出力する

設定

パラメーター	説明
アドレス変換	アドレス変換機能を使用するかどうかを設定します。 (出荷時設定:使用する)
破棄パケットのログ 出力	アドレス変換時のエラーなどにより破棄されたパケットについて ログ出力をするかどうかを設定します。 (出荷時設定:出力しない)

経路情報

本商品が行う通信の IP 経路の設定を行う画面です。

⇒ Internet/LAN (LAN 設定) - 経路情報

経路の新規追加

宛先アドレス	IPアドレス サブネットマスク	255.255.255.0	~	
ゲートウェイ				
メトリック	15			
新規追加				
経路情報				
宛先アドレス	サブネットマス!	ク ゲートウェイ	メトリック マ	操作
	经验性期	サホロナ 井 /		

パラメーター	説明
宛先アドレス	ルーティングテーブルに追加する宛先 IP アドレスとサブネット マスクを設定します。 (出荷時設定:IP アドレス「空欄」、サブネットマスク「255.255.255.0」)
ゲートウェイ	ルーティングテーブルに追加するゲートウェイアドレスを設定しま す。 (出荷時設定:空欄)
メトリック	ルーティングテーブルに追加するメトリック(宛先アドレスまでに越えるルータ数)を $1 \sim 15$ までで設定します。 (出荷時設定: 15)

パラメーター	説	明

経路情報

手動で追加したルーティングテーブルを確認することができます。

宛先アドレス

現在設定されている宛先アドレスが表示されます。

サブネットマスク

現在設定されているサブネットマスクが表示されます。

ゲートウェイ

現在設定されているゲートウェイのアドレスが表示されます。

メトリック

現在設定されているメトリックが表示されます。

状態

状態(静的または動的)が表示されます。

操作

[修正]をクリックすると、設定内容を修正することができます。 [削除]をクリックすると、設定内容が削除されます。

RIP

RIP(Routing Information Protocol) の設定を行う画面です。

⇒ Internet/LAN (LAN 設定) - RIP



設定

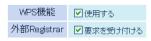
パラメーター	説明
Internet 側 RIP 送信	本商品が Internet 側に送信する RIP 情報の設定をします。
※ルータモード時のみ	(出荷時設定:なし)
Internet 側 RIP 受信	本商品が Internet 側から受信する RIP 情報の設定をします。
※ルータモード時のみ	(出荷時設定:なし)
LAN 側 RIP 送信	本商品が LAN 側に送信する RIP 情報の設定をします。
※ルータモード時のみ	(出荷時設定:なし)
LAN 側 RIP 受信	本商品が LAN 側から受信する RIP 情報の設定をします。 (出荷時設定:RIP1 と RIP2 両方)

無線設定

WPS

WPS の詳細な設定や状況を確認する画面です。

⇒無線設定-WPS



設定

光山NKルータ W200 PINコード	xxxxxxx	PIN生成
EnrolleeのPINコード		OK

WPS用無線セキュリティ設定

WPSステータス	configured	解除
11 n/g/b	SSID セキュリティ 暗号鍵	>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>

パラメーター	説明
WPS 機能	WPS 機能を使用するかどうかを設定します。 (出荷時設定:使用する)
外部 Registrar	WPS 機能を使用する際に、外部 Registrar からの configure 要求を受け付けるかどうかを設定します。 ※ AOSS 接続を行うと、外部 Registrar の要求を受け付けなくなります。 (出荷時設定:要求を受け付ける)
光 LINK ルータ W200PIN コード	本商品の PIN コードが表示されます。[PIN 生成] をクリックすると、 新しい PIN コードが生成されます。 (出荷時設定:本商品のラベルに記載の PIN コードが設定済み)
Enrollee の PIN コード	無線機器の PIN コードを入力して[OK]をクリックすると、本商品の 内部 Registrar が、その PIN コードを持つ無線機器からの接続要求を 受け付ける状態になります。 (出荷時設定:空欄)
WPS 用無線セキュリ ティ設定	本商品の WPS 状態と現在設定されている SSID、暗号化の種類、暗号 化キーが表示されます。 (出荷時設定: WPS ステータス「configured」、セキュリティ「WPA/ WPA2 mixedmode - PSK TKIP/AES mixedmode」、SSID/ 暗号鍵「出荷時設定ラベルに記載の値」)

AOSS

AOSS の詳細な設定や状況を確認する画面です。

⇒無線設定-AOSS



AOSS動作設定

WEP専用SSIDの暗号化レベル	802.11n/g/b 停止 💌
暗号化レベル拡張機能	802.11n/g/b 有効 💌
WEP専用SSID隔離	802.11n/g/b 無効 💌
WEPをゲーム専用にする	802.11n/g/b 使用する
本体側AOSSボタン	☑使用する

現在のセキュリティ情報 802.11 n/g/b



ランダム KEYベース リセット

設定

AOSS接続先情報

				接続設定
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXX WEP	P64/WEP128 A-PSK-TKIP/WPA-PSK-AES	802.11n/g/b	許可

AOSS接続先情報の編集

パラメーター 説明

(([])) A055 このボタンをクリックすると、AOSS 接続を開始します。 (本体の AOSS ボタンを押したときと同じ動作となります)

(1 (1) (1)

能

このボタンをクリックすると、AOSS 接続が解除、AOSS 接続先情報

も消去されます。

(その際、SSID や暗号化キーも AOSS を使用する前の値に戻ります)

WEP 専用 SSID の暗 号化レベル WEP 専用 SSID の暗号化レベルを WEP128、WEP64、停止の中から

設定します。

※ 設定を変更すると、本商品と無線機器との接続がいったん切断されます。

(出荷時設定: AOSS が設定されていないため、変更不可)

暗号化レベル拡張機

設定を有効にすると、AOSSで使用する暗号化のうち、TKIPを WPA/

WPA2-PSK-mixed に拡張します。

(出荷時設定:有効)

WEP 専用 SSID 隔離

設定を有効にすると、WEPで接続したネットワーク機器(ゲーム機など)は、AES/TKIPで接続したネットワーク機器と通信することが

できなくなります。 (出荷時設定:無効)

WEP をゲーム専用に する 設定を有効にすると、本商品に WEP で接続できる機器は、WEP のみをサポートした機器となり、他の機器は WEP で接続できなくなりま

す。

(出荷時設定:使用しない)

本体側 AOSS ボタン

AOSS ボタンが押されたときに AOSS 設定を行うかどうかを指定し

ます。

(出荷時設定:使用する)

現在のセキュリティ 情報 AOSS 接続時に設定された暗号化レベルとセキュリティ情報の詳細

が表示されます。

※ AOSS 接続時のみ

(出荷時設定:表示なし)

暗号化レベル

AOSS 接続時に設定された暗号化のレベルが表示されます。

※ AOSS 接続時のみ

現在有効になっている暗号化レベルには、「現在使用中」と表示され

ます。

(出荷時設定:表示なし)

SSID

AOSS 接続時に設定された SSID が表示されます。

※ AOSS 接続時のみ (出荷時設定:表示なし)

暗号化キー

AOSS 接続時に設定された暗号化キーが表示されます。

※ AOSS 接続時のみ (出荷時設定:表示なし)

パラメーター	説明
[ランダム] ※ AOSS 接続時のみ	クリックすると、各種 SSID や暗号化キーの入力欄に 16 進数を用い てランダムな値が生成されます。 (出荷時設定:表示なし)
[KEY ベース] ※ AOSS 接続時のみ	クリックすると、各種 SSID・暗号化キーの入力欄に本商品の無線設 定初期値を元にした値が生成されます。 (出荷時設定:表示なし)
[リセット] ※ AOSS 接続時のみ	クリックすると、各種 SSID・暗号化キーの入力欄が修正前の状態に 戻ります。 (出荷時設定:表示なし)
AOSS 接続先情報 ※ AOSS 接続時のみ	本商品と AOSS 接続した機器、および本商品と無線通信中の機器の 情報が表示されます。 (出荷時設定:表示なし)
接続先情報 ※ AOSS 接続時のみ	本商品と AOSS 接続した機器、および本商品と無線通信中の機器の 名称が表示されます。 (出荷時設定:表示なし)
MAC アドレス ※ AOSS 接続時のみ	本商品と AOSS 接続した機器、および本商品と無線通信中の機器の MAC アドレスが表示されます。 (出荷時設定:表示なし)
対応暗号化方式 ※ AOSS 接続時のみ	本商品と AOSS 接続した機器、および本商品と無線通信中の機器の対応可能な暗号化の種類が表示されます。 (出荷時設定:表示なし)
無線 ※ AOSS 接続時のみ	現在、接続している無線方式が表示されます。 (出荷時設定:表示なし)
接続設定 ※ AOSS 接続時のみ	本商品と AOSS 接続した機器、および本商品と無線通信中の機器に対して、現在接続を許可しているかどうかが表示されます。 (出荷時設定:表示なし)
AOSS 接続先情報の 編集 ※ AOSS 接続時のみ	クリックすると AOSS 接続先情報の編集画面(接続禁止/情報削除)が表示されます。

基本(11n/g/b)(ルータ / ブリッジモード時のみ)

無線の基本的な設定を行う画面です。

⇒無線設定-基本(11n/g/b)

無線機能	☑ 使用す	⁻ る
無線チャンネル	自動	✔ (現在のチャンネル: 1)
倍速モード	帯域: 20 拡張チャン	MHz 🕶 ネル: 1 💌
ANY接続	▼許可す	-ేవ
マルチセキ:	ュリティを使	[用しない
SSID1		
WPA-Mixed/	/PSK	☑使用する
隔離機能	t t	□使用する
SSID		光LINKルータ W200のMACアドレスを設定(xxxxxxxxxxxxx_1) 値を入力:
認証/暗号	化	WPA/WPA2-Mixed TKIP+AES 💌
WPA-PSK(事前共	共有キー)	•••••
SSID2		
AES		□使用する
隔離機能	b b	使用する
SSID		光LINKルータ W200のMACアドレスを設定(xxxxxxxxxxx_2) 値を入力:
WPA-PSK(事前共	共有キー)	
SSID3		
WEP		□使用する
隔離機能	t t	使用する
SSID		光LINKルータ W200のMACアドレスを設定(xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx
WEP暗号化牛	一設定	文字入力·5文字(WEP64) ● 1: 2: 3: 4:
Key更新間	隔	60 分
部定		

116

パラメーター 説明 無線機能 無線機能を使用するかどうかを設定します。 チェックマークを外すと、無線による通信ができなくなります。 (出荷時設定:使用する) 無線チャンネル 無線で使用するチャンネル(周波数帯)を設定します。「自動」を選択 すると電波混雑防止機能により、自動的に空いているチャンネルが 設定されます。 (出荷時設定:自動) 無線通信で使用する 20MHz の倍の帯域(40MHz)を使用して、高速無 倍速モード 線通信を行うかどうかを設定します。 倍速モードを使用する場合は、帯域を 40MHz に設定し、拡張チャン ネルを設定します。 ※「無線チャンネル」が「自動」に設定されている場合は、拡張チャン ネルも自動的に設定されます。 (出荷時設定:帯域 20MHz、拡張チャンネルなし) ANY 接続 無線機器からの ANY 接続を許可するかどうかを設定します。 「許可しない」に設定すると、無線子機設定ユーティリティから本商 品を検索することができなくなります。 ※ ANY 接続とは、無線機器の SSID を「ANY」に設定したときに、無 線シグナルレベルが一番良い状態の無線親機を自動検出し、その 無線親機に接続することです。 (出荷時設定:許可する) [マルチセキュリティ [マルチセキュリティを使用する]をクリックすると、複数の SSID、 を使用する]/ 無線セキュリティで動作します。 [マルチセキュリティ [マルチセキュリティを使用しない]をクリックすると、1 つの SSID、 を使用しない] 無線セキュリティで動作します。 ※ AOSS を実行すると、マルチセキュリティが有効になります。 (出荷時設定:マルチセキュリティを使用しない) 設定を有効にすると、接続している無線機器はインターネット側と 隔離機能 だけ通信可能になります。

だり通信可能になります。 (出荷時設定:使用しない)

SSID SSID を半角英数字で 1 ~ 32 文字までで設定します。

(出荷時設定: 光 LINK ルータ W200 の MAC アドレスを設定)

無線の認証 無線機器との接続の際に使用する認証方式を指定します。

(出荷時設定: WPA/WPA2 mixedmode - PSK)

パラメーター

説明

無線の暗号化

無線通信のデータ暗号化の種類を以下から選択します。 (出荷時設定:TKIP/AES mixedmode)

暗号化なし

暗号化を行わずに通信します。通信内容が盗聴されますので 暗号 化なしでのご使用は避けてください。

無線の認証で「認証を行わない」を選択した場合のみ使用可能で す。

WEP

WEP 暗号化を使用します。一般的な暗号化方式です。 暗号化キーを使用して無線機器と通信します。 無線の認証で「認証を行わない」を選択した場合のみ使用可能で す。

TKIP

暗号化の方式に TKIP(WEP をさらに強固にした方式)を使用します。事前共有キーを使用して無線機器と通信します。(通信速度は若干低下します。)

無線の認証で「WPA-PSK、WPA2-PSK」を選択した場合のみ使用可能です。

AES

暗号化の方式に AES(TKIP よりも強固な次世代暗号化方式)を使用します。事前共有キーを使用して無線機器と通信します。

無線の認証で「WPA-PSK、WPA2-PSK」を選択した場合のみ使用可能です。

TKIP/AES mixedmode

TKIP と AES の認証・通信を同時に行うことができます。

無線の認証で「WPA/WPA2 mixedmode-PSK」を選択した場合のみ使用可能です。

WPA-PSK(事前共有 キー)

※無線の認証で WPA-PSK、WPA2-PSK、 WPA/WPA2 mixedmode-PSK を選 択した場合のみ

Key 更新間隔

※無線の認証でWPA-PSK、WPA2-PSK、 WPA/WPA2 mixedmode-PSK を選 択した場合のみ 無線機器との認証で使用する事前共有キーを入力します。

※ 事前共有キーは、文字列入力の場合、半角英数字(大文字 / 小文字 の区別あり)を 8 \sim 63 文字で入力します。

16 進数入力の場合、 $0\sim9$ および $a\sim f(大文字/小文字の区別なし)の 64 桁で入力します。$

通信用暗号化キーを更新する間隔を設定します。 (1440 分まで設定できます) (出荷時設定:60 分)

パラメーター	説明
WEP 暗号化キー設定	無線を暗号化する暗号化キーを入力します。
※ 無線の暗号化で WEP	※ WEP 暗号化キーは、文字列入力の場合、半角英数字 (大文字 / 小文字の区別あり)を 5 文字または 13 文字で入力します。
を選択した場合のみ	16 進数入力の場合、 $0\sim9$ および $a\sim f$ (大文字 / 小文字の区別なし)の 10 桁または 26 桁で入力します。

パソコン側(11n/g/b)(リピータモード時のみ)

パソコン側との接続設定を行う画面です。

⇒ 無線設定ーパソコン側(11n/g/b)

無線機能	アクセスポイント側の設定を利用する 💌
無線チャンネル	自動 💙 (現在のチャンネル: 検出中)
倍速モード	帯域: 20 MHz ▼ 拡張チャンネル: 1 ▼
ANY接続	✔許可する

マルチセキュリティを使用する

隔離機能	□使用する			
SSID	光LINKルータ W200のMACアドレスを設定(xxxxxxxxxxxx) 値を入力:			
無線の認証	WPA/WPA2 mixedmode - PSK 💌			
無線の暗号化	TKIP/AES mixedmode 💌			
WPA-PSK(事前共有丰一)	00000000000			
Key更新間隔	60 分			

設定

パラメーター 説明

無線機能 本商品

本商品とパソコンとの接続に使用する無線機能の設定を選択します。

9 0

「アクセスポイント側の設定を利用する」を選択した場合は、接続先の設定を引き継ぎます。

プログラン

「手動で設定する」を選択した場合は、SSID と暗号化の設定を行いま

(出荷時設定:アクセスポイント側の設定を利用する)

無線チャンネル

リピータモードでは、「自動」以外には設定できません。無線チャンネルは、本商品が接続している無線親機のチャンネルを引き継ぎます。

(出荷時設定:自動)

倍速モード 無線通信で使用する 20MHz の倍の帯域(40MHz)を使用して、高速無

線通信を行うかどうかを設定します。

倍速モードを使用する場合は、帯域を 40MHz に設定します。 ※ リピータモードでは、拡張チャンネルは手動設定できません。

(出荷時設定:帯域 20MHz、拡張チャンネルなし)

パラメーター	説明
ANY 接続	無線機器からの ANY 接続を許可するかどうかを設定します。「許可しない」に設定すると、無線子機設定ユーティリティから本商品を検索することができなくなります。 ※ ANY 接続とは、無線機器の SSID を「ANY」に設定したときに、無線シグナルレベルが一番良い状態の無線親機を自動検出し、その無線親機に接続することです。
	(出荷時設定:許可する)
[マルチセキュリティ を使用する]/ [マルチセキュリティ を使用しない]	[マルチセキュリティを使用する]をクリックすると、複数の SSID、無線セキュリティで動作します。 [マルチセキュリティを使用しない]をクリックすると、1 つの SSID、無線セキュリティで動作します。 (出荷時設定:マルチセキュリティを使用しない)
隔離機能	設定を有効にすると、接続している無線機器はインターネット側と だけ通信可能になります。 (出荷時設定:使用しない)
SSID	SSID を半角英数字で $1\sim32$ 文字までで設定します。 (出荷時設定: 光 LINK ルータ W200 の MAC アドレスを設定)

無線機器との接続の際に使用する認証方式を指定します。

(出荷時設定: WPA/WPA2 mixedmode - PSK)

無線の認証

パラメーター

説明

無線の暗号化

無線通信のデータ暗号化の種類を以下から選択します。 (出荷時設定:TKIP/AES mixedmode)

暗号化なし

暗号化を行わずに通信します。通信内容が盗聴されますので 暗号 化なしでのご使用は避けてください。

無線の認証で「認証を行わない」を選択した場合のみ使用可能で す。

WEP

WEP 暗号化を使用します。一般的な暗号化方式です。 暗号化キーを使用して無線機器と通信します。 無線の認証で「認証を行わない」を選択した場合のみ使用可能で す。

TKIP

暗号化の方式に TKIP(WEP をさらに強固にした方式)を使用します。事前共有キーを使用して無線機器と通信します。(通信速度は若干低下します。)

無線の認証で「WPA-PSK、WPA2-PSK」を選択した場合のみ使用可能です。

AES

暗号化の方式に AES(TKIP よりも強固な次世代暗号化方式)を使用します。事前共有キーを使用して無線機器と通信します。

無線の認証で「WPA-PSK、WPA2-PSK」を選択した場合のみ使用可能です。

TKIP/AES mixedmode

TKIP と AES の認証・通信を同時に行うことができます。

無線の認証で「WPA/WPA2 mixedmode-PSK」を選択した場合のみ使用可能です。

WPA-PSK(事前共有 キー)

※無線の認証で WPA-PSK、WPA2-PSK、 WPA/WPA2 mixedmode-PSK を選 択した場合のみ

Key 更新間隔

※無線の認証でWPA-PSK、WPA2-PSK、 WPA/WPA2 mixedmode-PSK を選 択した場合のみ 無線機器との認証で使用する事前共有キーを入力します。

※ 事前共有キーは、文字列入力の場合、半角英数字(大文字 / 小文字 の区別あり)を 8 \sim 63 文字で入力します。

16 進数入力の場合、0 \sim 9 および a \sim f(大文字 / 小文字の区別なし)の 64 桁で入力します。

通信用暗号化キーを更新する間隔を設定します。 (1440 分まで設定できます) (出荷時設定:60 分)

パラメーター	説明
WEP 暗号化キー設定	無線を暗号化する暗号化キーを入力します。
※ 無線の暗号化で WEP	※ WEP 暗号化キーは、文字列入力の場合、半角英数字 (大文字 / 小文字の区別あり) を 5 文字または 13 文字で入力します。
を選択した場合のみ	16 進数入力の場合、 $0 \sim 9$ および $a \sim f$ (大文字 / 小文字の区別なし) の 10 桁または 26 桁で入力します。

拡張(11n/g/b)

無線の拡張設定を行う画面です。

⇒無線設定-拡張(11n/g/b)

Multicast Rate	自動 💌
DTIM Period	1
ブライバシーセバレータ	□使用する

設定

パラメーター	説明
Multicast Rate	マルチキャストパケットの通信速度を設定します。 (出荷時設定:自動)
DTIM Period	無線機器に通知するビーコン応答間隔($1 \sim 255$)の設定をします。無線機器のパワーマネージメント設定を有効にした場合のみ、この設定が有効になります。 (出荷時設定: 1)
プライバシーセパ レータ	無線機器間の通信を許可するかどうかを設定します。「使用する」に 設定すると、同一の無線親機に接続している無線機器同士の通信が できなくなります。 ※ 有線側からは、無線機器と通信できます。 (出荷時設定:使用しない)

WMM (11n/g/b)

本商品が行う特定の通信に優先順位をつける設定を行う画面です。

⇒無線設定-WMM (11n/g/b)

WMM Bフレッツ/フレッツ・光ブレミアム用バラメータ 🔻

WMM-EDCAバラメータ

通常は設定を変更しないでください

優先度	パラ>	(一タ	
		AP用	STA用
	CWmin:	15	15
AO DIVING IN	CWmax:	1023	1023
AC_BK(低い)	AIFSN:	7	7
	TXOP Limit:	0	0
	Admission Control:		無効 🕶
		AP用	STA用
	GWmin:	15	15
	CWmax:	63	1023
AC_BE(通常)	AIFSN:	3	3
	TXOP Limit:	0	0
	Admission Control:		無効 🕶
		AP用	STA用
	GWmin:	7	7
	CWmax:	15	15
AC_VI(優先)	AIFSN:	1	2
	TXOP Limit:	94	94
	Admission Control:		無効 🕶
		AP用	STA用
	GWmin:	3	3
	CWmax:	7	7
AC_VO(最優先)	AIFSN:	1	2
	TXOP Limit:	47	47
	Admission Control:		無効 🕶

設定

パラメーター	説明		
WMM	本商品が行う通信で、特定の通信にのみ優先順位を付ける設定を 行います。		
	B フレッツ / フレッツ・光プレミアム向けの優先制御を行う		
	「B フレッツ / フレッツ・光プレミアム用パラメータ」、		
	フレッツ 光ネクスト向けの優先制御を行う		
	「フレッツ 光ネクスト用パラメータ」、		
	WMM 標準の優先制御を行う「WMM 標準パラメータ」の 3 つから		
	選択することができます。		
	(出荷時設定:B フレッツ / フレッツ・光プレミアム用パラメータ)		

パラメーター 説明

WMM-EDCA パラメータ 一般的な使い方では、この値を変更する必要はありません。 出荷時設定値は以下の通りです。

※ WMM で「WMM 標準パラメータ」を選択した場合のみ有効

優先度	パラメーター	AP 初期値	STA 初期値
AC_BK(低い)	CWmin	15	15
	CWmax	1023	1023
	AIFSN	7	7
	TXOP Limit	0	0
	Admission Control		無効
AC_BE(通常)	CWmin	15	15
	CWmax	63	1023
	AIFSN	3	3
	TXOP Limit	0	0
	Admission Control		無効
AC_VI(優先)	CWmin	7	7
	CWmax	15	15
	AIFSN	1	2
	TXOP Limit	94	94
	Admission Control		無効
AC_VO(最優先)	CWmin	3	3
	CWmax	7	7
	AIFSN	1	2
	TXOP Limit	47	47
	Admission Control		無効

パラメーター

説明

優先度

優先度は、通信パケットごとに適用され、(Highest) 8: (High) 4: (Normal) 2: (Low) 1 の割合で優先的に処理されます。

CWmin, CWmax

コンテンション・ウィンドウの最大値・最小値です。コンテンション・ウィンドウは IEEE802.11 で行うフレーム衝突回避機構で使用され、一般にウィンドウ内の値が小さくなるほど、そのキューが送信権を得る確率が高くなります。

AIFSN

フレーム送信間隔です。単位はスロット (CWmin, CWmax で定義されるウィンドウ値と同様)です。フレーム送信間隔が小さいほど、バックオフアルゴリズムの開始時間が早まるため、結果としてキューの優先度が高くなります。

TXOP Limit

キューが送信権を得た場合に占有できる時間を示します。1 単位は 32ms です。この時間が多いほど一度得た送信権でより多くのフレームを転送することができますが、反面キューのリアルタイム性を損なうことになります。TXOP Limit を 0 に設定した場合は、1回の送信権で 1 つのフレームのみ送信できます。

Admission Control

キューに対して送信フレームの割り当て制限を行います。キューがある程度蓄積されると、新たに送信フレームが割り当てられるときに下位のキューを割り当てるようになります。

MAC アクセス制限

無線機器からのアクセスを制限する設定を行う画面です。

⇒無線設定-MACアクセス制限

無線パソコンの接続 □ 制限する

設定

登録リスト

MACアドレス 接続状態 MACアドレスが登録されていません

登録リストの編集

パラメーター

説明

無線パソコンの接続無線機器からの接続を制限するかどうかを設定します。

(出荷時設定:制限しない)

登録リスト MAC アクセス制限で、接続を許可する無線機器の MAC アドレスが

表示されます。 (出荷時設定:なし)

MAC アドレス

MACアドレスが表示されます。

接続状態

接続状態が表示されます。

【登録リストの編集】 クリックすると、接続を許可する無線機器の MAC アドレスを登録

する画面が表示されます。

登録する MAC アド 接

レス

接続を許可する無線機器の MAC アドレスを入力します。

[新規追加]をクリックすると、MAC アドレスがリストに登録されま

す。

(出荷時設定:なし)

登録リスト 登録した無線機器の MAC アドレスなどが表示されます。

MAC アドレス

MACアドレスが表示されます。

操作

[修正]をクリックすると、登録内容を修正することができます。

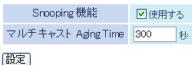
[削除]をクリックすると、登録内容が削除されます。

パラメーター	説明		
検出された無線パソ コン一覧	本商品に接続している無線機器の MAC アドレス一覧が表示されます。		
	MAC アドレス		
	MAC アドレスが表示されます。		
	操作		
	[登録]をクリックすると、リストにその機器の MAC アドレスが 登録されます。		
[現在の状態を表示]	クリックすると、表示内容が更新されます。		

マルチキャスト制御

無線 LAN ポートに無駄なマルチキャストパケットが転送されないように制限する設定を行 う画面です。

⇒無線設定-MACアクセス制限



パラメーター	説明
Snooping 機能	IGMP などのマルチキャスト管理パケットを監視し、不必要な有線・無線各ポートへのマルチキャストの転送を抑制することができる、マルチキャスト Snooping (スヌーピング)機能を使用するかどうかを設定します。 (出荷時設定:使用する)
マルチキャスト Aging Time	マルチキャスト Snooping 機能によって学習した情報を保持する時間を $1\sim3600$ 秒の範囲で設定します。 $IGMP/MLD$ クエリ間隔よりも十分に大きな値を入力する必要があります。 (出荷時設定: 300 秒)

リピータ(ルータ/ブリッジモード時のみ)

本商品を他の無線機器に接続するための設定を行う画面です。

⇒ 無線設定-リピータ

リビータ機能	▼使用する			
設定方法	手動設定			
SSID	[検索]			
無線の認証	認証を行わない。			
無線の暗号化	暗号化なし、			
優先接続先指定	優先的に接続させる MACアドレス			
設定				

パラメーター	説明
リピータ機能	本商品同士、またはリピータに対応した無線機器に接続するための 機能を使用するかどうかを設定します。 (出荷時設定:使用する)
SSID	接続先の SSID を入力します。[検索]をクリックすると、周囲の無線 機器の SSID が一覧表示されます。 (出荷時設定:親機動作のため、入力不可)
無線の認証	無線機器との接続の際に使用する認証方式を指定します。 (出荷時設定: 親機動作のため、設定不可)

パラメーター

説明

無線の暗号化

無線通信のデータ暗号化の種類を以下から選択します。 (出荷時設定: 親機動作のため、設定不可)

暗号化なし

暗号化を行わずに通信します。通信内容が盗聴されますので 暗号 化なしでのご使用は避けてください。無線の認証で「認証を行わない」を選択した場合のみ使用可能です。

WEP

WEP 暗号化を使用します。一般的な暗号化方式です。暗号化キーを使用して通信します。無線の認証で「認証を行わない」を選択した場合のみ使用可能です。

TKIP

暗号化の方式に TKIP(WEP をさらに強固にした方式)を使用します。事前共有キーを使用して通信します。(通信速度は若干低下します。)無線の認証で「WPA-PSK、WPA2-PSK」を選択した場合のみ使用可能です。

AES

暗号化の方式に AES(TKIP よりも強固な次世代暗号化方式)を使用します。事前共有キーを使用して通信します。無線の認証で「WPA-PSK、WPA2-PSK」を選択した場合のみ使用可能です。

WPA-PSK

(事前共有キー)

無線の認証で WPA-PSK、WPA2-PSK を選択した場合のみ 無線機器との認証で使用する事前共有キーを入力します。

※ 事前共有キーは、文字列入力の場合、半角英数字(大文字 / 小文字 の区別あり)を $8\sim63$ 文字で入力します。

16 進数入力の場合、 $0 \sim 9$ および $a \sim f(大文字 / 小文字の区別な し) の 64 桁で入力します。$

WEP 暗号化キー設定

※ 無線の暗号化で WEP を選択した場合のみ 無線を暗号化する暗号化キーを入力します。

※ WEP 暗号化キーは、文字列入力の場合、半角英数字(大文字/小文字の区別あり)を 5 文字または 13 文字で入力します。

16 進数入力の場合、0 ~ 9 および a ~ f(大文字 / 小文字の区別なし)の 10 桁または 26 桁で入力します。

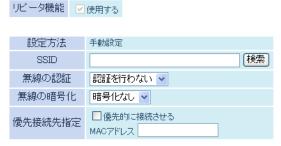
優先接続先指定

「優先的に接続させる」を有効にして接続先機器の MAC アドレスを 登録すると、SSID や暗号化設定が同じ機器が複数存在する環境においても、ここで登録した機器に優先的に接続するようになります。 (出荷時設定: 親機動作のため、設定不可)

アクセスポイント側(リピータモード時のみ)

アクセスポイントとの接続設定を行う画面です。

⇒ 無線設定-アクセスポイント側



設定

パラメーター	説明
リピータ機能	本商品同士、またはリピータに対応した無線機器に接続するための機能を使用するかどうかを設定します。 (出荷時設定:使用する)
SSID	接続先の SSID を入力します。[検索]をクリックすると、周囲の無線 機器の SSID が一覧表示されます。 (出荷時設定:空欄)
無線の認証	無線機器との接続の際に使用する認証方式を指定します。 (出荷時設定:認証を行わない)

パラメーター

説明

無線の暗号化

無線通信のデータ暗号化の種類を以下から選択します。 (出荷時設定:暗号化なし)

暗号化なし

暗号化を行わずに通信します。通信内容が盗聴されますので 暗号 化なしでのご使用は避けてください。無線の認証で「認証を行わない」を選択した場合のみ使用可能です。

WEP

WEP 暗号化を使用します。一般的な暗号化方式です。暗号化キーを使用して通信します。無線の認証で「認証を行わない」を選択した場合のみ使用可能です。

TKIP

暗号化の方式に TKIP(WEP をさらに強固にした方式)を使用します。事前共有キーを使用して通信します。(通信速度は若干低下します。)無線の認証で「WPA-PSK、WPA2-PSK」を選択した場合のみ使用可能です。

AES

暗号化の方式に AES(TKIP よりも強固な次世代暗号化方式)を使用します。事前共有キーを使用して通信します。無線の認証で「WPA-PSK、WPA2-PSK」を選択した場合のみ使用可能です。

WPA-PSK

(事前共有キー)

無線の認証で WPA-PSK、WPA2-PSK を選択した場合のみ 無線機器との認証で使用する事前共有キーを入力します。

※ 事前共有キーは、文字列入力の場合、半角英数字(大文字 / 小文字 の区別あり)を $8\sim63$ 文字で入力します。

16 進数入力の場合、 $0 \sim 9$ および $a \sim f(大文字 / 小文字の区別な し) の 64 桁で入力します。$

WEP 暗号化キー設定

※ 無線の暗号化で WEP を選択した場合のみ 無線を暗号化する暗号化キーを入力します。

※ WEP 暗号化キーは、文字列入力の場合、半角英数字(大文字/小文字の区別あり)を 5 文字または 13 文字で入力します。

16 進数入力の場合、0 ~ 9 および a ~ f(大文字 / 小文字の区別なし)の 10 桁または 26 桁で入力します。

優先接続先指定

「優先的に接続させる」を有効にして接続先機器の MAC アドレスを登録すると、SSID や暗号化設定が同じ機器が複数存在する環境においても、ここで登録した機器に優先的に接続するようになります。(出荷時設定:未設定)

セキュリティ(ルータモード時のみ)

ファイアウォール(ルータモード時のみ)

本商品のファイアウォール機能を設定する画面です。

⇒ セキュリティーファイアウォール

ログ出力 □使用する

有効	簡易ルール	バケッ数
	NBTとMicrosoft-DSのルーティングを禁止する	0
~	IDENTの要求を拒否する	0
V	Internet側からのPINGに応答しない	0

設定

パラメーター

説明

ログ出力

ファイアウォール機能のログを出力するかどうかを設定します。 (出荷時設定:使用しない)

簡易ルール

簡易フィルタを使用するかどうかを設定します。 各フィルタの内容は以下の通りです。

NBT と Microsoft-DS のルーティングを禁止する

有効にすると、Internet 側から LAN 側および LAN 側から Internet 側への Microsoft ネットワーク共有機能は使用できなくなります。 Internet 側 IP アドレス取得方法で「PPPoE クライアント機能を使用する」を選択している場合や、「インターネット@スタートを行う」を選択していて判別結果が PPPoE だった場合に限り、PPPoE の接続先ごとに設定を行うことができます。 (出荷時設定:無効)

IDENT の要求を拒否する

有効にすると、Internet 側からの IDENT の認証要求に対して拒否パケットを送ります。

メール送信、ftp、ブラウザ等のネットワークアプリケーションの通信が遅くなる場合に設定してください。

アドレス変換設定で、IDENT の要求を LAN 側パソコンに転送する設定 (DMZ または TCP ポート:113) になっている場合、そちらの設定が優先され、この設定を有効にしても機能は動作しません。 (出荷時設定:有効)

パラメーター

説明

Internet 側からの PING に応答しない

有効にすると、Internet 側からの PING に応答しなくなります。 Internet 側 IP アドレス取得方法で「PPPoE クライアント機能を使用する」を選択している場合や、「インターネット@スタートを行う」を選択していて判別結果が PPPoE だった場合に限り、PPPoE の接続先ごとに設定を行うことができます。 (出荷時設定: 有効)

IP フィルタ(ルータモード時のみ)

LAN 側と Internet 側の間で通過するパケットに関する IP フィルタの編集を行う画面です。

⇒ セキュリティー IP フィルタ

ログ出ナ <mark>設定</mark>) ל	□使用する					
IPフィル	/タ(D新規追加					
動作		無視 🕶					
方向		Internet→LA	N 🔻				
IPアドレ	ス	送信元:			→ 宛先:		
		○全て ○ICMP					
ブロトコ	ル	○任意	ブロ	ルコル番号:			
		⊙ TCP/UDP		意のTCPポー 意のTCP/UDP		指定の	<u>仕方</u>
追加							
IPフィルタ登録情報							
動作フ	5向	送信元アドレス 宛先アドレス	ス	ブロトコル	バケット数	操作	
		TPコフルカナナ	容兒	されていません	£		

パラメーター 説明

ログ出力 IP フィルタ機能のログを出力するかどうかを設定します。

(出荷時設定:使用しない)

動作 対象となるパケットの処理方法を指定します。

(出荷時設定:無視)

無視

対象パケットは、無視され、破棄され、通過させられません。

拒否

対象パケットは、無視され、破棄され、通過させられません。 さらに送信元のパソコンへ拒否パケットが送られます。

通過

対象パケットは、通過させられます。

	, =		
パラメーター	説明		
方向	対象となるパケットの通信方向を指定します。 (出荷時設定:Internet → LAN)		
	Internet → LAN		
	Internet 側から LAN 側へ通過するパケットを対象にします。		
	LAN → Internet		
	LAN 側から Internet 側へ通過するパケットを対象にします。		
IPアドレス	対象となるパケットの送信元 IP アドレスと 宛先 IP アドレスを指定 します。 (出荷時設定:空欄)		
プロトコル	対象となる通信パケットのプロトコルを選択します。 (出荷時設定:TCP/UDP)		
	全て		
	IP プロトコルを使用するすべての通信パケットを対象にします。		
	ICMP		
	ICMP プロトコルを用いた通信パケットを対象にします。		
	任意		
	任意の IP プロトコルを用いた通信パケットを対象にします。		
	TCP/UDP		
	IP プロトコルで運ばれる TCP または UDP を対象にします。		

別途ポート番号を設定する必要があります。

説明

IP フィルタ 登録情報

登録されている IP フィルタ(最大 32 まで)を一覧で表示します。 (出荷時設定:未登録)

動作

対象となるパケットの処理方法が表示されます。

方向

対象となるパケットの通信方向が表示されます。

送信元アドレス/宛先アドレス

対象となるパケットの送信元 IP アドレスと 宛先 IP アドレスが表示されます。

プロトコル

対象となるパケットのプロトコルが表示されます。

パケット数

対象となったパケット数が表示されます。

操作

[修正]をクリックすると、登録済みの IP フィルタ情報を修正できます。

[削除]をクリックすると、登録済みの IP フィルタ情報を削除します。

IPv6/PPPoE ブリッジ・VPN パススルー (ルータモード時のみ)

IPv6 ブリッジ・PPPoE ブリッジ機能・PPTP パススルーに関する設定を行う画面です。

⇒ セキュリティー IPv6/PPPoE ブリッジ・VPN パススルー

フレッツIPv6サービス対応機能(IPv6ブリッジ)	☑ 使用する
PPPoEブリッジ機能	□使用する
PPTPパススルー	☑ 使用する

設定

パラメーター	説明
フレッツ IPv6 サービ ス対応機能 (IPv6 ブリッジ)	アドレス変換においてフレッツ IPv6 サービス対応機能を使用する かどうかを設定します。 (出荷時設定:使用する)
PPPoE ブリッジ機能	PPPoE ブリッジ機能を使用するかどうかを設定します。 PPPoE ブリッジ機能を使用すると、PPPoE パケットが Internet ー LAN 間ですべて通過可能となり、LAN 側に接続したパソコンで PPPoE プロトコルを使用してプロバイダから IP アドレスを自動取 得することができるようになります。 (出荷時設定:使用しない)
PPTP パススルー	アドレス変換において PPTP パススルー機能を使用するかどうかを 設定します。 (出荷時設定: 使用する)

ゲーム&アプリ (ルータモード時のみ)

ポート変換(ルータモード時のみ)

ポート変換に関する設定を行う画面です。

⇒ ゲーム & アプリーポート変換

ポート変換の新規追加

グループ	新規追加 🗸	新規追加:		
Internet側IPアドレス	光LINKルータ W200の Internet(側Pアドレス ・ 手動設定:			
	→ → → → → → → → → →			
	OICMP			
ブロトコル	○任意	プロトコル番号:		
	O TOD (1100	任意のTCPポート <u>*</u> 指定の仕方		
	● TCP/UDP	任意のTCP/UDPポート:		
LAN側IPアドレス	192.168.1.2			
LAN側ボート	TCP/UDPボート:			
新規追加				
ポート変換登録情報				
グループ Internet側IPアドレス プロトコル 操作 LAN側IPアドレス LAN側ボート				

パラメーター

アドレス変換設定は登録されていません

説明

グループ

登録するルールが属するグループを指定します。[新規追加]を選択して、新規グループ名を「新規追加」欄に入力すると、新たなグループを作成します。半角英数字で16文字までのグループ名を付けることが可能です。

(出荷時設定:空欄)

Internet 側 IP アドレ ス

ポート変換テーブルに追加する Internet 側(変換前)の IP アドレスを 設定します。

(出荷時設定:光 LINK ルータ W200 の Internet 側 IP アドレス)

光 LINK ルータ W200 の Internet 側 IP アドレス

ポート変換を行う通信パケットの宛先アドレスが、本商品の Internet 側 IP アドレスである場合に選択します。

手動設定

ポート変換を行う通信パケットの宛先アドレスを手動で設定する 場合に選択します。

パラメーター 説明

プロトコル

対象となる通信パケットのプロトコルを選択します。 (出荷時設定:TCP/UDP)

全て

IP プロトコルを使用するすべての通信パケットを対象にします。

ICMP

ICMP プロトコルを用いた通信パケットを対象にします。

任意

任意の IP プロトコルを用いた通信パケットを対象にします。

TCP/UDP

IP プロトコルで運ばれる TCP または UDP を対象にします。 別途ポート番号を設定する必要があります。

LAN 側 IP アドレス

ポート変換テーブルに追加する LAN 側(変換後)の IP アドレスを 設定します。

(出荷時設定:現在設定を行っているパソコンの IP アドレス)

LAN 側ポート

ポート変換テーブルに追加する LAN 側(変換後)のポート番号(1 ~ 65535)を設定します。 (出荷時設定:空欄)

ポート変換 登録情報

現在、設定されているポート変換テーブル(最大 32 まで)を一覧で表示します。

(出荷時設定:未登録)

グループ

ポート変換テーブルに登録したグループ名が表示されます。

Internet 側 IP アドレス /LAN 側 IP アドレス

ポート変換テーブルに追加する Internet 側(変換前)の IP アドレスと LAN 側(変換後)の IP アドレスが表示されます。

プロトコル/LAN 側ポート

対象となるパケットのプロトコルと LAN 側(変換後)のポート番号が表示されます。

操作

[OFF]をクリックすると、ポート変換登録情報の状態を無効にします。

[ON]をクリックすると、ポート変換登録情報の状態を有効にします。

[修正]をクリックすると、登録済みのポート変換登録情報を修正できます。

[削除]をクリックすると、登録済みのポート変換登録情報を削除します。

DMZ(ルータモード時のみ)

LAN 側からの通信と無関係な通信パケットの転送先を設定する画面です。

⇒ ゲーム & アプリー DMZ

DMZのアドレス

※WEB設定を行っているパソコンのIPアドレス[192.168.1.3]

設定

パラメーター	説明
DMZ のアドレス	ポート変換テーブルに設定されていないパケットの転送先の IP アドレスを設定します。(RIP プロトコル(UDP ポート番号 520)の パケットは、転送されません) (出荷時設定:空欄)

UPnP(ルータモード時のみ)

UPnP(Universal Plug and Play)に関する設定を行う画面です。

⇒ゲーム&アプリーUPnP

UPnP機能 ☑ 使用する

設定

パラメーター	説明
UPnP 機能	Universal Plug and Play(UPnP)機能を使用するかどうかを設定しま す。 (出荷時設定:使用する)

QoS(ルータモード時のみ)

インターネットへの送信するパケットの優先制御設定を行う画面です。

⇒ゲーム&アプリーQoS

イン	ターネッ	小への送信用QoS ☑ _{使用}	する			
上り	回線帯	域幅 1000 Kbps				
No.	有効	アブリ名	プロトコル	宛先ボート	優先度	
1		VoIP	UDP 🕶		高❤	
2		ssh	TCP 🕶	22	中~	
3		telnet	TCP 🕶	23	中~	
4		ftp	TCP 🕶	21	低🕶	
5			TCP 🕶		低🕶	
6			TCP 🕶		低 🕶	
7			TCP 🕶		低 🕶	
8			TCP 🕶		低 🕶	
設定						

ルニューター	-H 00
パラメーター	説明

インターネットへの 送信用 QoS インターネットへの送信するパケットを優先制御する QoS 機能を

使用するかどうかを設定します。 (出荷時設定:使用しない)

上り回線帯域幅

本商品からインターネット側への上り回線の通信帯域を1~

1000000kbps までで指定します。

実際の帯域とは大きく異なる値を指定した場合、期待した効果が得

られないことがあります。

上り回線帯域の計測は、インターネット上の計測サイト等をご利用

ください。

(出荷時設定:1000kbps)

有効 リストの有効/無効を切り替えます。

(出荷時設定:すべて無効)

アプリ名 優先制御するアプリ名を半角英数字 32 文字までで設定します。

(出荷時設定:No1「VoIP」、No2「ssh」、No3「telnet」、No4「ftp」)

プロトコル リストに登録したアプリが使用するプロトコル(TCP または UDP)

を設定します。

(出荷時設定:No1「UDP」、No2「TCP」、No3「TCP」、No4「TCP」)

宛先ポート リストに登録したアプリの宛先ポートを設定します。

(出荷時設定:No1「空欄」、No2「22」、No3「23」、No4「21」)

パラメーター	説明
優先度	リストに登録したアプリの優先度を設定します。 (出荷時設定: No1「高」、No2「中」、No3「中」、No4「低」)

管理設定

本体

本商品の名称を設定する画面です。

⇒ 管理設定 - 本体

機器名 APXXXXXXXXXXXX

設定

パラメーター	説明
機器名	本商品の名称を設定します。(半角英数字と「-」で、64 文字まで入力できます) (出荷時設定:"AP"+ 本商品の LAN MAC アドレス)

パスワード

本商品の設定画面にログインするためのパスワードを設定する画面です。

⇒ 管理設定−パスワード

管理ユーザ名		
管理パスワード	•••••	
	•••••	(確認用)

設定

パラメーター	説明
管理ユーザ名	本商品の設定画面へログインするときのユーザ名です。「root」以外に変更できません。 (出荷時設定:root)
管理パスワード	本商品の設定画面ヘログインするときのパスワードです。(半角英数字と「_」で、8 文字まで入力できます)(出荷時設定:設定なし)

時刻

本商品の内部時計を設定する画面です。

⇒ 管理設定 - 時刻



パラメーター	説明
日付	本商品の内部時計の日付を手動で設定します。 (出荷時設定:2010年1月1日)
時刻	本商品の内部時計の時刻を手動で設定します。 (出荷時設定:0時0分0秒)
	※ [現在アクセス中のパソコンから時刻を取得]をクリックすると、現在アクセス中のパソコンから時刻を取得して入力欄に表示します。表示した時刻を設定する場合は、[設定]をクリックしてください。
タイムゾーン	本商品の内部時計のタイムゾーン(グリニッジ標準時からの時差)を 指定します。 (出荷時設定:(GMT+09:00)東京、大阪、ソウル)

第5章 本商品の設定画面

NTP

本商品の内部時計を NTP サーバと同期するための設定を行う画面です。

⇒ 管理設定 - NTP

NTP機能	☑使用する
サーバ名	ntp.jst.mfeed.ad.jp
確認時間	24 時間毎

設定

パラメーター	説明
NTP 機能	本商品の内部時計を NTP サーバを使って設定するかどうかを指定 します。 (出荷時設定:使用する)
サーバ名	NTP サーバの名称をホスト名、ドメイン名つきホスト名、IP アドレスのいずれかで設定します。 (半角英数字と「.」「-」で 255 文字まで入力できます) (出荷時設定:ntp.jst.mfeed.ad.jp)
確認時間	NTP サーバに時刻を問い合わせる周期(1 ~ 24 時間毎)を設定します。 (出荷時設定: 24 時間毎)

エコ

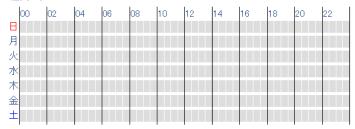
本商品の省電力設定を行う画面です。

⇒ 管理設定ーエコ

スケジュール □使用する

設定

週間スケジュール



■ 通常動作 ■ スリーブ ■ ユーザ 定義

	動作モード	通常動作 ▼	
	開始時間	0:00	
スケジュール登録	終了時間	0:30 🔻	
	曜日		

追加

	ランブ	オフ
ユーザ定義モード	有線LAN	エコ(低速動作) 🗸
	無線LAN	オフ

設定

パラメーター

説明

スケジュール

あらかじめ登録したスケジュールにしたがって、おまかせ節電機能を使用するかどうかを設定します。

おまかせ節電機能を使用するには、「使用する」を選択する必要があります。

(出荷時設定:使用しない)

※「使用する」にした場合、通常動作モード以外では AOSS 接続ができなくなります。

週間スケジュール

「スケジュール登録」で設定したスケジュールが表示されます。 (出荷時設定:未登録)

パラメーター

説明

スケジュール登録

おまかせ節電の開始 / 終了スケジュールを設定します。スケジュールは、「動作モード」、「開始時間」、「終了時間」、「曜日」を組み合わせて設定します。

動作モード

おまかせ節電時の動作モードを設定します。

通常動作の場合、省電力機能を使用せず動作します。

スリープの場合、ランプが OFF、有線 LAN が OFF、無線 LAN が OFF になります。

ユーザ定義の場合、「ユーザ定義モード」で設定した動作を行います。

(出荷時設定:通常動作)

開始時間

おまかせ節電時の開始時間を $0:00\sim23:30$ まで 30 分単位で設定します。

(出荷時設定:0:00)

終了時間

おまかせ節電時の終了時間を $0:30\sim24:00$ まで 30 分単位で設定します。

(出荷時設定:0:30)

曜日

おまかせ節電を実行する曜日を設定します。 (出荷時設定:指定なし)

ユーザ定義モード

おまかせ節電の内容を細かく指定したい場合に設定します。ユーザ 定義モードは、「ランプ」、「有線 LAN」、「無線 LAN」を組み合わせて設 定します。

ランプ

おまかせ節電時のランプの動作を設定します。 通常動作の場合、ランプが点灯します。 オフの場合、POWER ランプ以外のランプが OFF になります。 (出荷時設定:オフ)

有線 LAN

おまかせ節電時の有線 LAN の動作を設定します。 通常動作の場合、最大 100Mbps で通信を行います。 エコ(低速動作)の場合、最大通信速度が 10Mbps に制限されます。 オフの場合、有線 LAN が無効になります。 (出荷時設定:エコ(低速動作))

無線 LAN

おまかせ節電時の無線 LAN の動作を設定します。 通常動作の場合、無線 LAN が有効になります。 オフの場合、無線 LAN が無効になります。 (出荷時設定:オフ)

アクセス

本商品の設定画面へのアクセスを制限する設定を行う画面です。

⇒ 管理設定 – アクセス

ログ出力 □使用する

有効	制限項目	バケッ数
	無線LANからの設定を禁止する	0
	有線LANからの設定を禁止する	0

Internet側リモートアクセス設定

有効	制限項目
	Internet(則リモートアクセス設定を許可する

設定

パラメーター	説明
ログ出力	管理アクセス設定のログを出力するかどうかを設定します。 (出荷時設定:使用しない)
無線 LAN からの設定 を禁止する	無線機器から本商品の設定をできないようにします。 (出荷時設定:無効)
有線 LAN からの設定 を禁止する	本商品の LAN ポートに接続された機器から本商品の設定をできないようにします。 (出荷時設定:無効)
Internet 側リモート アクセス設定を許可 する ※ルータモード時のみ	Internet に接続されたネットワーク機器から本商品の設定画面への アクセスを制限するかどうかを設定します。 (出荷時設定:無効)
許可 IP アドレス ※ルータモード時のみ	「Internet 側リモートアクセス設定を許可する」にチェックマークを つけると表示されます。 Internet 側からのリモートアクセスを許可する IP アドレスを設定し ます。 (出荷時設定:空欄)
許可ポート ※ルータモード時のみ	「Internet 側リモートアクセス設定を許可する」にチェックマークをつけると表示されます。 Internet 側から本商品の設定をする場合のポート番号 ($1\sim65535$)を設定します。 (出荷時設定:空欄)

第5章 本商品の設定画面

ログ

syslog による本商品のログ情報を転送するための設定を行う画面です。

⇒ 管理設定-ログ

ログ情報転送機能 syslogサーバ	■使用する	
転送するログ情報	✓ アドレス変換✓ ファイアウォール✓ DHOPクライアント✓ AOSS✓ 認証✓ システム起動✓ 有線リンク	✓ IPフィルタ ✓ PPPoEクライアント ✓ DHCPサーバ ✓ 無線LAN子機 ✓ 設定変更 ✓ NTPクライアント
[設定] [全選択] [全解除]		

パラメーター	説明
ログ情報転送機能	ログ情報転送機能を使用するかどうかを設定します。 (出荷時設定:使用しない)
syslog サーバ	syslog サーバのアドレスをホスト名、ドメイン名つきホスト名、IP アドレスのいずれかで設定します。 (半角英数字と「.」「-」で 255 文字まで入力できます) (出荷時設定:設定なし)
転送するログ情報	表示するログ情報の種類を設定します。 (出荷時設定: ルータモード時: アドレス変換、IP フィルタ、ファイアウォール、PPPoE クライアント、DHCP クライアント、DHCP サーバ、AOSS、無線 LAN 子機、認証、設定変更、システム起動、NTP クライアント、有線リンクブリッジ / リピータモード時: IP フィルタ、DHCP クライアント、AOSS、無線 LAN 子機、認証、設定変更、システム起動、NTP クライアント、有線リンク)

保存/復元

本商品の設定を保存したり、設定ファイルから設定を復元する画面です。

⇒管理設定-保存/復元



パラメーター	説明
現在の設定の保存	[保存]をクリックすると、本商品の現在の設定をファイルに保存します。「設定情報ファイルをパスワードで暗号化する」にチェックマークをつけると、設定情報ファイルにパスワードをつけて保存します。
保存した設定の復元	[参照]で設定ファイルを指定して[復元]をクリックすると、保存された設定ファイルから、本商品の設定を復元します。設定ファイルにパスワードが設定されている場合は、「設定ファイルの復元にパスワードが必要」にチェックマークをつけて、パスワードを入力してください。

初期化/再起動

本商品を初期化したり、再起動するための画面です。

⇒ 管理設定 - 初期化 / 再起動



パラメーター	説明
再起動	クリックすると、本商品が再起動します。
設定初期化	クリックすると、本商品の設定が初期化され、再起動します。

ファーム更新

本商品のファームウェアを更新するための画面です。

⇒ 管理設定-ファーム更新

ファームウェア バージョン	W200 Ver.XXX
ファームウェア ファイル名	参照
更新実行	

※ファームウェアファイルは下のリンクから取得できます。

NTT東日本用 ダウンロードサービス

NTT西日本用 ダウンロードサービス

パラメーター	説明
ファームウェア バージョン	本商品の現在のファームウェアバージョンが表示されます。
ファームウェア ファイル名	[参照]でファームウェアファイルを指定し、[更新実行]をクリック するとファームウェアが更新されます。

ステータス

システム

本商品のシステム情報を確認する画面です。

⇒ ステータスーシステム

製品名	W200 Ver XXX (RXXXV/BXXXX)	
機器名 本体モード切り替えスイッチ状態 動作モード	APXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	
Internet	DNS1(プライマリ)	インターネット®スタートを行う - PPPoE接続 Internet@Start (デフォルトの接続先) 通信中 「停止 >>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>
LAN	IPアドレス サブネットマスク DHCPサーバ MACアドレス	192168.1.1 256.255.255.0 有効 >>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>
無線(802.11 n/g/b)	プライバシーセバレータ	制限なし >>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>
リピータ	状態	親機動作中
エコモード	状態	スケジュール機能無効

現在の状態を表示

パラメーター	説明
製品名	本商品の製品名とファームウェアのバージョンが表示されます。
機器名	機器名(P147)が表示されます。
本体モード切り替え スイッチ状態	現在の本商品背面の ROUTER スイッチの状態が表示されます。
動作モード	現在の本商品の動作モードが表示されます。

第5章 本商品の設定画面

パラメーター	説明
Internet	Internet ポートの情報が表示されます。
LAN	LAN ポートの情報が表示されます。
無線(802.11n/g/b)	無線の状態が表示されます。
リピータ	リピータの状態が表示されます。
エコモード	おまかせ節電機能の状態が表示されます。
[現在の状態を表示]	クリックすると、状態表示が更新されます。

ログ

本商品に記録されているログ情報を確認する画面です。

⇒ ステータスーログ

マアドレス変換
 マファイアウォール
 マカイアウォール
 ウHCPサライアント
 マクライアント
 マイス・マント
 マクライアント
 マクト

[表示] 全てチェックする 全てチェック外す

ログ情報

ファイル(logfile	:.log)に保存する		消去
日付時刻	種類	ログ内容	
2010/01/01 06:52:09	AUTH	wIO: AUTH: Updating group key	
2010/01/01 06:47:53	DHCPS	Request incoming from oresanma(len:8)	
2010/01/01 06:32:35	DHCPS	sending ACK to 192.168.1.2	
2010/01/01 06:32:35	DHCPS	Request incoming from oresanma(len:8)	

パラメーター 説明

表示するログ情報 表示するログ情報の種類を設定します。

(出荷時設定: ルータモード時:

アドレス変換、IP フィルタ、ファイアウォール、PPPoE クライアント、DHCP クライアント、DHCP サーバ、AOSS、無線 LAN 子機、認証、設定変更、システム起動、NTP クライアント、有線リンク

ブリッジ/リピータモード時:

IP フィルタ、DHCP クライアント、AOSS、無線 LAN 子機、 認証、設定変更、システム起動、NTP クライアント、有線リ ンク)

ログ情報 本商品記録されているログ情報が表示されます。

(出荷時設定:なし)

通信パケット

本商品が通信したパケットの合計を確認する画面です。

⇒ ステータスー通信パケット

インターフェース	送信パク	小数	受信バケット数	
1/2 /1 /	正常	エラー	正常	エラー
Internet側有線	0	0	0	0
LAN側有線	13540	0	9706	0
LAN側無線(802.11 n/g/b)	0	0	0	0

現在の状態を表示

パラメーター	説明
送信パケット数	Internet 側有線、LAN 側有線、LAN 側無線 (802.11n/g/b) に送信したパケット数とエラーパケット数が表示されます。
受信パケット数	Internet 側有線、LAN 側有線、LAN 側無線 (802.11n/g/b) から受信した パケット数とエラーパケット数が表示されます。

クライアントモニタ

本商品と通信している機器を確認する画面です。

⇒ ステータスークライアントモニタ

MACアドレス	リースIPアドレス	ホスト名	通信方式	無線認証	802.11n
XXXXXXXXXXXXX	192.168.1.2	xxxxxxxx	有線	-	-

現在の状態を表示

パラメーター	説明
クライアントモニタ	本商品と通信している機器の情報(MAC アドレス、リース IP アドレス、ホスト名、通信方式、無線認証、802.11n)が表示されます。

診断

本商品からネットワーク上の他の機器との接続確認を行う画面です。

⇒ ステータスー診断

宛先アドレス

実行

実行結果

宛先 未入力

実行結果 未実行

パラメーター	説明
宛先アドレス	接続確認を行う機器の IP アドレス、またはホスト名を入力し、[実行]をクリックすると、「実行結果」欄に結果が表示されます。 (出荷時設定:空欄)

第5章 本商品の設定画面

MEMO

本商品の各種設定

おまかせ節電機能を使って消費電力を抑える

おまかせ節電機能を使用すると、あらかじめ登録したスケジュールにしたがって、無線親機を省電力状態にして消費電力を抑えます。

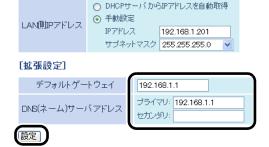
- 1 「設定画面を表示する」(P83)を参照して、本商品の設定画面を表示します。
- 2 設定画面が表示されたら、動作モード情報を確認します。 動作モード情報がブリッジモードまたはリピータモードである場合は、以下の手順3以降を行ってください。 動作モードがルータモードである場合は、以下の手順5以降を行ってください。



3 動作モードがブリッジモードの場合は、画面上部の[LAN設定]をクリックします。



4 動作モードがブリッジモードの場合は、デフォルトゲートウェイと DNS(ネーム) サーバアドレスに、本商品に接続しているルータ(ひかり電話ルータや CTU など) の IP アドレスを入力し、[設定]をクリックします。



第6章 本商品の各種設定

5 画面上部の[管理設定]をクリックします。

TOP	Internet/LAN	無線設定	セキュリティ	ゲーム&アブ	管理設定	ステータス
かんたん記	设定&基本情報					ログアウト

 $\mathbf{6}$ [NTP]をクリックします。

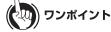
				ゲーム&アブリ	管理設定	ステータス
初期化/再	スワード 時刻 起動 ファーム	MTP]:3 7/1	2ス ログ 保存/位	夏元		ログアウト

NTP 設定を確認します。
NTP 機能に「使用する」、サーバ名に「ntp.jst.mfeed.ad.jp」と表示されていることを



設定

確認します。



- おまかせ節電機能の設定を行うには、NTP設定を有効にする必要があります。 (出荷時設定では有効になっています)
- NTP (Network Time Protocol)とは、正しい時刻に時計を修正・同期する仕組みです。任意の NTP サーバを設定することもできますが、特に問題ない限りは初期設定 (ntp.jst.mfeed.ad.jp)をご使用ください。
- **8** [エコ]をクリックします。



9 ユーザ定義モードを以下のように設定し、[設定]をクリックします。

設定例

ランプ : オフ

有線 LAN : エコ(低速動作) 無線 LAN : 通常動作



設定



ワンポイント

上記の例の設定を行った場合、省電力状態になると、Power ランプ以外のランプがすべてオフ(消灯)になり、有線 LAN の速度が 10Mbps に制限されます。

(無線 LAN は通常動作します)

 $oxed{10}$ スケジュールを以下のように設定し、[追加]をクリックします。

設定例

動作モード : ユーザ定義 開始時間 : 0:00 終了時間 : 6:00

曜日 : 月、火、水、木、金



追加



ワンポイント

- ・上記の例の設定を行った場合、月曜日〜金曜日まで毎日、0:00 に省電力状態となり、 6:00 に通常状態に戻ります。
- 動作モードに「スリープ」を設定した場合、スリープ中は、本商品のランプがオフ、有線 LAN がオフ、無線 LAN がオフの状態になります。オフにする機能を任意で設定したい 場合は、手順9のユーザ定義モードで内容を設定した後、スケジュール登録の動作モー ドで「ユーザ定義」を選択してください。
- ・本商品に登録できるスケジュールは1つだけです。登録済みのスケジュールを変更したい場合は、新しいスケジュールで上書きしてください。

第6章 本商品の各種設定

 $oxed{11}$ スケジュールの「使用する」にチェックマークを付けて、[設定]をクリックします。



以上でおまかせ節電機能の設定は完了です。

AOSS 接続で設定された内容を確認する

AOSS 接続で設定された内容(SSID や暗号化設定)は、以下の手順で確認することができます。

- 1 「設定画面を表示する」(P83)を参照して、本商品の設定画面を表示します。
- 2 設定画面が表示されたら、 をクリックします。



3 AOSS 接続で設定された内容(SSID や暗号化設定)が表示されます。

現在のセキュリティ情報 802.11 n/g/b WPA-PSK-AES (現在使用中) 暗号化レベル SSID XXXXXXXXXXXXX-1 暗号化キー WPA/WPA2-PSK-mixed (現在使用中) 暗号化レベル SSID XXXXXXXXXXXX 暗号化キー 暗号化レベル WEP128 SSID XXXXXXXXXXXX-3 (送信丰一) 暗号化キー XXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXX 暗号化レベル SSID XXXXXXXXXXXXX-4 (送信牛ー) XXXXX 暗号化キー XXXXX ランダム KEYベース リセット 設定 AOSS接続先情報

ワンポイント

- 「現在のセキュリティ情報」欄の「暗号化レベル」で「現在使用中」と書かれたものが現在有効になっている設定です。
- ・AOSS 接続によって生成された SSID や暗号化キーは、上記の画面で任意のものに変更することができます。

以上で設定内容の確認は完了です。

AOSS 接続を無効にする

AOSS 接続は、以下の手順で無効にすることができます。



お知らせ

- 無線機器から設定した場合は、すべての無線機器が、いったん本商品に接続できなくなります。その場合は、各無線機器の取扱説明書を参照して、接続し直してください。
- ・以下の設定を行うと、AOSS 接続先情報が削除され、SSID や暗号化キーも AOSS 接続を行う前の値に戻りますのでご注意ください。
- 1 「設定画面を表示する」(P83)を参照して、本商品の設定画面を表示します。
- 2 設定画面が表示されたら、 をクリックします。



 $\mathbf{3}$ **\mathbb{R}** $\mathbf{6}$ $\mathbf{7}$



AOSS動作設定

WED東田QQIIYD時号化レベコ、90911m/a/b 停止

以上で設定は完了です。

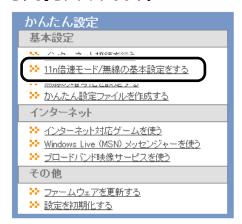
倍速モード(最大 300Mbps)で通信する

本商品に無線機器を接続して、倍速モード(通信速度:最大 300Mbps)で通信する場合は以下の手順 で設定を行ってください。



かり お知らせ

- ・倍速モードで通信するには、本商品だけではなく、本商品と通信する機器にも設定が必要な場 合があります。
- ・倍速モードで通信する際、無線チャンネルを2つ使用します。周囲に多くの無線機器があるな ど、電波が混雑している環境では、期待した効果が得られないことがあります。
- 1 「設定画面を表示する」(P83) を参照して、本商品の設定画面を表示します。
- 2 設定画面が表示されたら、「かんたん設定」より「11n 倍速モード / 無線の基本設定 をする」をクリックします。



第6章 本商品の各種設定

3 倍速モードの帯域を「40MHz」に設定し、[設定]をクリックします。



4 [設定完了]をクリックします。

以上で設定は完了です。

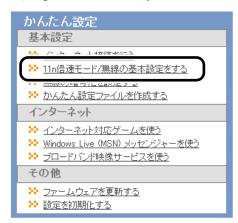
無線チャンネルを変更する

本商品は、電波混雑防止機能により、他の無線機器が使用していないチャンネルを検索して自動的に割り当てるため、通常はチャンネルを設定する必要はありません。ただし周囲に多くの無線機器がある場合、チャンネルが正しく設定されず、電波干渉が発生して転送速度が低下してしまうことがあります。その場合は、以下の手順で手動でチャンネルを設定してください。



お知らせ

- ・設定するチャンネルによっては、他の無線機器と電波干渉を起こすことがあります。
- ・隣接する無線機器に異なるチャンネルを設定するとき、隣りあったチャンネルなどの近い周波数では、互いに干渉し転送速度が低下してしまうことがあります。
- 1 「設定画面を表示する」(P83)を参照して、本商品の設定画面を表示します。
- 2 設定画面が表示されたら、「かんたん設定」より「11n 倍速モード/無線の基本設定をする」をクリックします。



第6章 本商品の各種設定

3 無線チャンネルを選択して、[設定]をクリックします。





お知らせ

チャンネルを設定する場合は、隣接する無線機器と干渉しないよう、4 チャンネル以上 間隔をあけて設定してください。

4 [設定完了]をクリックします。



ワンポイント

無線機器から設定を行っている場合は、本商品との接続が一時的に切断されます。 しばらくすると、自動的に無線親機に再接続され、通信できるようになります。

以上で設定は完了です。

他の無線機器から本商品を検索できなくする (ANY 接続拒否)

本商品に無線接続するには、SSIDと暗号化キーが必要です。ANY接続拒否設定を行うと、本商品のSSIDが隠蔽されて、他の無線機器から本商品を検索することができなくなるため、外部からの不正アクセスを受けにくくすることができます。



お知らせ

- ・AOSS と ANY 接続拒否は同時に使用できません。以下の設定を行う前に、「AOSS 接続を無効にする」(P168) を参照してあらかじめ設定を変更してください。 (以下の設定を行った後に AOSS を使って無線接続すると、ANY 接続が「許可」に設定変更されます)
- ・以下の設定を行うと、WPS を使って無線接続できなくなりますのでご注意ください。
- ・以下の設定を行って本商品の SSID を隠蔽しても、暗号化設定がされていないと外部からの不正アクセスを受けることがあります。暗号化設定がされているかどうかは、本商品前面の SECURITY ランプ (P25) にてご確認ください。
- 1 「AOSS 接続を無効にする」(P168) を参照して、本商品の AOSS 接続を無効にします。
- 2 「設定画面を表示する」(P83)を参照して、本商品の設定画面を表示します。
- **3** 画面上部の[無線設定]をクリックします。



4 [基本(11n/g/b)]をクリックします。

			ゲーム&アブリ	管理設定	ステータス
WPS AOSS 基本(IIn/g/b) MACアクセス制は、1972年117	<mark>点張(11n/g/b)</mark> 小制御 リビー	WMM(11n/g/b) -タ			ログアウト

第6章 本商品の各種設定

5 ANY 接続の「許可する」をクリックし、チェックマークを外して[設定]をクリックします。



以上で設定は完了です。

アクセス可能な無線機器を制限する(MAC アクセス制限)

本商品に接続する無線機器の MAC アドレスをあらかじめ登録しておき、その機器のみ本商品へのアクセスを許可することができます。設定は以下の手順で行います。



かり お知らせ

AOSS と MAC アクセス制限は同時に使用できません。MAC アクセス制限を設定する場合は、「AOSS 接続を無効にする」(P168) を参照して本商品の設定を変更してください。

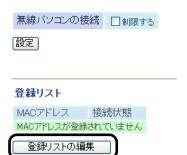
- 1 「AOSS 接続を無効にする」(P168) を参照して、本商品設定を変更します。
- 2 「設定画面を表示する」(P83)を参照して、本商品の設定画面を表示します。
- 3 画面上部の[無線設定]をクリックします。

TOP	Internet/LAI	無線設定	2キュリティ	ゲーム&アブリ	管理設定	ステータス
かんたん	设定&基本情報		,			ログアウト

4 [MAC アクセス制限]をクリックします。

	Internet/LAN			ゲーム&アブリ	管理設定	ステータス
MACアクセ	ス制限 / ルチキー	拡張(11n/g/b) pスト制御 リビ・	WMM(11n/g/b) -タ			ログアウト

5 [登録リストの編集]をクリックします。



第6章 本商品の各種設定

★線で接続できる機器と、接続できない機器を指定します。「検出された無線パソコン一覧」には、現在接続されている無線機器の MAC アドレスが表示されています。ここで、接続可能にする機器の MAC アドレスのみを[登録]をクリックして登録します。



「検出された無線パソコン一覧」に表示されていない機器を登録する場合は、「登録する MAC アドレス」欄に接続する機器の MAC アドレスを入力し、[新規追加]をクリックします。MAC アドレスを入力するときは、2桁ずつコロン(:)で区切って入力します。登録できる MAC アドレスは 64 個までです。



7 登録が終わったら、[編集を終了して前の画面へ戻る]をクリックします。



8 無線パソコンの接続で「制限する」をクリックしてチェックマークをつけ、[設定]をクリックします。

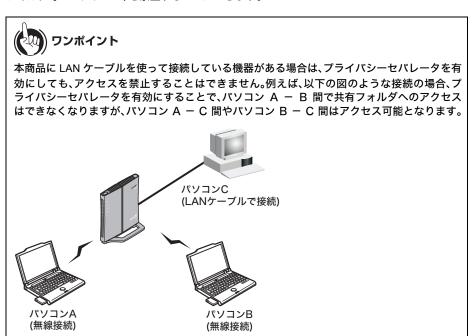


9 「無線パソコンの MAC アクセス制限を有効にします」と表示されたら、[設定]をクリックします。

以上で設定は完了です。

無線機器同士の通信を禁止する(プライバシーセパレータ)

プライバシーセパレータ機能を使用すると、本商品に接続している無線機器同士のアクセス(共有フォルダ等へのアクセス)を禁止することができます。



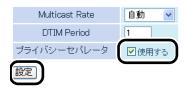
- 1 「設定画面を表示する」(P83)を参照して、本商品の設定画面を表示します。
- 2 画面上部の[無線設定]をクリックします。

TOP Internet/LAI	無線設定	2キュリティ	ゲーム&アブリ	管理設定	ステータス
かんたん設定&基本情報					ログアウト

3 [拡張(11n/g/b)]をクリックします。

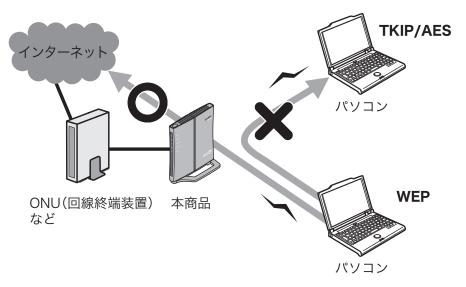
ТОР	Internet/LAN	_		ゲーム&アブリ	管理設定	ステータス
WPS AC MACアクセ	SS <mark>基本(11n/g/</mark> ス制限 マルチキ	拡張(11n/g/b)	/MM(11n/g/b)			ログアウト

4 「プライバシーセパレータ」欄の「使用する」をクリックしてチェックマークをつけ [設定]をクリックます。



WEP 接続の無線機器からのアクセスを制限する(隔離機能)

以下の設定を行うと、WEPを使用して本商品に接続している機器を隔離し、インターネット側とだけにしか通信できないようにします。これにより、悪意あるユーザによりWEPの暗号化キーが解読された場合でも、家庭内のネットワークに進入したり、本商品の設定画面にログインされるといった事態を防ぐことができます。



- 1 「設定画面を表示する」(P83)を参照して、本商品の設定画面を表示します。
- 2 画面上部の[無線設定]をクリックします。

TOP Internet/LAI	無線設定	キュリティ	ゲーム&アブリ	管理設定	ステータス
かんたん設定&基本情報					ログアウト

 $\mathbf{3}$ [AOSS] $\mathbf{6}$ $\mathbf{7}$

TOP Internet/LAN	71111-7-12-17-12		ゲーム&アブリ	管理設定	ステータス
WPS AOSS AOSS AOSS AOSS AOSS AOSS AOSS AO	拡張(11n/g/b) ・スト制御 リビト	WMM(11n/g/b) -タ			ログアウト

4 「WEP 専用 SSID 隔離」で「有効」を選択して、[設定]をクリックます。



以上で設定は完了です。



ワンポイント

AOSS を使用せず、手動でかつマルチセキュリティ(P117)を使用した場合、各暗号(AES、TKIP、WEP) ごとに、隔離機能を設定することが可能です。

ポートを開放する

ポート変換設定を行うと、インターネットゲームを楽しんだり各種サーバ公開することができます。



) ワンポイント

サーバを公開する場合、固定グローバル IP アドレスの取得およびプロバイダと別途契約が必要な場合があります。

以降の手順はお使いの環境によって異なります。

- ・ネットワークゲームや各種サーバを公開する場合など、あらかじめ利用するポート番号が分かっている場合 (P182)
- ・利用するポート番号が不明な場合 (P185)

ネットワークゲームや各種サーバを公開する場合など、 あらかじめ利用するポート番号が分かっている場合

- 1 「設定画面を表示する」(P83)を参照して、本商品の設定画面を表示します。
- 2 画面上部の[ゲーム&アプリ]をクリックします。



3 各項目を設定し、[新規追加]をクリックします。

ポート変換の新規追加



グループ:

登録するルールが属するグループを指定します。[新規追加]を選択すると、新たなグループを作成し、そのグループに追加されます。新規追加時には半角英数字で 16 文字までのグループ名を付けることが可能です。

Internet 側 IP アドレス:

公開する各種サーバの固定グローバル IP アドレスを設定します。

Internet 側 IP アドレスを PPPoE サーバから取得している場合は各 PPPoE 接続先の Internet 側 IP アドレスを設定します。

手動設定を選択したときは、手動設定欄に IP アドレスを指定する必要があります。

プロバイダから複数の固定グローバルIPアドレス指定を受けている場合には、「手動設定」で本商品の Internet 側 IP アドレスに設定してあるアドレス以外のグローバル IP アドレスを設定することが可能です。

プロトコル:

アドレス変換機能を使用するポートの種類を選択します。[TCP/UDP]を選択したときは、ポートを設定します。

LAN側IPアドレス:

インターネットからのアクセスの宛先となるプライベート IP アドレスを設定します。

LAN 側ポート:

変換プロトコルで TCP/UDP を指定し、単独のポート番号を指定したときは、LAN 側のポート番号を変更することができます。

以上の設定の組み合わせにより、最大32種類の組み合わせを設定できます。



リフポイント

WWW (HTTP)サーバを公開する場合は、以下のように設定すると、インターネットからのアクセスを任意の LAN 側の WWW サーバ IP アドレスに転送できます。

グループ:

任意の名称(例:group1)を入力します。

Internet 側 IP アドレス:

[光 LINK ルータ W200 の Internet 側 IP アドレス]を選択します。

プロトコル:

TCP/UDP を選択し、[HTTP(TCP ポート:80)]を選択します。

(任意の TCP/UDP ポートは空欄)

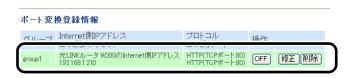
LAN 側 IP アドレス:

サーバ IP アドレス(例: 192.168.11.210)を入力します。

LAN 側ポート:

空欄にします。

 $oldsymbol{4}$ 設定内容が登録されていることを確認します。



利用するポート番号が不明な場合

- 1 「設定画面を表示する」(P83)を参照して、本商品の設定画面を表示します。
- 2 画面上部の[ゲーム&アプリ]をクリックします。



3 [DMZ]をクリックします。

			セキュリティ	ゲーム&アブリ	管理設定	ステータス
ポート変接	DMZ JPnP G	loS				ログアウト

4 DMZ のアドレスを設定し、[設定]をクリックします。



DMZ のアドレス:

インターネット側から送られてきたデータの宛先ポートが不明な場合に、そのデータが転送される LAN 上の IP アドレス (DMZ アドレス)を 1 つ設定します。ここで設定された IP アドレスの機器でのみ、ネットワークゲームなどを利用できます。



ワンポイント

- ・ポート変換の設定で[LAN 側 IP アドレス]を設定した場合は、そちらの設定が優先されます。
- DMZ を使用する場合は、機器側の IP アドレスをここで設定した値に固定する必要があります。
- ・使用するソフトや契約しているプロバイダによっては、DMZを設定してもソフトウェアが動作しない場合があります。
- ・DMZ に設定した機器は、他のパソコンに比べてセキュリティが低下するため、重要なデータなどをその機器に保存しないことをおすすめします。
- ・安全のため、ファイアウォールの設定画面(P136)で、「NBT と Microsoft-DS のルーティングを禁止する」を有効にしておくことをおすすめします。

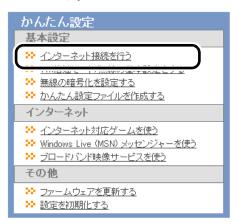
フレッツ・スクウェアの設定をする

本商品の PPPoE マルチセッション機能を使用して、1 つの回線契約でプロバイダとフレッツ・スクウェアに同時に接続するには、以下の設定を行ってください。



かり お知らせ

- PPPoE マルチセッション機能を使用するには、セッション数が2つ以上ある回線が必要です。詳しくは、当社116にお問い合わせください。
- ・本商品をブリッジ/リピータモードでお使いの場合、フレッツ・スクウェアを利用するための設定は、通常、ひかり電話ルータや CTU(加入者網終端装置)側にて行います。それらの機器の取扱説明書を参照し、必要な設定を行ってください。その場合、本商品の設定変更(下記の設定)は必要ありません。
- 1 「設定画面を表示する」(P83)を参照して、本商品の設定画面を表示します。
- 2 設定画面が表示されたら、「かんたん設定」より「インターネット接続を行う」をクリックします。



3 回線の自動判別が行われますので、画面が切り替わるまで、しばらく待ちます。



4 [PPPoE 再設定を行う]をクリックします。



5 「フレッツ・スクウェア接続」にて、NTT東日本エリア(北海道、東北、関東、甲信越地区)にお住まいの方は[NTT東日本]、NTT西日本エリア(東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区)にお住まいの方は[NTT西日本]を選択し、[進む]をクリックします。

フレッツ回線の接続設定を入力し	てください。
回線の設定	● Bフレッツ/フレッツ・ADSL ○ フレッツ 光ネクスト
接続先ユーザ名	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
接続先パスワード	
DNS(ネーム)サーバ アドレス ※プロバイダより指定がある場合のみ	ブライマリ: セカンダリ:
フレッツ・スクウェア接続 ※フレッツ回棟をお使いの場合のお	NTT東日本 V 使用しない
※もう一度、確認したい場合は「ご	55 本NTT東日本 へい MTT東日本 へい MTT東日本 いい MTT東日本 いい MTT東日本 いい MTT東日本 いい MTT MTT MTT MTT MTT MTT MTT MTT MTT

画面に「接続成功です」と表示されたら、「設定完了」をクリックします。

シターネット接続の再設定を行う 接続確認 		
>> 接続確認		
ケーブル OK	PPPoEサーバ OK	名前解決 OK
接続成功でインターネッ	きす。 ット接続設定は完了しまし	<i>t</i> c.
上の枠内に「接続成功」	です」と表示されないときは、 <u>こちら</u> で現象を	を確認してください。
戻る	設定完了	

- 7 Internet Explorer (または Safari)を起動します。
- 8 アドレス欄に「www.flets」と入力し、<Enter> キーを押します。
- 9 フレッツ・スクウェアのページが表示されます。

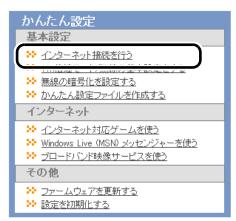
フレッツ 光ネクスト サービス情報サイトの設定をする

本商品の PPPoE マルチセッション機能を使用して、1 つの回線契約でプロバイダとフレッツ 光ネクスト サービス情報サイトに同時に接続するには、以下の設定を行ってください。



がからせ お知らせ

- PPPoE マルチセッション機能を使用するには、セッション数が2つ以上ある回線が必要です。詳しくは、当社116にお問い合わせください。
- 本商品をブリッジ/リピータモードでお使いの場合、フレッツ 光ネクスト サービス情報サイトを利用するための設定は、通常、ひかり電話ルータやホームゲートウェイ側にて行います。
 それらの機器の取扱説明書を参照し、必要な設定を行ってください。その場合、本商品の設定変更(下記の設定)は必要ありません。
- 1 「設定画面を表示する」(P83)を参照して、本商品の設定画面を表示します。
- 2 設定画面が表示されたら、「かんたん設定」より「インターネット接続を行う」をクリックします。



3 回線の自動判別が行われますので、画面が切り替わるまで、しばらく待ちます。



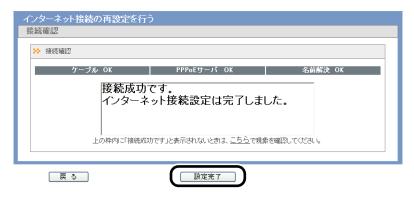
4 [PPPoE 再設定を行う]をクリックします。



5 「フレッツ 光ネクスト サービス情報サイト」にて、NTT 東日本エリア(北海道、東北、関東、甲信越地区)にお住まいの方は[NTT東日本]、NTT西日本エリア(東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区)にお住まいの方は[NTT西日本]を選択し、[進む]をクリックします。



画面に「接続成功です」と表示されたら、「設定完了」をクリックします。



- 7 Internet Explorer(または Safari)を起動します。
- 8 NTT東日本エリア(北海道、東北、関東、甲信越地区)にお住まいの方は、アドレス欄に「v4flets-east.jp」と入力し、<Enter> キーを押します。
 NTT西日本エリア(東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区)にお住まいの方は、アドレス欄に「v4flets-west.jp」と入力し、<Enter> キーを押します。
- 9 フレッツ 光ネクスト サービス情報サイトのページが表示されます。

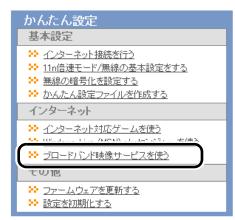
ブロードバンド映像サービスの利用設定をする

ブロードバンド映像サービスやフレッツ IPv6 サービス対応機能を利用する場合は、以下の設定を行ってください。



お知らせ

- ・ブロードバンド映像サービスについては、有線接続でご利用いただくことをお勧めします。
- ・以下の手順は、有線接続でブロードバンド映像サービスを利用する場合を想定しています。
- 1 「設定画面を表示する」(P83)を参照して、本商品の設定画面を表示します。
- 2 設定画面が表示されたら、「かんたん設定」より「ブロードバンド映像サービスを使う」をクリックします。



3 本商品をルータとして使用している場合は、フレッツ IPv6 サービス対応機能と Snooping 機能の「使用する」にチェックマークが付いていることを確認し、 Multicast Rate を「自動」に設定して、[設定]をクリックします。

本商品をブリッジとして使用している場合は、Snooping 機能の「使用する」に チェックマークが付いていることを確認し、Multicast Rate を「自動」に設定して、 [設定]をクリックします。





お知らせ

- 802.11/802.11b のみ対応の無線機器をご利用の場合は、Multicast Rate は必ず「自動」に 設定してください。
- Multicast Rate を高くすると、無線の通信速度は速くなりますが、通信距離は短くなります。ご利用になる環境に合わせて、最適なレートを設定してください。
- **4** [設定完了]をクリックします。



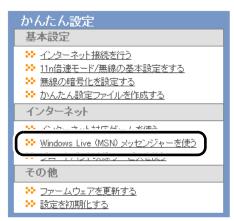
Windows Live メッセンジャーを使う

Windows Live メッセンジャーを利用する場合は、以下の設定を行ってください。



本商品をブリッジ / リピータモードでお使いの場合、Windows Live メッセンジャーを利用する ための設定は、通常、ひかり電話ルータや CTU(加入者網終端装置)側にて行います。それらの機 器の取扱説明書を参照し、必要な設定を行ってください。その場合、本商品の設定変更(下記の 設定)は必要ありません。

- 1 「設定画面を表示する」(P83) を参照して、本商品の設定画面を表示します。
- 2 設定画面が表示されたら、「かんたん設定」より「Windows Live(MSN)メッセンジャー を使う」をクリックします。



3 UPnP 設定で「使用する」にチェックマークをつけて、[設定]をクリックします。



4 [設定完了]をクリックします。

Windows Live (MSN) メッセンジャーを使う UPnP設定
⇒ 設定完了 ・ 設定を完了しました。 ・ 設定を終了する場合は「設定完了」ボタンを押してください。
(設定完了)

DHCP サーバ機能(IP アドレス自動割当機能)の設定を変更する

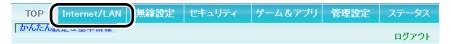
IP アドレスの割り当て台数を変更する場合は、以下の手順で行います。



お知らせ

本商品をブリッジ / リピータモードでお使いの場合、IP アドレスの DHCP サーバ設定は、通常、ひかり電話ルータや CTU(加入者網終端装置)側にて行います。それらの機器の取扱説明書を参照し、必要な設定を行ってください。その場合、本商品の設定変更(下記の設定)は必要ありません。

- 1 「設定画面を表示する」(P83)を参照して、本商品の設定画面を表示します。
- 2 画面上部の[Internet/LAN]をクリックします。



3 [LAN]をクリックします。



4 IP アドレスの割り当て台数を変更し、[設定]をクリックします。



B フレッツなどで固定 IP サービスを利用する(IP Unnumbered)

本商品は、IP Unnumbered機能に対応しています。IP Unnumbered機能を使用することで、プロバイダから配布された複数のグローバル IP アドレスを本商品に接続した機器で使用できます。ここでは例として、以下の場合の設定例を説明します。

例: プロバイダから「123.45.67.8(サブネットマスク 255.255.255.248)」(固定 IP アドレス 8 個)という IP アドレスが割り当てられた場合

WAN 側アドレス(自動設定) 123.45.67.8(ネットワークアドレス)

LAN 側アドレス(手動設定) 123.45.67.9(ゲートウェイ)

1 台目のパソコン(手動設定) 123.45.67.10(グローバル IP アドレス)

5 台目のパソコン(手動設定) 123.45.67.14(グローバル IP アドレス)

ブロードキャストアドレス 123.45.67.15(ブロードキャストアドレス)

サブネットマスク 255.255.255.248



お知らせ

プロバイダから送られてきた資料をよくお読みのうえで設定してください。

- 1 本商品の電源を OFF にし、背面の ROUTER スイッチを ON にした後、本商品の電源を ON にします。
- 2 「設定画面を表示する」(P83)を参照して、本商品の設定画面を表示します。
- 3 画面上部の[Internet/LAN]をクリックします。

TOP Internet/LAN	無線設定	セキュリティ	ゲーム&アブリ	管理設定	ステータス
かんたんしているかいかん					ログアウト

4 「IP Unnumbered を使用する」を選択し、[設定]をクリックします。



5 設定が保存されたら[PPPoE]をクリックします。



「PPPoE 接続先リスト」欄にある、[接続先の編集]をクリックします。



7 接続先を登録し、[新規追加]をクリックします。





お知らせ

プロバイダから送られてきた資料をよくお読みのうえで設定してください。

を表示が登録されたら、[編集を終了して前の画面へ戻る]をクリックします。

編集を	終了して前の画	値へ戻	3	
PPPoE接続	売先No.3の新	規追加	0	
接続先名	3称			
接続先ユー	ザ名			
接続先バス	7-F			(確認用)
サービス	名			
[拡張設定]	I			
接続方法	常時接続		~	
自動切断	切断条件 待機時間 8		もにない場合 分 (0分では自動切断しませ)	W
認証方法	自動認証		~	
MTU値	1454	バイト		
MRU値	1454	バイト		
キーブアライ	(ブ ☑ 使用する	5		
新規追加				
	'			
PPPoE接続	えんリストの ま	表示/損	作	
接続先No.		状態		
1	Internet@Start	有効	OFF 修正 削除	
2	Unnumbered	有効	OFF 修正 削除	

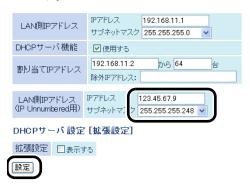
9 「IP Unnumbered 使用時の接続先」を選択して、[設定]をクリックします。



 $oldsymbol{10}$ 設定が保存されたら[LAN]をクリックします。



11 本商品の LAN 側 IP アドレス (IP Unnumbered 用) の設定をして、[設定]をクリックします。





が お知らせ

プロバイダから送られてきた資料をよくお読みのうえで設定してください。

12 [設定]をクリックします。

LAN側IPアドレスを変更します。パソコン側のネットワーク設定も再設定してください。

設定を行う場合は「設定」ボタンを押してください。

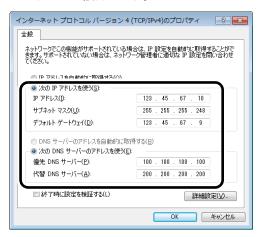
その後、設定を続ける場合は、次の手順を行ってくたさい。

- 1. WEBブラウザを全て終了してください。
- 2. お使いのバソコンと光LINKルータ W200が通信できる設定になっている事を確認してください。



設定中止

13 プロバイダから送られてきた資料を参照して、本商品に接続するパソコンの IP アドレスを設定します。





お知らせ

プロバイダから送られてきた資料をよくお読みのうえで設定してください。

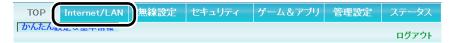
2 つ以上のプロバイダに同時に接続する

PPPoE マルチセッション機能を使用すると、2 つ以上のプロバイダに同時に接続することができます。ここでは例として、IP アドレスが「192.168.1.150」のパソコンが「プロバイダ 2」へ、それ以外のパソコンは、デフォルトの接続先に接続する設定例を説明します。



お知らせ

- ・UPnP 機能を使用するパソコンは、「デフォルトの接続先」を使用するように設定してください。本商品の UPnP 機能は、「デフォルトの接続先」にのみ有効です。
- ・DNS アドレスの設定が必要な接続先は、「デフォルトの接続先」に設定してください。本商品では、「デフォルトの接続先」のみ DNS アドレスを手動設定できます。
- PPPoE マルチセッション機能を使用するには、セッション数が2つ以上ある回線が必要です。詳しくは、当社116にお問い合わせください。
- 1 「設定画面を表示する」(P83)を参照して、本商品の設定画面を表示します。
- 2 画面上部の[Internet/LAN]をクリックします。



3 [PPPoE]をクリックします。



4 「PPPoE 接続先リスト」欄にある、[接続先の編集]をクリックします。



5 接続先を登録し、[新規追加]をクリックします。「接続先名称」は、プロバイダの名称などの分かりやすい名称を半角英数字で入力してください。「接続先ユーザ名」、「接続先パスワード」はプロバイダからの指示に従ってください。

PPPoE接続外	ŧΝο.	2の新規追加
接続先名	ī	Provider2
接続先ユーサ	名	xxxxxxxx@xxx.xxx.xxx.xxx
接続先パス「	− ⊦"	••••••• (EZR
サービス:		
[拡張設定]		
接続方法	常	時接続
自動切断		所条件 送受信ともにない場合 ▼分 の分では自動切断しません)
認証方法	自	動認証
MTU値	14	54 パイト
MRU値	14	54 パイト
キーブアライ	V	使用する
新規追加		

接続先が登録されたら、[編集を終了して前の画面へ戻る]をクリックします。

接続先名	たNo.3の業 A称			
接続先ユー	ザ名			1
接続先バス				(確認用
サービス	.76			
[拡張設定]	I			
接続方法	常時接続	ŧ	v	
自動切断	切断条件 待機時間		ともにない場合 ▽ 分 0分では自動切断しませ	·‰
認証方法	自動認証	Æ [~	
MTU値	1454	バイト		
MRU値	1454	バイト		
キーブアライ	´ブ ☑使用す	ra		
新規追加				
PPPoE接続	先リストの	表示/指	操作	
接続先No.	名称	状態	操作	
1	Internet@Start	有効	OFF 修正 削除	

7 [接続先経路の編集]をクリックします。



8 接続先経路を以下のように入力し、[新規追加]をクリックします。

接続先 :手順5で設定した接続先

宛先アドレス:(空欄)

送信元アドレス :192.168.1.150



9 登録した経路が表示されていることを確認し、[編集を終了して前の画面へ戻る]をクリックします。

編集を	編集を終了して前の画面へ戻る								
接続先経路	接続先経路の新規追加								
接続先	1 : Intern	et@Start 💌							
宛先アドレ	ス								
送信元アドレ	ノス								
新規追加	1								
	,								
接続先経路	接続先経路の表示/操作								
接続先	宛先アドレス	送信元アドレス	操作						
Provider2	ALL	192.168.1.150	修正削除						

ルータ機能を停止する

本商品のルータ機能を停止する場合は、以下の手順で行います。



かり お知らせ

以下の設定を行うと、本商品のIPアドレスが「192.168.1.201」に変更されます。また、以下の機能が無効になりますのでご注意ください。

- ・DHCP サーバ(IP アドレス自動割当)機能
- ・アドレス変換機能
- パケットフィルタ機能
- PPPoE マルチセッション機能
- IP Unnumbered 機能
- PPTP サーバ機能
- $oldsymbol{1}$ 本商品に接続されている AC アダプタのプラグを抜いて、電源を OFF にします。
- 2 本商品背面の ROUTER スイッチを「OFF」に切り替えます。



- **3** 手順 1 で抜いた AC アダプタのプラグを再度本商品に接続します。
- 4 本商品に接続している機器を再起動します。

本商品の LAN 側 IP アドレスを変更する

本商品の LAN 側 IP アドレスは、以下の手順で変更することができます。

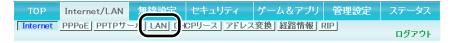


お知らせ

- Macintoshをご利用の場合、LAN側IPアドレスを忘れると、本商品の設定画面にログインできなくなりますので、メモをするなどして控えておいてください。
- ・LAN 側 IP アドレスを忘れてしまった場合は、RESET ボタン (P28)を押して、設定を初期化してください。(初期化すると、IP アドレス以外の設定も出荷時の設定に戻ります)
- 1 「設定画面を表示する」(P83)を参照して、本商品の設定画面を表示します。
- 2 画面上部の[Internet/LAN]をクリックします。



3 [LAN]をクリックします。



4 IP アドレスを変更して、[設定]をクリックします。





ワンポイント

LAN 側のネットワークセグメントを変更する場合は、LAN 側 IP アドレスと割り当て IP アドレスのセグメントが同じになるように設定してください。

5 [設定]をクリックします。

LAN側IPアドレスを変更します。パソコン側のネットワーク設定も再設定 してください。

設定を行う場合は「設定」ボタンを押してください。

その後、設定を続ける場合は、次の手順を行ってくたさい。

- WEBブラウザを全て終了してください。
 お使いのバソコンと光LINKルータ W200が通信できる設定になっている事を確認してください。



設定画面のパスワードを設定する

本商品の設定画面にパスワードを設定すると、本商品の管理者だけが設定内容を変更できるよう になります。パスワードは、以下の手順で設定することができます。



かり お知らせ

- ・パスワードを忘れると、本商品の設定画面にログインできなくなりますので、メモをするなど して控えておいてください。
- ・パスワードを忘れてしまった場合は、RESETボタン(P28)を押して、設定を初期化してくだ さい。(初期化すると、パスワード以外の設定も出荷時の設定に戻ります)
- 1 「設定画面を表示する」(P83) を参照して、本商品の設定画面を表示します。
- 2 画面上部の[管理設定]をクリックします。



3 [パスワード]をクリックします。



4 管理パスワードを入力して、[設定]をクリックします。



5 以下の画面が表示されたら、ユーザー名に「root」(小文字)、パスワードに手順4で設定したパスワードを入力して[OK]をクリックします。



本商品のファームウェアバージョンを確認する

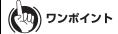
本商品のファームウェアのバージョンは、以下の手順で確認することができます。

- 1 「設定画面を表示する」(P83)を参照して、本商品の設定画面を表示します。
- 2 画面上部の[ステータス]をクリックします。

ТОР	Internet/LAN	無線設定	セキュリティ	ゲーム&アブリ	管理設定	ステータス
かんたん	设定&基本情報				,	ログアウト

3 ファームウェアのバージョンを確認します。





「製品名」欄の「Ver.x.xx」の部分がファームウェアのバージョンです。

以上でバージョンの確認は完了です。

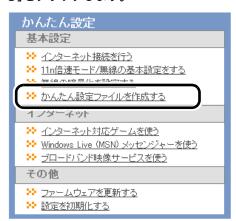
かんたん設定ファイルを作成する

本商品をルータモードおよびブリッジモードでお使いの場合、本商品のSSIDや暗号化の設定を「か んたん設定ファイル」として書き出すことができます。書き出したファイルを、リピータに設定し た本商品で使用することで、かんたんに接続設定をすることができます。



本商品の暗号化設定にWPA2-PSK(TKIP)やWPA2-PSK(AES)を使用している場合は、かんたん 設定ファイルを作成することができません。

- 1 「設定画面を表示する」(P83)を参照して、本商品の設定画面を表示します。
- 2 設定画面が表示されたら、「かんたん設定」より「かんたん設定ファイルを作成す る」をクリックします。



3 設定ファイルに拡張情報を含める場合は、「含める」を選択して、IPアドレスの設定方法(IPアドレスを固定する場合は、固定 IPアドレスの値)、装置名を設定して [保存]をクリックします。

拡張情報を含めない場合は、そのまま[保存]をクリックします。





お知らせ

- 拡張情報には、このファイルを使って設定するリピータの IP アドレスと装置名を含めることができます。
- 拡張情報に「含める」を選択した場合、作成したファイルは光 LINK ルータ W200 以外の 機器では使用できません。
- 4 [保存]をクリックし、ファイルの保存先を指定して設定ファイルを保存します。





付属ソフトの使いかた

ソフトウェア概要

本商品に付属のソフトウェア(光 LINK ルータ W200 専用 CD-ROM)は、本商品の設定画面を表示したり、無線機能を内蔵したパソコンを本商品に接続したりするソフトウェアです。ここでは付属ソフトウェアの概要を説明します。

無線親機設定ユーティリティ

無線親機設定ユーティリティは、本商品の設定画面を簡単に表示するためのソフトウェアです。 本商品とパソコンを接続して、無線親機設定ユーティリティを実行すると、本商品の設定画面を表示することができます。

無線子機設定ユーティリティ(FT-STC/U-B 設定ユーティリティ)

無線子機設定ユーティリティは、パソコンを本商品に簡単に無線接続するためのソフトウェアです。無線子機設定ユーティリティをパソコンにインストールすると、本商品の AOSS ボタンと無線子機設定ユーティリティ上のAOSSボタンを押すだけで、本商品とパソコンを無線接続することができます。

※無線子機設定ユーティリティは、すべての無線内蔵パソコンについて動作保証するものではありません。

インストール方法

付属ソフトウェアのインストールは、以下の手順で行います。



かり お知らせ

- ・インストールは、管理者権限のあるユーザで行ってください。それ以外のユーザで行うと、正 常にインストールできない場合があります。
- ・起動中のソフトがある場合は、ソフトを終了してからインストールを行ってください。また、 ウイルス対策ソフトなどのセキュリティソフトがインストールされている場合は、必ずセ キュリティソフトを終了してからインストールを行ってください。
- ・他社製無線接続ソフトがインストールされている場合は、事前に削除してください。
- 1 パソコンを起動します。
- 2 本商品に付属の CD-ROM をパソコンにセットします。しばらくすると、メニュー 画面が表示されます



ワンポイント

- ・Windows 7/Vista をお使いの場合、「自動再生」画面が表示されることがあります。その場 合は、「AirNavi.exe の実行」をクリックしてください。また、インストール中に「ユーザー アカウント制御」画面が表示されたら、[はい]または[続行]をクリックしてください。
- ・メイン画面が表示されないときは、(マイ)コンピュータで CD-ROM ドライブのアイコ ンをダブルクリックし、[AirNavi.exe]をダブルクリックしてください。
- 3 「かんたんスタート」をクリックします。



4 「ソフトウェア使用許諾契約書」画面が表示されたら、内容を確認し、同意する場合は[同意]をクリックします。





ワンポイント

インストールを行うには、ソフトウェア使用許諾契約に同意する必要があります。

5 インストールしたいソフトウェアにチェックマークを付けて、[インストール開始]をクリックします。





以上で付属ソフトウェアのインストールは完了です。

無線親機設定ユーティリティの使いかた

起動と終了のしかた

■起動方法

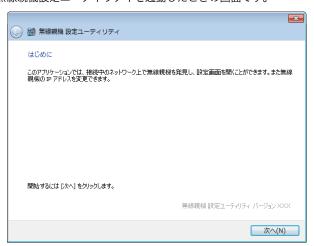
[スタート]ー[(すべての)プログラム]ー[NTT]ー[無線親機設定ユーティリティ]の順にクリックすると、無線親機設定ユーティリティが起動します。

■終了方法

画面右上の[×]をクリックすると無線親機設定ユーティリティが終了します。

トップ画面

無線親機設定ユーティリティを起動したときの画面です。



パラメーター	説明
[次へ]	クリックすると、ネットワーク上の本商品が検索され、無線親機の選 択画面 (P220) が表示されます。

無線親機の選択画面

設定対象の本商品を選択する画面です。ネットワーク上に本商品が複数設置されている場合、この画面で設定対象を選択します。



パラメーター	説明
機器名	本商品に設定されている機器名が表示されます。
ネットワーク名	本商品の SSID が表示されます。
MAC アドレス	本商品の MAC アドレスが表示されます。
IP アドレス	本商品の IP アドレスが表示されます。
[再検索]	クリックすると、ネットワーク上の本商品が再度検索されます。
[次へ]	クリックすると、操作の選択画面 (P221) が表示されます。
[キャンセル]	設定を中断する場合にクリックします。



200 ワンポイント

本商品の出荷時の SSID は、本体側面の出荷時設定ラベル (P28) で確認できます。また、その値が本商品の MAC アドレスとなります。

操作の選択画面

無線親機の選択画面 (P220) で選択した本商品に対して行う操作を選択する画面です。 設定画面の表示、および本商品の IP アドレスの変更を行うことができます。



パラメーター 説明

[設定画面を開く]

設定を行っているパソコンと本商品の IP アドレスのセグメントが同じ場合は、クリックすると、本商品の設定画面が WEB にて表示されるとともに、完了画面 (P222) が表示されます。

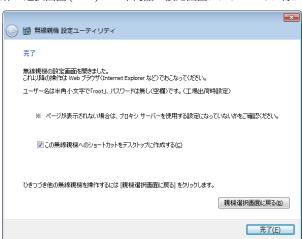
設定を行っているパソコンと本商品の IP アドレスのセグメントが 異なる場合は、クリックすると、IP アドレス設定画面 (P223) が表示 されます。

[この無線親機の IP アドレスを設定する]

クリックすると、無線親機の IP アドレス設定画面 (P225) が表示されます。

完了画面

操作の選択画面 (P221) から本商品の設定画面にアクセスした際に表示される画面です。



パラメーター	説明
「この無線親機へのショートカットをデ	チェックマークを付けると、本商品の設定画面へのショートカット をデスクトップ上に作成します。
スクトップに作成す る」	※ ショートカット作成後に本商品の IP アドレスを変更すると、そのショートカットからは設定画面にアクセスできなくなります。
[親機選択画面に戻 る]	クリックすると、無線親機の選択画面 (P220) が表示されます。
[完了]	クリックすると、画面を閉じます。

IP アドレス設定画面

パソコンと本商品の IP アドレスのセグメントが異なっている場合に、操作の選択画面 (P221) で[設定画面を開く]をクリックした際に表示される画面です。

パソコン側の IP アドレスを変更するか、本商品の IP アドレスを変更するかを選択します。



パラメーター	説明
[このパソコンの IP アドレスを設定する]	パソコン側の IP アドレスを変更する場合にクリックします。 クリックすると、パソコンの IP アドレス設定画面 (P224) が表示され ます。
[無線親機の IP アドレスを設定する]	本商品の IP アドレスを変更する場合にクリックします。 クリックすると、無線親機の IP アドレス設定画面 (P225) が表示され ます。

パソコンの IP アドレス設定画面

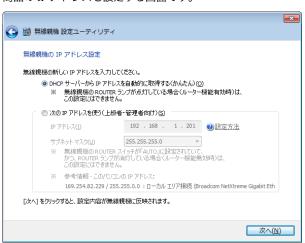
IP アドレス設定画面 (P223) にて、[このパソコンの IP アドレスを設定する]をクリックした際に表示される画面です。



パラメーター	説明
[推奨設定(DHCP サーバーから IP アド レスを自動取得す る)]	クリックすると、DHCP サーバーから自動取得した IP アドレスをパ ソコンに設定します。
[ネットワーク接続画 面を開く]	クリックすると、Windows のネットワーク接続画面が表示されます。
[設定完了]	クリックすると、画面を閉じます。

無線親機の IP アドレス設定画面

本商品の IP アドレスを設定する画面です。



パラメーター	説明
「DHCP サーバーから IP アドレスを自動的 に取得する」	本商品の IP アドレスを DHCP サーバから自動的に取得する場合に 選択します。
「次の IP アドレスを 使う」	本商品の IP アドレスを手動で設定する場合に選択します。
[次へ]	クリックすると、この画面で設定した内容を本商品に適用します。

無線子機設定ユーティリティの使いかた(Windows 7/Vista)

起動と終了のしかた

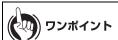
■起動方法

[スタート]ー[(すべての)プログラム]ー[NTT]ー[FT-STC/U-B 設定ユーティリティ]の順にクリックすると、無線子機設定ユーティリティが起動します。

■終了方法

タスクトレイの無線子機設定ユーティリティのアイコンを右クリックして、 [終了]をクリックすると、無線子機設定ユーティリティが終了します。





Windows 7 をお使いの方で、タスクトレイに無線子機設定ユーティリティアイコンが見当たらない場合は、タスクトレイの アイコンをクリックすると表示されます。



アイコンは、接続状態によって以下のように変化します。



:本商品経由で通信中



:本商品に未接続(接続先なし)、またはパソコンの無線機能が OFF の状態

メイン画面

メイン画面には、現在の接続状態が表示されます。



パラメーター	説明
接続先	現在の接続先が表示されます。 接続先が複数ある場合は、接続先を切り替えることもできます。
接続速度	現在の接続速度が表示されます。
電波状態	現在の通信で使用している電波状態が表示されます。 非常に良い 良い 悪い 非常に悪い ** 切断、またはパソコンの無線機能が OFF
接続先の作成	クリックすると、接続先の作成画面 (P228) が表示されます。
詳細設定を表示	クリックすると、詳細設定画面(ステータス)(P233)が表示されます。

接続先の作成画面

パラメーター

本商品に接続する設定を行う画面です。

本商品に自動的に接続する方法(自動セキュリティー設定)と無線親機を検索して接続する方法(手動設定)の2つの方法があります。



	22.2
使用する無線子機	現在使用している無線子機が表示されます。
自動セキュリティー 設定(WPS/AOSS)	本商品に対して、AOSS または WPS(プッシュボタン式)を使った自動セキュリティー設定を行います。 画面にしたがって操作をすれば、無線の接続設定およびセキュリティー設定を簡単に行うことができます。
手動設定	本商品を検索し、SSID や暗号化キー、PIN コードを手動で入力して接続を行います。本商品に接続するには、あらかじめ、本商品の SSID と暗号化キーを知っておく必要があります。 このボタンをクリックすると、手動設定方法の選択画面 (P230) が表示されます。
オプション (上級者向け)	自動セキュリティー設定の際、AOSS と WPS(プッシュボタン式)の どちらを使用するかを指定する場合にクリックします。 クリックすると、接続先の作成画面(オプション)(P229) 画面が表示 されます。

説明

接続先の作成画面(オプション)

自動セキュリティー設定時に AOSS と WPS(プッシュボタン式)のどちらを使用するかを選択する画面です。



パラメーター	説明
自動セキュリティー 設定 WPS プッシュ ボタン式	本商品に対して、WPS(プッシュボタン式)を使った自動セキュリ ティー設定を行う場合にクリックします。
自動セキュリティー 設定 AOSS	本商品に対して、AOSS を使った自動セキュリティー設定を行う場合にクリックします。

手動設定方法の選択画面

手動設定の方法を選択する画面です。

セキュリティー情報を手動で入力して接続する方法と PIN コードを入力する方法があります。



パラメーター	説明
セキュリティー情報 を手動で入力して接 続	本商品の SSID や暗号化キーを手動で入力して接続します。 クリックすると、無線親機の検索画面 (P231) が表示されます。
WPS PIN コード式で 接続	WPS(PIN コード式)で本商品に接続します。 クリックすると、PIN コード式での接続方法についての説明が表示 されます。

無線親機の検索画面

近くにある本商品を検索して情報を表示し、接続を行う画面です。



パラメーター	説明
ネットワーク名 (SSID)	本商品の SSID が表示されます。
セキュリティー	本商品にセキュリティー設定が行われているかどうかが表示されます。 日本の場合は表示されません)
チャンネル	本商品の無線チャンネルが表示されます。
強度	本商品の電波強度が表示されます。 非常に強い 強い 強い ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
ネットワーク名 (SSID)を手動で入力 します	SSID を手動で入力して接続する場合は、ここをクリックします。
[再検索]	クリックすると、再度本商品を検索します。
[次へ]	クリックすると、追加するワイヤレスネットワークの情報画面 (P232) が表示されます。

追加するワイヤレスネットワークの情報画面

本商品に接続するときの画面です。

本商品に設定されているセキュリティーの種類(暗号化方式)を選択し、暗号化キーを入力して[接続]をクリックすると、本商品に接続することができます。



パラメーター	説明
ネットワークの種類	通信の方式が表示されます。
ネットワーク名 (SSID)	接続先の SSID を入力します。
セキュリティーの種 類	本商品に設定されている暗号化方式を選択します。
暗号化の種類	本商品に設定されている暗号化の種類を選択します。
セキュリティーキー またはパスフレーズ	本商品に設定されている暗号化キーを入力します。
ネットワークがブ ロードキャストをお こなっていない場合 でも接続する (ANY 接続拒否の無 線親機に接続する)	本商品の ANY 接続設定が「許可しない」設定になっている場合、このチェックを有効にすることで本商品と接続できます。
[接続]	クリックすると接続を開始します。

詳細設定画面(ステータス)

「ステータス」を選択すると、現在の接続状態の詳細が表示されます。 この画面では以下の内容を確認することができます。



パラメーター 説明

無線子機 現在使用している無線子機が表示されます。

無線 LAN 診断を起動 クリックすると、無線 LAN 診断画面 (P235) が表示されます。

接続先現在の接続プロファイル名が表示されます。

ステータス 現在の通信状態が表示されます。

ネットワークモード 現在のネットワークモードが表示されます。

通信速度 現在の通信速度が表示されます。

SSID 現在の接続先の SSID が表示されます。

チャンネル 現在の無線チャンネルが表示されます。

セキュリティー 現在、セキュリティーが有効になっているかどうかが表示されます。

セキュリティーの種

類

現在使用しているセキュリティーの種類が表示されます。

暗号化の種類 現在使用している暗号化の種類が表示されます。

電波状態 現在の通信で使用している電波の状態が表示されます。

IP アドレス 現在使用している無線子機に割り当てられた IP アドレスが表示さ

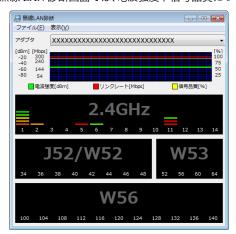
れます。

第7章 付属ソフトの使いかた

パラメーター	説明
サブネットマスク	現在使用している無線子機に割り当てられたサブネットマスクが表 示されます。
デフォルトゲート ウェイ	接続先のデフォルトゲートウェイのアドレスが表示されます。
プライマリ DNS	接続先のプライマリ DNS のアドレスが表示されます。
セカンダリ DNS	接続先のセカンダリ DNS のアドレスが表示されます。
MAC アドレス	現在使用している無線子機の MAC アドレスが表示されます。

無線 LAN 診断画面

無線 LAN 診断画面では、電波強度や信号品質について確認することができます。



パラメーター	説明
アダプタ	現在使用している無線子機が表示されます。
接続状態	電波強度(dBm)、リンクレート(Mbps)、信号品質 (%) を、1 分間につい て時系列表示します。
チャンネル別 使用状況	11b/11g は、2.4GHz 帯と表示された 1ch から 14ch までのチャンネルで使用状況を表示します。 11a は、J52/W52 と W53、W56 のチャンネルに使用状況を表示します。 色で無線親機の電波の強さを表します。赤色に近づくほど電波の強い無線親機を表し、青色に近づくほど電波の弱い無線親機を表します。

詳細設定画面(接続先一覧)

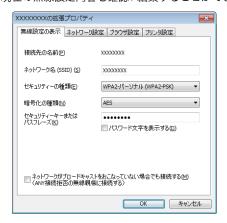
「接続先一覧」を選択すると、現在設定されている接続先一覧が表示されます。 この画面では以下の操作をすることができます。



パラメーター	説明
無線子機	現在使用している無線子機が表示されます。
接続先の作成	接続先を新規追加します。 クリックすると、接続先の作成画面 (P228) が表示されます。
編集	選択した接続先情報を編集します。 クリックすると、接続先情報の編集画面(無線設定の表示)(P237)が 表示されます。
削除	選択した接続先を削除します。
下	選択した接続先の優先順位を下げます。
上	選択した接続先の優先順位を上げます。

接続先情報の編集画面(無線設定の表示)

現在の無線設定内容を確認 / 編集することができます。



パラメーター	説明
接続先の名前	現在の接続先名が表示されます。
ネットワーク名 (SSID)	現在の接続先の SSID が表示されます。
セキュリティーの種 類	現在の接続で使用しているセキュリティーの種類が表示されます。
暗号化の種類	現在の接続で使用している暗号化の種類が表示されます。
セキュリティーまた はパスフレーズ	現在の接続で使用している暗号化キーが表示されます。(内容は「●」 でマスクされます。「パスワード文字を表示する」にチェックマーク をつけると内容が表示されます。)
ネットワークがブ ロードキャストをお こなっていない場合 でも接続する (ANY 接続拒否の無 線親機に接続する)	接続先の ANY 接続設定が「許可しない」設定になっている場合、このチェックを有効にすることで接続できます。

接続先情報の編集画面(ネットワーク設定)

本商品へ接続したときに無線子機に割り当てる IP アドレスやサブネットマスクなどを設定する画面です。

この画面では以下の情報を登録することができます。



パラメーター 説明

接続時に構成を変更しない

現在の TCP/IP ネットワーク設定をそのまま使用する場合に選択します。

次の構成を使用する

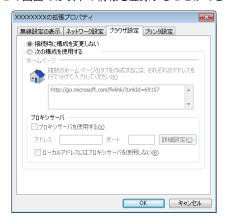
本商品への接続時に、TCP/IP ネットワーク設定を変更する場合に選択します。

IP アドレスを自動的に取得する場合は「IP アドレスを自動的に取得する」を選択します。手動で IP アドレスを設定する場合は、「次の IP アドレスを使う」を選択して IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定してください。

DNS サーバのアドレスを自動的に取得する場合は、「DNS サーバのアドレスを自動的に取得する」を選択します。手動で DNS サーバのアドレスを設定する場合は、「次の DNS サーバのアドレスを使う」を選択して DNS サーバのアドレスを設定してください。

接続先情報の編集画面(ブラウザ設定)

本商品へ接続したときに使用するブラウザの設定を行う画面です。この画面では以下の情報を登録することができます。



パラメーター 説明

接続時に構成を変更しない

現在のブラウザ(Internet Explorer)設定をそのまま使用する場合に選択します。

次の構成を使用する

本商品への接続時に、ブラウザ設定を変更する場合に選択します。「ホームページ」には、ホームページのアドレスを入力してください。プロキシサーバを使用する場合は、「プロキシサーバを使用する」にチェックマークを付け、アドレスとポートを入力してください。ローカルアドレスに接続する場合にプロキシサーバを使用しない場合は、「ローカルアドレスにはプロキシサーバを使用しない」にチェックマークを付けてください。

接続先情報の編集画面(プリンタ設定)

本商品へ接続したときに使用するプリンタの設定を行う画面です。この画面では以下の情報を登録することができます。



パラメーター	説明
接続時に構成を変更 しない	現在のプリンタ設定をそのまま使用する場合に選択します。
次の構成を使用する	本商品への接続時に、プリンタ設定を変更する場合に選択します。 この接続で使用するプリンタを選択します。

無線子機設定ユーティリティの使いかた(Windows XP)

起動と終了のしかた

■起動方法

「スタート]-「(すべての)プログラム]- [NTT]- [FT-STC/U-B 設定ユーティリティ]の順にク リックすると、無線子機設定ユーティリティが起動します。

■終了方法

タスクトレイの無線子機設定ユーティリティのアイコン(下記参照)を右クリックして、「終了] をクリックすると、無線子機設定ユーティリティが終了します。



アイコンは、接続状態によって以下のように変化します。

:本商品経由で通信中(TKIP/AES で暗号化済み)

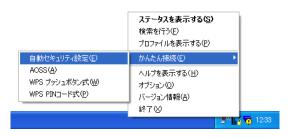
:本商品経由で通信中(WEP で暗号化済み、または暗号未設定)

:本商品に未接続(接続先なし)

パソコンの無線機能が OFF の状態

タスクトレイアイコンメニュー

タスクトレイにある無線子機設定ユーティリティのアイコンを右クリックすると、以下のような設定メニューが表示されます。



パラメーター	説明
ステータスを表示す る	無線子機設定ユーティリティのステータス画面 (P243) が表示されます。
検索を行う	無線子機設定ユーティリティの検索画面 (P245) が表示されます。
プロファイルを表示 する	無線子機設定ユーティリティのプロファイル画面 (P247) が表示されます。
かんたん接続	自動セキュリティ設定を選択すると、本商品に対して、AOSS や WPS (プッシュボタン式)を使って簡単に接続することができます。通常は、こちらを選択してください。 接続先の仕様に合わせて、AOSS、WPS プッシュボタン式、WPS PIN コード式を指定することもできます。
ヘルプを表示する	無線子機設定ユーティリティのヘルプを表示します。
オプション	オプションメニュー(P252) が表示されます。
バージョン情報	無線子機設定ユーティリティのバージョン情報が表示されます。
終了	無線子機設定ユーティリティを終了します。

説明

ステータス画面

パラメーター

ステータス画面には、現在の接続状態が表示されます。 この画面では以下の項目を確認することができます。



7,77	B/6-7J
プロファイル名	現在の接続プロファイル名が表示されます。
SSID	現在の接続先の SSID が表示されます。
ネットワークアダプ タ名	現在使用している無線子機の名称が表示されます。
ネットワークタイプ	現在の接続タイプが表示されます。
通信速度	現在の通信速度が表示されます。
チャンネル	現在の無線チャンネルが表示されます。
セキュリティ	現在使用しているセキュリティの種類が表示されます。
IP アドレス	現在使用している無線子機に割り当てられた IP アドレスが表示されます。
MAC アドレス	現在使用している無線子機の MAC アドレスが表示されます。
経過時間	現在の接続先に接続してから経過した時間が表示されます。
電波受信強度	現在の通信で使用している電波の強度が表示されます。

第7章 付属ソフトの使いかた

パラメーター	説明
[再接続]	現在の接続先に再接続します。

検索画面

近くにある本商品を検索して情報を表示し、接続を行う画面です。 この画面では以下の操作をすることができます。



パラメーター	説明
SSID	本商品の SSID が表示されます。
無線モード	本商品の無線方式が表示されます。
СН	本商品の無線チャンネルが表示されます。
強度	本商品の電波強度が表示されます。
	■ 非常に強い ■ 強い
	■ 弱い ■ 非常に弱い
暗号	本商品に暗号化の設定がされているかが表示されます。
	🔒 強固な暗号(TKIP/AES)が設定済み
	帰 暗号(WEP)が設定済み
	一 暗号が未設定
[接続]	接続対象を選択してこのボタンをクリックすると、接続画面 (P246) が表示されます。
[再検索]	クリックすると、再度近くにある本商品を検索します。

接続画面

無線親機に接続するときの画面です。

無線親機に設定されている暗号化方式を選択し、暗号化キーを入力して[接続]をクリックすると、無線親機に接続することができます。



パラメーター	説明
暗号化方式	接続先の無線親機の暗号化方式を選択します。
暗号キー	接続する無線親機の暗号化キーを入力します。 通常は「1」を選択し、1 の行に暗号化キーを入力してください。
プロファイルに登録 する	チェックマークをつけると、ここで設定した内容がプロファイル画 面 (P247) に登録されます。

プロファイル画面

作成したプロファイル情報を元に、本商品へ接続したり、プロファイル情報の編集を行う画面です。この画面では以下の操作をすることができます。



パラメーター	説明
[接続]	プロファイルを選択してこのボタンをクリックすると、選択した接 続先へ接続を行います。
[追加]	プロファイルを新規追加する場合にクリックします。クリックする と、プロファイル情報の設定画面(基本設定)(P248) が表示されます。
[編集]	プロファイル情報を編集したり削除する場合にクリックします。ボ タンをクリックし、[編集]をクリックすると、プロファイル情報の設 定画面(基本設定)(P248) が表示されます。
[WPS AOSS]	ボタンをクリックすると、AOSS または WPS(プッシュボタン式)に よる自動セキュリティ設定が行われます。設定完了後、対象の接続先 へ接続するプロファイルが作成されます。

プロファイル情報の設定画面(基本設定)

接続先の SSID や暗号化方式、暗号化キーなどを登録する画面です。 この画面では以下の情報を登録することができます。

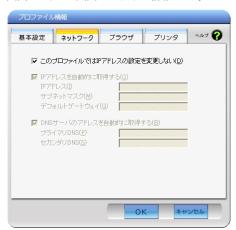


パラメーター	説明
表示アイコン選択	プロファイルに表示するアイコンを登録します。 アイコンは、リストより選択することができます。
プロファイル名	プロファイル名を設定します。 本商品に接続している場合、SSID(ネットワーク名)が自動的に入力 されます。
ネットワークタイプ	通信の方式を選択します。 新規作成以外は、現在のモードが選択されています。
SSID	接続先の SSID を入力します。 新規作成以外は、現在の接続先の SSID が表示されています。
チャンネル	無線チャンネルを設定します。 インフラストラクチャモード時は、チャンネルは自動的に設定され ます。
暗号化方式	接続先に対応した暗号化方式を選択します。 新規作成以外は、現在の暗号化方式が選択されています。
送信キー	暗号化方式が WEP の場合、4つの暗号を設定できます。 通常は 1 を選択してください。
暗号キー	暗号化キーを入力します。 新規以外は、現在の暗号値が入力されています。 (シークレット表示されているため、暗号化キーは確認できません)

パラメーター	説明
AP は ANY 拒否設定	接続先の ANY 接続設定が「許可しない」設定になっている場合、この
である	チェックを有効にすることで接続できます。

プロファイル情報の設定画面(ネットワーク)

本商品へ接続したときにパソコンに割り当てる IP アドレスやサブネットマスクなどを設定する画面です。この画面では以下の情報を登録することができます。



パラメーター	説明
このプロファイルで は IP アドレスの設定 を変更しない	チェックマークをつけると、現在の TCP/IP ネットワーク設定をそのまま使用します。設定を変更する場合は、チェックマークを外してください。
IP アドレスを自動的 に取得する	チェックマークをつけると、 IP アドレスを自動的に取得します。手動 σ IP アドレスを設定する場合は、チェックマークを外してくださ N 。
DNS サーバのアドレ スを自動的に取得す る	チェックマークをつけると、DNS サーバアドレスを自動的に取得します。手動で DNS サーバアドレスを設定する場合は、チェックマークを外してください。

プロファイル情報の設定画面(ブラウザ)

本商品へ接続したときに使用するブラウザの設定を行う画面です。この画面では以下の情報を登録することができます。



パラメーター	説明
このプロファイルで はブラウザ設定を変 更しない	チェックマークをつけると、現在のブラウザ(Internet Explorer)設定 をそのまま使用します。 設定を変更する場合は、チェックマークを外してください。
ホームページとして 使用するアドレス	ホームページのアドレスを入力します。
プロキシサーバを利 用する	プロキシサーバを使用する場合は、チェックマークをつけ、アドレス とポートを入力してください。
ローカルアドレスに はプロキシサーバを 使用しない	チェックマークをつけると、ローカルアドレスに接続する場合に、プロキシサーバを使用しなくなります。常にプロキシサーバを経由して接続する場合は、チェックマークを外してください。

プロファイル情報の設定画面(プリンタ)

本商品へ接続したときに使用するプリンタの設定を行う画面です。この画面では以下の情報を登録することができます。



パラメーター 説明

このプロファイルで はプリンタ設定を変 更しない チェックマークをつけると、現在使用しているプリンタをそのまま 使用します。

設定を変更する場合は、チェックマークを外して、使用するプリンタ を選択してください。

オプションメニュー

タスクトレイにある無線子機設定ユーティリティのアイコンを右クリックし、[オプション] を選択すると、以下のようなメニュー画面が表示されます。



パラメーター	説明
[ロック]	クリックすると、プロファイルの新規追加、削除、編集ができなくなります。ロックしたり、ロックを解除するには、パスワードの入力(半角英字8文字~63文字)が必要です。
[プロファイルのエク スポート]	現在のプロファイル情報を保存します。プロファイル情報を保存するには、パスワードの入力(半角英字8文字~63文字)が必要です。
[プロファイルのイン ポート]	保存しているプロファイル情報を取り込みます。プロファイル情報 を取り込むには、エクスポート時に設定したパスワードの入力(半角 英字 8 文字〜 63 文字)が必要です。
[プロファイルの初期 化]	プロファイル情報を初期化します。初期化は、ロックを解除してから 行ってください。(ロック中は初期化できません)
使用するネットワー クアダプタ	無線子機設定ユーティリティで使用するネットワークアダプタを選択します。通常は、無線子機自動選択に設定してください。

ソフトウェアの削除

「無線親機設定ユーティリティ」や「無線子機設定ユーティリティ」が不要になった場合は、以下の手順で削除することができます。



お知らせ

ソフトウェアの削除は、管理者権限のあるユーザで行ってください。それ以外のユーザで行う と、正常に削除できない場合があります。

- 1 パソコンを起動します。
- 2 本商品に付属の CD-ROM をパソコンにセットします。しばらくすると、メニュー 画面が表示されます



ワンポイント

- ・Windows 7/Vista をお使いの場合、「自動再生」画面が表示されることがあります。その場合は、「AirNavi.exe の実行」をクリックしてください。また、インストール中に「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい]または[続行]をクリックしてください。
- ・メイン画面が表示されないときは、(マイ)コンピュータで CD-ROM ドライブのアイコンをダブルクリックし、[AirNavi.exe]をダブルクリックしてください。
- **3** 「削除」をクリックします。



第7章 付属ソフトの使いかた

4 「ソフトの削除」をクリックします。



5 「ソフトの削除画面を開く」をクリックします。



6 一覧から削除したいソフトウェアを選択し、[アンインストール]をクリックします。





上記はWindows 7の画面です。お使いのWndowsによっては、画面が異なることがありま す。

以降は画面の指示に従ってソフトウェアを削除します。

以上でソフトウェアの削除は完了です。

第7章 付属ソフトの使いかた

MEMO



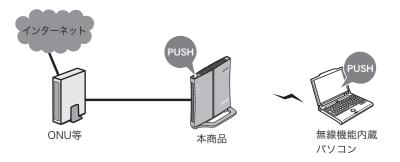
パソコンを無線接続する

本商品との接続例

無線機能内蔵パソコンと本商品との無線接続は、以下の3通りの方法があります。

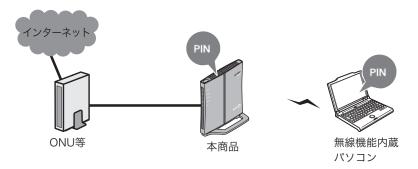
※ すべての無線内蔵パソコンについて動作保証するものではありません。

AOSS/WPS(プッシュボタン式)を使って接続する場合



本商品のAOSSボタンと無線子機設定ユーティリティの自動セキュリティ設定ボタンを押して接続します。AOSSおよびWPS(プッシュボタン式)のどちらで接続されるかは、お使いの環境にあわせて自動的に決定されます。(指定して接続することもできます)

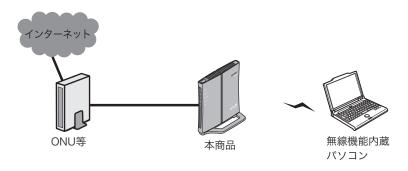
WPS(PINコード式)を使って接続する場合



無線子機設定ユーティリティで発行したPINコードを、本商品の設定画面上で登録する ことで接続設定が完了します。

第8章 パソコンを無線接続する

本商品を検索して接続する場合



無線機能を内蔵したパソコンから本商品を検索し、本商品に設定されている暗号化キーを使って接続します。

接続のながれ

AOSS/WPS(プッシュボタン式)を使って接続する場合

AOSS を使って接続する場合は、以下のながれに沿って設定を行ってください。

無線子機設定ユーティリティの自動セキュリティ設定ボタンを押す (P263、269)



本商品のAOSSボタンを押す(P264、270)



設定完了

WPS(PIN コード式)を使って接続する場合

WPS(PIN コード式)を使って接続する場合は、以下のながれに沿って設定を行ってください。

無線子機設定ユーティリティでPINコードを発行する(P276、281)



上記で発行したPINコードを本商品に登録する(P277、282)



設定完了

本商品を検索して接続する場合

本商品を検索して接続する場合は、以下のながれに沿って設定を行ってください。

本商品に設定されているSSIDと暗号化の設定を確認する



無線子機設定ユーティリティを使って本商品を検索する(P287、292)



本商品に設定されている暗号化キーを入力して、接続する(P288、293)



設定完了

本商品との接続

AOSS/WPS (プッシュボタン式)を使って接続する場合 (Windows 7/Vista)

Windows 7/Vista パソコンで AOSS/WPS(プッシュボタン式)を使って本商品に接続する場合は、以下の手順に従ってください。



リフンポイント

- ・AOSS/WPS(プッシュボタン式)は、パソコンと本商品とを1対1で設定するため、設定中に別の機器をAOSS/WPS(プッシュボタン式)接続することはできません。本商品1台に対して複数の機器を接続するときは、AOSS/WPS(プッシュボタン式)接続が完了してから別の機器を接続してください。
- ・本商品をリピータとして使用しており、無線親機一本商品間の接続が AOSS 接続でない場合、無線子機は本商品に対して AOSS で接続できません。その場合、「AOSS を使って接続する場合」(P64) を参照して、無線親機一本商品間を AOSS で接続するか、AOSS を使用せずに無線子機を本商品に接続してください。
- 1 [スタート]ー[(すべての)プログラム]ー[NTT]ー[FT-STC/U-B 設定ユーティリティ]を選択します。
- 2 以下の画面が表示されたら、「接続先の作成」をクリックします。



3 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい]または[続行]をクリックします。



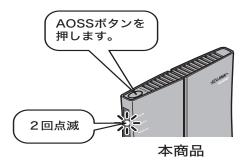
4 画面に表示されている自動セキュリティー設定ボタン をクリックします。



5 以下の画面が表示されたら、本商品の SECURITY ランプが 2 回点滅するまで AOSS ボタンを押し続けます。ランプが点滅したら、ボタンから手を放します。



※ 画面上の製品イメージは、例として記載しています。本商品と AOSS ボタンの位置が異なりますので、あらかじめ位置をご確認ください。



6 自動的に本商品が検出され、接続されます。



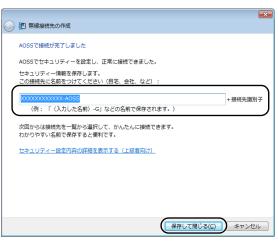
- ※ 画面上の製品イメージは、例として記載しています。
- 7 接続が完了するまで待ちます。

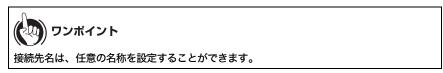


※ 画面上の製品イメージは、例として記載しています。

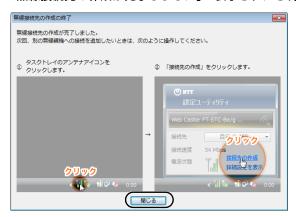
第8章 パソコンを無線接続する

8 「AOSS で接続が完了しました」または「WPS プッシュボタン式で接続が完了しました」と表示されたら、接続先の名前を確認し、[保存して閉じる]をクリックします。





9 「無線接続先の作成が完了しました」と表示されたら、「閉じる」をクリックします。



10 「ネットワークの場所の設定」という画面が表示された場合は、ご利用の環境にあった場所をクリックしてください。(ここでは例として、「ホームネットワーク」をクリックします)



- 11 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]または[続行]をクリックします。
- 12 以下の画面が表示されたら、[閉じる]をクリックします。



以上で本商品との接続は完了です。



(つ(1)) ワンポイント

本商品との接続に失敗した場合、本商品のSECURITY ランプが連続点滅して、以下のような画面が表示されます。この場合、「無線接続先の作成を最初からやり直します」をクリックして、手順4 (P263)以降の操作を行ってください。



※ 画面は一例です。

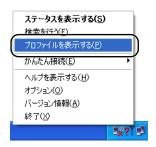
AOSS/WPS (プッシュボタン式)を使って接続する場合 (Windows XP)

Windows XP パソコンで AOSS/WPS (プッシュボタン式) を使って本商品に接続する場合は、以下の手順に従ってください。



) ワンポイント

- ・AOSS/WPS(プッシュボタン式)は、パソコンと本商品とを1対1で設定するため、設定中に別の機器をAOSS/WPS(プッシュボタン式)接続することはできません。本商品1台に対して複数の機器を接続するときは、AOSS/WPS(プッシュボタン式)接続が完了してから別の機器を接続してください。
- ・無線親機-本商品間の接続が AOSS 接続でない場合、無線子機は本商品に対して AOSS で接続できません。その場合、「AOSS を使って接続する場合」(P64) を参照して、無線親機-本商品間を AOSS で接続するか、AOSS を使用せずに無線子機を本商品に接続してください。



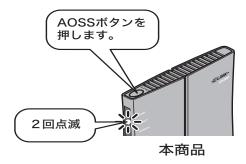
2 (*)** をクリックします。



3 以下の画面が表示されたら、本商品の SECURITY ランプが 2 回点滅するまで AOSS ボタンを押し続けます。ランプが点滅したら、ボタンから手を放します。



※ 画面上の製品イメージは、例として記載しています。本商品と AOSS ボタンの位置が異なりますので、あらかじめ位置をご確認ください。



4 自動的に本商品が検出され、接続されます。

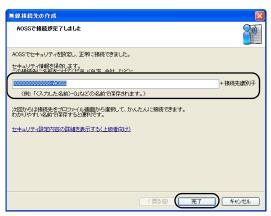


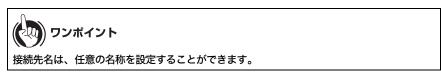
- ※ 画面上の製品イメージは、例として記載しています。
- 5 接続が完了するまで待ちます。



※ 画面上の製品イメージは、例として記載しています。

6 「AOSS で接続が完了しました」または「WPS プッシュボタン式で接続が完了しました」と表示されたら、接続先の名前を確認し、[完了]をクリックします。





7 「セキュリティの設定は成功しました」と表示されたら、[×]をクリックして画面を閉じます。



以上で本商品との接続は完了です。



本商品との接続に失敗した場合、本商品のSECURITYランプが連続点滅して、以下のような画面が表示されます。この場合、「もう一度やり直します」をクリックして、手順3(P270)以降の操作を行ってください。



※ 画面は一例です。

WPS (PIN コード式)を使って接続する場合 (Windows 7/ Vista)

Windows 7/Vista パソコンで WPS (PIN コード式)を使って接続する場合は、以下の手順に従ってください。

- 1 [スタート]ー[(すべての)プログラム]ー[NTT]ー[FT-STC/U-B 設定ユーティリティ]を選択します。
- 2 以下の画面が表示されたら、「接続先の作成」をクリックします。



3 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい] または [続行] をクリックします。



4 画面に表示されている手動設定ボタン 🎾 をクリックします。



5 画面に表示されているWPS PINコード式ボタン 8 をクリックします。

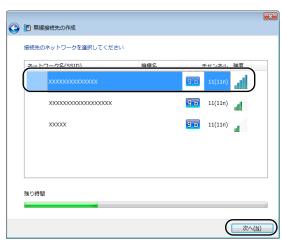


第8章 パソコンを無線接続する

画面に PIN コードが表示されますので、PIN コードを控えて[次へ]をクリックします。



7 接続先の本商品の SSID を選択し、[次へ]をクリックします。





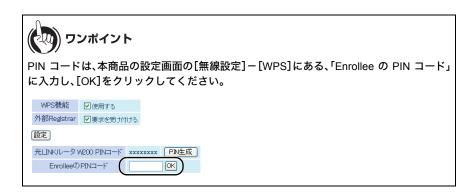
ワンポイント

本商品のSSIDが表示されない場合は、[×]をクリックして画面を閉じた後、再度手順1からやり直してください。(その際、手順6で控えたPINコードは無効になります)それでも本商品のSSIDが表示されない場合は、以下を実施してください。

- ・パソコンを本商品に近づける。
- 本商品に ANY 接続拒否設定(P173)を行っている場合は、解除する。
- 本商品の WPS 機能(P112)が有効になっており、外部 Registrar の要求を受け付ける設定(P112)になっているか確認する。
- **8** 以下の画面が表示されたら、手順6で控えた PIN コードを他のパソコンから本商品に入力します。



※ 画面上の製品イメージは、例として記載しています。

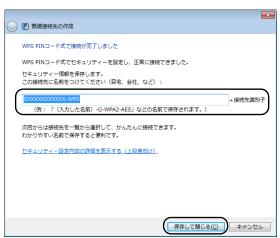


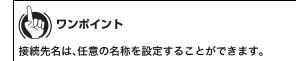
9 接続が完了するまで待ちます。



※ 画面上の製品イメージは、例として記載しています。

10 「WPS PIN コード式で接続が完了しました」と表示されたら、接続先の名前を確認し、[保存して閉じる]をクリックします。





 $m{11}$ 「無線接続先の作成が完了しました」と表示されたら、[閉じる]をクリックします。



12 「ネットワークの場所の設定」という画面が表示された場合は、ご利用の環境にあった場所をクリックしてください。(ここでは例として、「ホームネットワーク」をクリックします)



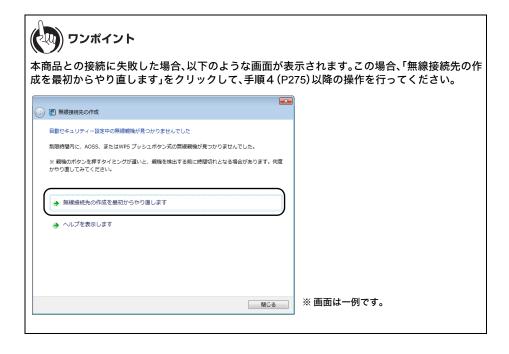
13 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]または[続行]をクリックします。

第8章 パソコンを無線接続する

 $oxed{14}$ 以下の画面が表示されたら、[閉じる]をクリックします。

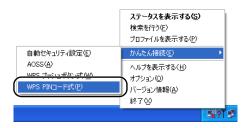


以上で本商品との接続は完了です。



WPS(PIN コード式)を使って接続する場合 (Windows XP)

Windows XP パソコンで WPS (PIN コード式) を使って接続する場合は、以下の手順に従ってください。



2 画面に PIN コードが表示されますので、PIN コードを控えて[次へ]をクリックします。



3 接続先の本商品の SSID を選択し、[次へ]をクリックします。





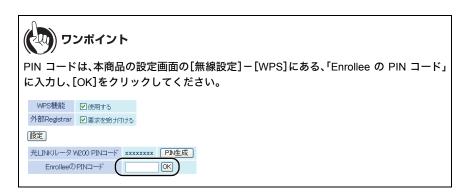
之(4) ワンポイント

本商品のSSIDが表示されない場合は、[×]をクリックして画面を閉じた後、再度手順1からやり直してください。(その際、手順2で控えたPINコードは無効になります)それでも本商品のSSIDが表示されない場合は、以下を実施してください。

- ・パソコンを本商品に近づける。
- 本商品に ANY 接続拒否設定(P173)を行っている場合は、解除する。
- 本商品の WPS 機能(P112)が有効になっており、外部 Registrar の要求を受け付ける設定(P112)になっているか確認する。
- 4 以下の画面が表示されたら、手順2で控えた PIN コードを他のパソコンから本商品に入力します。



※ 画面上の製品イメージは、例として記載しています。

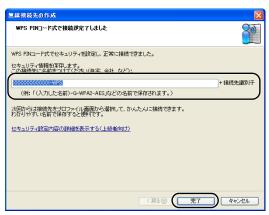


5 接続が完了するまで待ちます。



※ 画面上の製品イメージは、例として記載しています。

6 「WPS PIN コード式で接続が完了しました」と表示されたら、接続先の名前を確認し、[完了]をクリックします。





接続先名は、任意の名称を設定することができます。

7 「セキュリティの設定は成功しました」と表示されたら、[×]をクリックして画面を閉じます。



以上で本商品との接続は完了です。



本商品との接続に失敗した場合、以下のような画面が表示されます。この場合、「もう一度やり直 します」をクリックして、手順2(P281)以降の操作を行ってください。



※ 画面は一例です。

本商品を検索して接続する場合(Windows 7/Vista)

Windows 7/Vista パソコンで本商品を検索して接続する場合は、以下の手順に従ってください。

- 1 [スタート]ー[(すべての)プログラム]ー[NTT]ー[FT-STC/U-B 設定ユーティリティ]を選択します。
- 2 以下の画面が表示されたら、「接続先の作成」をクリックします。



3 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい] または [続行] をクリックします。



4 画面に表示されている手動設定ボタン をクリックします。



5 画面に表示されている手動設定ボタン きクリックします。



6 接続先の本商品の SSID を選択し、[次へ]をクリックします。





お知らせ

本商品のSSIDが表示されない場合は、[再検索]をクリックしてください。それでも本商品の SSID が表示されない場合は、パソコンを本商品に近づけてください。また、本商品にANY接続拒否設定(P173)を行っている場合は、解除してください。

7 本商品に設定されているセキュリティーの種類、暗号化の種類、暗号化キーを入力し、[接続]をクリックします。

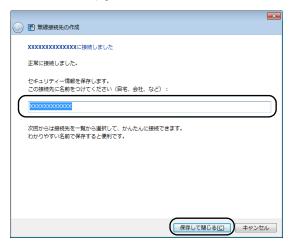


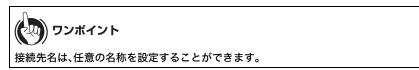
8 接続が完了するまで待ちます。



※ 画面上の製品イメージは、例として記載しています。

9 「正常に接続しました」と表示されたら、接続先の名前を確認し、「保存して閉じる」をクリックします。





 $oldsymbol{10}$ 「無線接続先の作成が完了しました」と表示されたら、[閉じる]をクリックします。



11 「ネットワークの場所の設定」という画面が表示された場合は、ご利用の環境にあった場所をクリックしてください。(ここでは例として、「ホームネットワーク」をクリックします)



12 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]または[続行]をクリックします。

13 以下の画面が表示されたら、[閉じる]をクリックします。

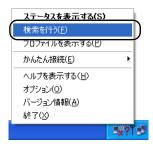


以上で本商品との接続は完了です。

本商品を検索して接続する場合(Windows XP)

Windows XP パソコンで本商品を検索して接続する場合は、以下の手順に従ってください。

1 タスクトレイの ? ▼ アイコンを右クリックし、「検索を行う」をクリックします。



2 接続先の本商品の SSID を選択し、[接続]をクリックします。





お知らせ

本商品のSSIDが表示されない場合は、[再検索]をクリックしてください。それでも本商品の SSID が表示されない場合は、パソコンを本商品に近づけてください。また、本商品に ANY 接続拒否設定(P173)を行っている場合は、解除してください。

3 本商品に設定されている暗号化方式を選択し、暗号化キーを入力して、[接続]をクリックします。



4 画面に「認証完了」または「接続」と表示されたら、接続は完了です。



以上で本商品との接続は完了です。

本商品を検索して接続する場合(Macintosh)

Macintoshで本商品を検索して接続する場合は、以下の手順に従ってください。

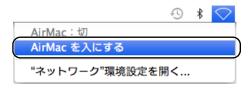


ワンポイント

以下の手順で接続できない場合は、SSID や暗号化キーが出荷時設定から変更されている可能性があります。その場合は、本商品の設定画面にて、現在設定されている SSID と暗号化設定を確認してください。

- 1 本商品の出荷時設定ラベル(P28)にて、本商品の SSID(12 桁の値)と暗号化キー (13 桁の値)を確認します。
- Macintosh 画面上部の アイコンをクリックし、「AirMac を入にする」を選択します。

実行すると、周囲の無線ネットワークが自動的に検出されます。



3 手順1で確認した SSID と同じ値をクリックします。





ワンポイント

SSID が表示されない場合は、再度検索を行ってください。それでも本商品の SSID が表示されない場合は、パソコンを本商品に近づけてください。また、本商品に ANY 接続拒否設定 (P173) を行っている場合は、解除してください。

4 手順1で確認した暗号化キーを入力し、「このネットワークを記憶」にチェックマークを付けて、[OK]をクリックします。



5 SSID の横にチェックマークが付いたら、無線接続は完了です。



以上で本商品との接続は完了です。

第8章 パソコンを無線接続する

MEMO

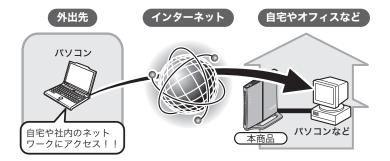


PPTP サーバ機能

PPTP サーバ機能とは

PPTP サーバ機能を使用すると、外出先から自宅や社内のネットワークにアクセスできるようになります。

例えば、外出先から社内のファイルサーバに保存しているデータを取り出したり、自宅のパソコン を遠隔操作したりすることができます。





お知らせ

- PPTP サーバ機能を使用する際、プロバイダの固定 IP サービス(オプションサービス)をご利用いただくことを強く推奨します。通常のご契約の場合、プロバイダから割り当てられる IP アドレスは常に一定ではありません。そのため、外出先からアクセスするタイミングによっては、IP アドレスが変更されて接続できないことがあります。
- ・以下の環境では PPTP サーバ機能を使用できません。 プロバイダから割り当てられる IP アドレスがプライベート IP アドレスの場合 本商品がブリッジモードやリピータモードで動作している場合
 - ルータ機能を内蔵した ONU(回線終端装置)や CTU(加入者網終端装置)に本商品を接続して使用する場合(※)
 - ※ ONU(回線終端装置)や CTU(加入者網終端装置)のルータ機能を無効にするなど、 設定を変更すると、PPTP サーバ機能が使用できる場合があります。

外出先から接続するための準備をする

外出先から接続するための準備をします。

これ以降は、お客様がすでにプロバイダの固定 IP サービス(オプションサービス)をご利用いただいていることを前提に説明します。

- 1 「設定画面を表示する」(P83)を参照して、本商品の設定画面を表示します。
- 2 画面上部の[ステータス]をクリックします。

TOP	Internet/LAN	無線設定	セキュリティ	ゲーム&アブリ	管理設定	ステータス
かんたん記	设定&基本情報					ログアウト

3 本商品の Internet 側の IP アドレスの値を確認して控えます。



4 画面上部の[Internet/LAN]をクリックします。



5 [PPTP ψ - χ] ϵ 0 | γ

ТОР	Intern	0+/LAN	無線設定	セキュリティ	ゲーム&アブリ	管理設定	ステータス
Internet	PPPol	PPTPサー/	AN DE	ICPリース アドレス	ス変換 経路情報 [RIP	ログアウト

6 PPTP サーバ機能を「使用する」に設定し、[設定]をクリックします。

LAN側IPアドレスが「192.168.1.1」に設定されている為、 NTT製ルーターに接続されたパソコンからアクセスする際、 LAN内のパソコンにアクセスできない可能性があります。 LAN側IPアドレス、及び、割り当てIPアドレスの変更をお勧めします

自動入力	お勧めの値を入力する
LAN側IPアドレス	IPアドレス 192.168.1.1 サブネットマスク 255.255.255.0 ▼
DHCPサーバ機能	✔使用する
割り当てIPアドレス	192.168.1.2 から 64 台
PPTPサーバ機能	✔使用する
認証方式	INIS-OHAFYZBGB (40/128bits暗号鍵) ▼

[拡張設定]

サーバIPアドレス	● 自動設定○ 手動設定
クライアントIPアドレス	● 自動設定○ 手動設定から5台
DNSサーバのIPアドレス	● 光LINKルータ W200のLAN側IPアドレス● 手動設定● 通知しない
WINSサーバのIPアドレス	
MTU/MRU/值	1396

設定



ワンポイント

- ・LAN 側 IP アドレスが 192.168.1.x に設定されていて、外出先の IP アドレスも 192.168.1.x に設定されていると、IP セグメントが重複して自宅や社内のパソコンできないことがあります。このような場合は、「自動入力」で[お勧めの値を入力する]をクリックして本製品の LAN 側 IP アドレスを変更してください。
- ・認証方式や各種設定(サーバ IP アドレス、クライアント IP アドレス、DNS サーバの IP アドレス、WINS サーバの IP アドレス、MTU/MRU 値など) は、特に問題がない限り出荷時設定にてご利用ください。
- $m{7}$ [PPTP 接続ユーザの編集]をクリックします。

PPTP接続ユーザの表示

接続ユーザ名 接続状態 IPアドレス 操作 RIP送信機能 PPTP接続ユーザは登録されていません PPTP接続ユーザの編集

8 ユーザ名とパスワードを入力して、[新規追加]をクリックします。





) ワンポイント

- ・設定したユーザ名、パスワードは外出先から接続する際に使用します。
- IP アドレス割り当て方法や RIP 送信機能は、特に問題がない限り出荷時設定にてご利用ください。
- 9 [編集を終了して前の画面へ戻る]をクリックします。

編集を	終了して前の画面へ戻る	
PPTP接続	ユーザの新規追加	
ユーザ名		

以上で設定は完了です。

外出先で使用するパソコンの設定をする

Windows 7/Vista をお使いの場合

Windows 7/Vista をお使いの場合は、以下の手順で設定します。

- 1 [スタート]ー[コントロールパネル]をクリックします。
- 2 [ネットワークの状態とタスクの表示]をクリックします。



3 [(新しい)接続またはネットワークのセットアップ]をクリックします。



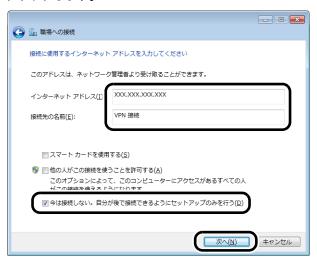
4 「職場に接続します」を選択して、[次へ]をクリックします。



5 「インターネット接続(VPN)を使用します」をクリックします。



「外出先から接続するための準備をする」の手順3 (P298)で確認した Internet 側 IP アドレスと接続先の名前(任意の名称)を入力し、「今は接続しない。自分が後で接続できるようにセットアップのみを行う」にチェックマークをつけて、「次へ」をクリックします。



7 「外出先から接続するための準備をする」の手順8 (P300)で設定したユーザー名とパスワードを入力し、「作成」をクリックします。



§ 「接続の使用準備ができました」と表示されたら、[閉じる]をクリックします。



以上で設定は完了です。

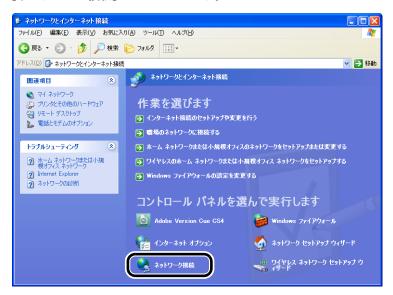
Windows XP をお使いの場合

Windows XP をお使いの場合は、以下の手順で設定します。

- 1 [X9-1]-[X9-1]
- 2 [ネットワークとインターネット接続]をクリックします。



3 [ネットワーク接続]をクリックします。



4 [新しい接続を作成する]をクリックします。



5 [次へ]をクリックします。



「職場のネットワークへ接続する」を選択して、「次へ」をクリックします。



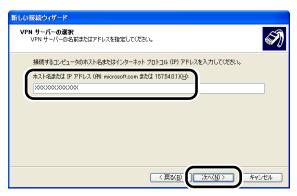
7 「仮想プライベートネットワーク接続」を選択して、[次へ]をクリックします。



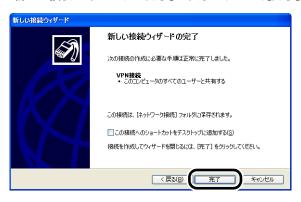
8 「会社名」に任意の名称を入力して、[次へ]をクリックします。



9 「外出先から接続するための準備をする」の手順3 (P298)で確認した Internet 側IP アドレスを入力し、[次へ]をクリックします。



 $oxed{10}$ 「新しい接続ウィザードの完了」と表示されたら、[完了]をクリックします。



以上で設定は完了です。

Mac OS X をお使いの場合

Mac OS X をお使いの場合は、以下の手順で設定します。 ここでは、Mac OS X 10.6 の場合を例に説明します。

1 [アップルメニュー] - [システム環境設定]をクリックします。



 $\mathbf{2}$ (x,y)



3 「+」をクリックします。



4 インターフェイスで「VPN」、VPN タイプで「PPTP」を選択、サービス名に任意の名称を入力して、[作成]をクリックします。



5 サーバアドレスに「外出先から接続するための準備をする」の手順3 (P298)で確認した Internet 側 IP アドレスを、アカウント名に「外出先から接続するための準備をする」の手順8 (P300)で設定したユーザ名を入力し、[認証設定]をクリックします。



パスワードを選択し、「外出先から接続するための準備をする」の手順8(P300)で 設定したパスワードを入力して、[OK]をクリックします。



7 [適用]をクリックします。



以上で設定は完了です。

自宅 / 社内のパソコンを外出先から遠隔操作できるようにする



かり お知らせ

自宅/社内のパソコンを外出先から遠隔操作できるようにするには、パソコン側が同機能に対応している必要があります。ここでは例としてWindows 7/Vista/XPの場合の手順を説明しますが、Windows のエディション (Home Premium、Ultimate などの種別) の違いによっては、パソコン側が遠隔操作に対応していないため、下記の通りに設定できない場合があります。あらかじめご了承ください。

Windows 7/Vista をお使いの場合

Windows 7/Vista をお使いの場合は、以下の手順で設定します。

- 1 [xy-h] xy-h] xy-h
- 2 「コンピューター」を右クリックして、「プロパティ」を選択します。
- $\mathbf{3}$ [リモートの設定]をクリックします。

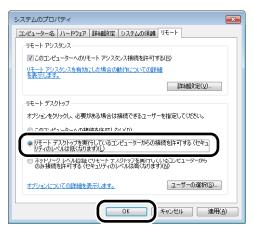




ワンポイント

「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい]または[続行]をクリックします。

4 「リモートデスクトップを実行しているコンピュータからの接続を許可する」を選択し、[OK]をクリックします。



以上で設定は完了です。

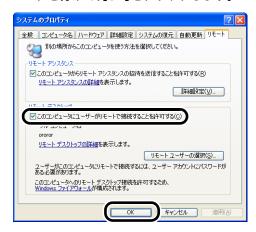
Windows XP をお使いの場合

Windows XP をお使いの場合は、以下の手順で設定します。

- ${f 1}$ [スタート]をクリックします。
- 2 「マイコンピュータ」を右クリックして、「プロパティ」を選択します。
- 3 [y=-h] $\epsilon \neq 0$ $y \neq 0$ $t \neq 0$



4 「このコンピュータにユーザーがリモートで接続することを許可する」にチェックマークを付けて、[OK]をクリックします。



以上で設定は完了です。

外出先から接続する

Windows 7 をお使いの場合

Windows 7 をお使いの場合は、以下の手順で接続します。

- 1 [xy-h]-[xy-h]-[xy-h]をクリックします。
- 2 [ネットワークの状態とタスクの表示]をクリックします。



3 [ネットワークに接続]をクリックします。



4 「外出先で使用するパソコンの設定をする」の手順 6 (P303) で作成した接続先を クリックし、[接続]をクリックします。



5 「外出先から接続するための準備をする」の手順8 (P300)で登録したユーザー名とパスワードを入力し、[接続]をクリックします。



以上で接続は完了です。

Windows Vista をお使いの場合

Windows Vista をお使いの場合は、以下の手順で接続します。

- [スタート]ー[コントロールパネル]をクリックします。
- $\mathbf{2}$ [ネットワークの状態とタスクの表示]をクリックします。



3 [ネットワークに接続]をクリックします。



4 「外出先で使用するパソコンの設定をする」の手順 6 (P303) で作成した接続先を クリックし、[接続]をクリックします。



5 「外出先から接続するための準備をする」の手順8 (P300)で登録したユーザー名とパスワードを入力し、[接続]をクリックします。



以上で接続は完了です。

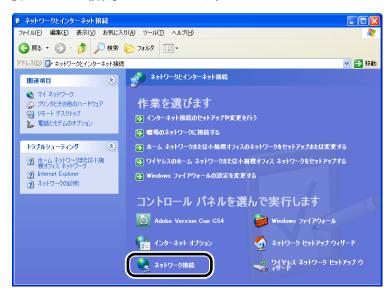
Windows XP をお使いの場合

Windows XP をお使いの場合は、以下の手順で接続します。

- 1 [X9-1]-[X9-1]
- 2 [ネットワークとインターネット接続]をクリックします。



3 [ネットワーク接続]をクリックします。



4 「外出先で使用するパソコンの設定をする」の手順8 (P307)で作成した接続先を ダブルクリックします。



5 「外出先から接続するための準備をする」の手順8(P300)で登録したユーザー名とパスワードを入力し、[接続]をクリックします。



以上で接続は完了です。

Mac OS X をお使いの場合

Mac OS X をお使いの場合は、以下の手順で接続します。 ここでは、Mac OS X 10.6 の場合を例に説明します。

1 [アップルメニュー]ー[システム環境設定]をクリックします。



2 (x,y)



3 「外出先で使用するパソコンの設定をする」の手順4(P310)で作成した接続先し、 [接続]をクリックします。



以上で接続は完了です。

外出先から自宅 / 社内のパソコンを遠隔操作する

外出先から自宅 / 社内のパソコンを遠隔操作する場合は、以下の手順で行ってください。



お知らせ

- ・以下の手順は、Windows 7/Vista および「Windows XP 用リモートデスクトップ接続(Terminal Server クライアント 6.0)」を適用した場合の例です。
- ・以下の場合は、遠隔操作できないことがあります。あらかじめご了承ください。
 - ・Windows のエディション(Home Premium、Ultimate などの種別)の違いにより、パソコンが遠隔操作に対応していない場合。
 - ・Windows ログイン時のパスワードが設定されていない場合。
 - ・セキュリティソフトなどがインストールされており、ファイアウォール機能が有効に なっている場合など。
- 1 「外出先から接続する」(P316)の手順で、外出先から自宅/社内のネットワークに接続します。
- 2 [スタート]ー[(すべての)プログラム]ー[アクセサリ]ー[リモートデスクトップ 接続]をクリックします。
- $oldsymbol{3}$ 操作したいパソコンの IP アドレスを入力して、[接続]をクリックします。



4 操作したいパソコンに登録されているユーザ名、パスワードを入力して、[OK]をクリックします。 接続が完了すると、接続先パソコンのデスクトップが表示されます。

以上で接続は完了です。



困ったときは

無線接続で困ったとき

現象	対処方法
無線機器が本商品と AOSS 接続できない	 ・本商品の電源を入れ直してください。 ・本商品と無線機器に LAN ケーブルが接続されているときは、LAN ケーブルを外して無線接続を行ってください。無線接続の方法は、各機器の取扱説明書を参照してください。 ・無線機器と本商品を近づけてから、AOSS 接続を行ってください。 ・無線機器にセキュリティソフトがインストールされている場合は、一時的にファイアウォール機能を停止するか、アンインストールしてください。セキュリティソフトの設定については、各ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。 ・「無線チャンネルを変更する」(PI7I)を参照して、本商品の無線チャンネルを変更してください。 ・当社製無線子機をお使いの場合は、一度無線子機のドライバを削除し、再度ドライバをインストールしてください。
本商品へ無線接続でき ない(AOSS 接続を行 わない場合)	 本商品の電源を入れ直してください。 本商品と無線機器に LAN ケーブルが接続されているときは、LAN ケーブルを外して無線接続を行ってください。無線接続の方法は、各機器の取扱説明書を参照してください。 無線機器と本商品を近づけてから、無線接続を行ってください。 本商品と無線機器で、以下の設定値を同じ設定にしてください。 *SSID ・暗号化の種類 ・暗号化キー ・無線機器にセキュリティソフトがインストールされている場合は、一時的にファイアウォール機能を停止するか、アンインストールしてください。セキュリティソフトの設定については、各ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。 ・「無線チャンネルを変更する」(P171)を参照して、本商品の無線チャンネルを変更してください。 ・「無線手をお使いの場合は、一度無線子機のドライバを削除し、再度ドライバをインストールしてください。

現象	対処方法
AOSS 設定後に「IP ア ドレスの競合が検出さ れました」と表示され る	AOSS 設定後に「IP アドレスの競合が検出されました」と表示される場合は、パソコンを再起動してください。

本商品の設定画面が表示できなくて困ったとき

現象	対処方法
本商品の設定画面に口 グインできない	・設定画面にログインするためのユーザ名やパスワードが正しいか確認してください。出荷時設定でお使いの場合、ユーザ名は「root」、パスワードは未設定です。パスワードを忘れてしまった場合は、RESETボタン(P28)を3秒以上押して、設定を初期化してください。(初期化すると、パスワード以外の設定も出荷時設定に戻ります) ・Macintoshをお使いの場合は、のアドレス欄に本商品のIPアドレスを正しく入力してください。 ・Internet Explorer(または Safari)がプロキシを使用しない設定になっているか確認してください。 ・設定を行う機器と本商品を正しく接続してください。無線で接続する場合は、お使いの機器の取扱説明書を参照して正しく無線接続されているか確認してください。LANケーブルで接続する場合は、LANケーブルが正しく接続されているか確認してください。・設定を行う機器のIPアドレスが正しく設定されているかを確認してください。

その他の設定で困ったとき

現象	対処方法	
POWER ランプが点灯 しない	AC アダプタが正しく接続されているか確認してください。また、AC アダプタがコンセントに確実に接続されているか確認してください。	
LAN ランプや INTERNET ランプが 点灯 / 点滅しない	 本商品と接続機器に LAN ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 おまかせ節電設定 (P163) がされていると、ランプが点灯/点滅しない場合があります。 	

現象	対処方法
WIRELESS ランプが 点灯 / 点滅しない	 本商品の無線機能が無効になっている場合は、WIRELESS ランプは点灯/点滅しません。本商品の設定画面にて、無線機能を有効にしてください。 おまかせ節電設定 (P163) がされていると、ランプが点灯/点滅しない場合があります。
SECURITY ランプが 連続点滅する	AOSS 接続に失敗すると、SECURITY ランプが連続点滅します。 その場合は、再度 AOSS ボタンを約 1 秒間押し続けると、AOSS 設定を行うことができます。
DIAG ランプが点滅す る	DIAG ランプは、点滅回数によって本商品の状態を示します。詳細は、本書 P26 を参照してください。 なお、DIAG ランプは、本商品の電源投入時やファームウェアの更新時にもしばらく点灯 / 点滅します。電源投入後、5分以上たっても点滅が続く場合は、いったん AC アダプタを抜いて、しばらくしてから再度差し込んでください。再び DIAG ランプが点滅する場合は、故障受付(本書裏表紙参照)にご連絡ください。
本商品に設定したパス ワードを忘れてしまっ た	RESET ボタン(P28)を3秒以上押して、設定を初期化してください。 (初期化すると、パスワード以外の設定も出荷時設定に戻ります)
本商品に設定されてい る暗号の種類や暗号化 キーが分からない	本商品に AOSS 設定がされている場合は、本商品の設定画面より暗号の種類と暗号化キーを確認することができます。確認方法は、「AOSS 接続で設定された内容を確認する」(P166)を参照してください。 ただし、AOSS を使用せずに手動で暗号化の設定を行った場合は、「WPS 用無線セキュリティ設定」(P112)の画面にて確認することができます。
本商品の出荷時設定を知りたい	本商品の出荷時設定の SSID と暗号化キーは、本商品側面の出荷時設定ラベル(P28)で確認することができます。また、すべての出荷時設定については、「初期設定一覧」(P332)を参照してください。

第 10 章 困ったときは

MEMO



付録

製品仕様

無線 LAN インター フェース部	準拠規格	無線 LAN 標準プロトコル IEEE802.11n / IEEE802.11g / IEEE802.11b ARIB STD-T66 (IEEE802.11g/IEEE802.11b) (小電力データ通信システム規格)	
伝送方式		多入力多出力直交周波数分割多重変調(MIMO-OFDM)方式 直交周波数分割多重変調(OFDM)方式 直接拡散型スペクトラム拡散(DS-SS)方式 単信(半二重)	
	データ転送速度	IEEE802.11n 20MHz Channel <800nsGI>	
	(オートセンス)	13/26/39/52/78/104/117/130Mbps (mcs8-15) 6.5/13/19.5/26/39/52/58.5/65Mbps (mcs0-7)	
		IEEE802.11n 40MHz Channel <800nsGI>	
		27.0/54.0/81.0/108.0/162.0/216.0/243.0/270.0Mbps (mcs8-15) 13.5/27.0/40.5/54.0/81.0/108.0/121.5/135Mbps (mcs0-7)	
		IEEE802.11n 40MHz Channel <400nsGI>	
		300.0Mbps (mcs15) 150.0Mbps (mcs7)	
		OFDM 6/9/12/18/24/36/48/54Mbps	
アクセス方式		DS-SS、CCK 1/2/5.5/11Mbps	
		インフラストラクチャーモード、WDS モード	
	周波数範囲 (中心周波数)	IEEE802.11b/g 1 ~ 13ch (2412 ~ 2472MHz)	
		※ 基本的に携帯電話、コードレスホン、テレビ、ラジオ等とは 混信しませんが、これらの機器が 2.4GHz 帯の無線を使用 する場合は、混信が発生する可能性があります。	
	セキュリティ	AOSS、WPA-PSK(TKIP/AES)、WPA2-PSK(TKIP/AES)、WEP(128/64bit)、プライバシーセパレータ、Any 接続拒否 /SSID ステルス機能、MAC アクセス制限機能	
有線 LAN	準拠規格	IEEE802.3u (100BASE-TX)	
インター フェース部		IEEE802.3 (10BASE-T)	
	データ転送速度	10/100Mbps(自動認識)	
	データ伝送 モード	半二重/全二重(自動認識)	
	ポート	100BASE-TX/10BASE-T 兼用ポート×4 (AUTO-MDIX)	

Internet 側	準拠規格	IEEE802.3u (100BASE-TX)	
インター フェース部		IEEE802.3 (10BASE-T)	
	データ転送速度	10/100Mbps(自動認識)	
	データ伝送 モード	半二重/全二重(自動認識)	
	ポート	100BASE-TX/10BASE-T 兼用ポート×1 (AUTO-MDIX)	
使用電源		AC100V ± 10% 50/60Hz	
消費電力		最大 7.6W	
動作温度/動	作湿度	0~40℃/10~90%(結露なきこと)	
重量		193g (本体のみ)	
外形寸法		143 (H) × 24 (W) × 127 (D) mm (スタンドを含まず)	

ケーブル仕様

ケーブルタイプと仕様				
ケーブル タイプ 最大長 コネクター				
10BASE-T	カテゴリー3、4、5 UTP/STP	100m	RJ-45	
100BASE-TX	カテゴリー5 UTP/STP	100m	RJ-45	

ツイストペアケーブルとポート仕様



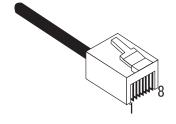
LANポートに、電話のモジュラーケーブルを差し込まないでください。電話のモジュラーケーブ ルを差し込むと、故障の原因となります。必ず、RJ-45 コネクターを装備し、規格に適合している ツイストペアケーブルを使用してください。

100BASE-TX/10BASE-T 接続の場合、2 対ツイストペアケーブルが必要です。2 種類の色でそれぞれ のワイヤーペアを識別します。たとえば、一方を赤、もう一方を白のストライプが入った赤にする などです。さらに、ケーブルの両端に RJ-45 コネクターが必要です。



お知らせ

ワイヤペアを決まった向きで RJ-45 コネクターに接続する必要があります。





LAN ポート仕様

100BASE-TX/10BASE-T で使用されているケーブルでは、1 番ピンと 2 番ピンをデータ送信に使用し、3 番ピンと 6 番ピンをデータ受信に使用します。

本商品は全ポートで AUTO-MDIX に対応していますので、パソコンやハブとのあらゆるネットワーク接続にストレートケーブルを使用できます。

次の表に、100BASE-TX/10BASE-T MDI ポートと MDI-X ポートのピン割り当てを示します。

ピン番号	MDIX/MDI 信号	信号機能(MDI/MDIX)
1	RD+/TD+	受信データ(+)/送信データ(+)
2	RD-/TD-	受信データ(-)/送信データ(-)
3	TD+/RD+	送信データ(+)/受信データ(+)
4	(Not Use)	未使用
5	(Not Use)	未使用
6	TD-/RD-	送信データ(-)/受信データ(-)
7	(Not Use)	未使用
8	(Not Use)	未使用

^{※ +}と-は、各ワイヤーペアを構成するワイヤーの極性を表します。

初期設定一覧

機能	パラメーター	出荷時設定
Internet (ルータモード時のみ)	IP アドレス取得方法	インターネット@スタートを行う
()D) L [14](0)(0)	デフォルトゲートウェイ	空欄
	DNS(ネーム)サーバ アドレス	空欄
	Internet 側 MAC アドレス	デフォルトの MAC アドレスを使用
	Internet 側 MTU 値	1500 バイト
PPPoE (ルータモード時のみ)	デフォルトの接続先	なし
(ルータモート时のみ)	IP Unnumbered 使用時の 接続先	なし
	PPPoE 接続先リスト	未登録
	接続先経路の表示	未登録

初期設定一覧

機能	パラメーター	出荷時設定
PPTP サーバ	自動入力	なし
(ルータモード時のみ) 	LAN 側 IP アドレス	192.168.1.1 (255.255.255.0)
	DHCP サーバ機能	使用する
	割り当て IP アドレス	192.168.1.2 から 64 台
	PPTP サーバ機能	使用しない
	認証方法	MS-CHAPv2 認証(40/128bits 暗号 鍵)
	サーバ IP アドレス	自動設定
	クライアント IP アドレス	自動設定
	DNS サーバの IP アドレス	光 LINK ルータ W200 の LAN 側 IP アドレス
	WINS サーバの IP アドレス	空欄
	MTU/MRU 値	1396 バイト
	PPTP 接続ユーザの表示	なし

機能	パラメーター	出荷時設定
LAN	LAN 側 IP アドレス	ルータモード時: 192.168.1.1 (255.255.255.0)
		ブリッジモード時: 192.168.1.201 (255.255.255.0)
		リピータモード時: 192.168.1.202 (255.255.255.0)
	DHCP サーバ機能 (ルータモード時のみ)	使用する
	割り当て IP アドレス (ルータモード時のみ)	192.168.1.2 から 64 台
	LAN 側 IP アドレス (IP Unnumbered 用) (ルータモード時のみ)	空欄
	リース期間 (ルータモード時のみ)	48 時間
	デフォルトゲートウェイ の通知(ルータモード時 のみ)	光 LINK ルータ W200 の LAN 側 IP アドレス
	DNS サーバの通知 (ルータモード時のみ)	光 LINK ルータ W200 の LAN 側 IP アドレス
	WINS サーバの通知 (ルータモード時のみ)	通知しない
	ドメイン名の通知 (ルータモード時のみ)	取得済みのドメイン名
	デフォルトゲートウェイ (ブリッジ/リピータモー ド時のみ)	空欄
	DNS(ネーム)サーバア ドレス(ブリッジ / リ ピータモード時のみ)	空欄
DHCP リース (ルータモード時のみ)	リース情報	なし
アドレス変換	アドレス変換	使用する
(ルータモード時のみ) 	破棄パケットのログ表示	出力しない
経路情報	経路情報	なし
RIP	Internet 側 RIP 送信 (ルータモード時のみ)	なし
	Internet 側 RIP 受信 (ルータモード時のみ)	なし
	LAN 側 RIP 送信 (ルータモード時のみ)	なし
	LAN 側 RIP 受信	RIP1 と RIP2 両方

機能	パラメーター	出荷時設定
WPS	WPS 機能	使用する
	外部 Registrar	要求を受け付ける
	光 LINK ルータ W200PIN コード	本商品のラベルに記載の PIN コード が設定済み
	Enrollee Ø PIN ⊐−ド	空欄
	WPS 用無線セキュリティ 設定	WPS ステータス: configured
		セキュリティ: WPA/WPA2 mixedmode - PSK TKIP/ AES mixedmode
		SSID/ 暗号鍵: 製品ラベルに記載の値
AOSS	WEP 専用 SSID の暗号化 レベル	AOSS が設定されていないため、 変更不可
	暗号化レベル拡張機能	有効
	WEP 専用 SSID 隔離	無効
	WEP をゲーム専用にする	使用しない
	本体側 AOSS ボタン	使用する
基本 (11n/g/b)	無線機能	使用する
(ルータ/ブリッジモー ド時のみ)	無線チャンネル	自動
	倍速モード	帯域: 20MHz
		拡張チャンネル : なし
	ANY 接続	許可する
	隔離機能	使用しない
	SSID	光 LINK ルータ W200 の MAC アドレスを設定
	無線の認証	WPA/WPA2 mixedmode - PSK
	無線の暗号化	TKIP/AES mixedmode
	WPA-PSK(事前共有 キー)	本商品のラベルに記載の値
	Key 更新間隔	60 分

機能	パラメーター	出荷時設定
パソコン側 (リピータモード時	無線機能	アクセスポイント側の設定を利用する
のみ)	無線チャンネル	自動
	倍速モード	帯域: 20MHz
		拡張チャンネル: なし
	ANY 接続	許可する
	隔離機能	使用しない
	SSID	光 LINK ルータ W200 の MAC アドレスを設定
	無線の認証	WPA/WPA2 mixedmode - PSK
	無線の暗号化	TKIP/AES mixedmode
	WPA-PSK(事前共有 キー)	本商品のラベルに記載の値
	Key 更新間隔	60分
拡張(11n/g/b)	Multicast Rate	自動
	DTIM Period	1
	プライバシーセパレータ	使用しない

機能	パラメーター	出荷田	寺設定	
WMM	WMM	B フレッツ / フレッ ム用パラメータ	/ツ・光フ	゚レミア
	WMM-EDCA パラメータ		AP用	STA 用
	(優先度 AC_BK(低い))	CWmin	15	15
		CWmax	1023	1023
		AIFSN	7	7
		TXOP Limit	0	0
		Admission Control		無効
	WMM-EDCA パラメータ		AP用	STA 用
	(優先度 AC_BE(普通))	CWmin	15	15
		CWmax	63	1023
		AIFSN	3	3
		TXOP Limit	0	0
		Admission Control		無効
	WMM-EDCA パラメータ (優先度 AC_VI(優先))		AP用	STA 用
		CWmin	7	7
		CWmax	15	15
		AIFSN	1	2
		TXOP Limit	94	94
		Admission Control		無効
	WMM-EDCA パラメータ (優先度 AC_VO(最優 先))		AP用	STA 用
		CWmin	3	3
		CWmax	7	7
		AIFSN	1	2
		TXOP Limit	47	47
		Admission Control		無効
MAC アクセス制限	無線パソコンの接続	制限しない	•	•
	登録リスト	未登録		
マルチキャスト制御	Snooping 機能	使用する		
	マルチキャスト Aging Time	300 秒		
ファイアウォール	ログ出力	使用しない		
(ルータモード時のみ)	簡易ルール	「IDENT の要求を持 「INTERNET 側から ない」が有効		

機能	パラメーター	出荷時設定
IP フィルタ	ログ出力	使用しない
(ルータモード時のみ)	IP フィルタ登録情報	なし
IPv6/PPPoE ブリッジ・ VPN パススルー (ルータモード時のみ)	フレッツ IPv6 サービス 対応機能 (IPv6 ブリッジ)	使用する
	PPPoE ブリッジ機能	使用しない
	PPTP パススルー	使用する
ポート変換 (ルータモード時のみ)	ポート変換登録情報	なし
DMZ (ルータモード時のみ)	DMZ のアドレス	なし
UPnP (ルータモード時のみ)	UPnP 機能	使用する
QoS (ルータモード時のみ)	インターネットへの送信 用 QoS	使用しない
本体	機器名	AP + 本商品の LAN 側 MAC アドレス
パスワード	管理ユーザ名	root(変更不可)
	管理パスワード	なし
時刻	日付	2010年1月1日
	時刻	0 時 00 分 00 秒
	タイムゾーン	(GMT+09:00)東京、大阪、ソウル
NTP	NTP 機能	使用する
	サーバ名	ntp.jst.mfeed.ad.jp
	確認時間	24 時間毎
エコ	スケジュール	使用しない
	週間スケジュール	未登録
	ユーザ定義モード	ランプ : オフ
		有線 LAN: エコ(低速動作)
		無線 LAN: オフ
アクセス	ログ出力	使用しない
	制限項目	すべて無効

初期設定一覧

機能	パラメーター	出荷時設定
ログ	ログ情報転送機能	使用しない
	syslog サーバ	空欄
	転送するログの種類	ルータモード時: アドレス変換、IP フィルタ、ファイアウォール、PPPoE クライアント、DHCP サーバ、AOSS、無線 LAN 子機、認証、設定変更、システム起動、NTP クライアント、有線リンクブリッジモード時: IP フィルタ、DHCP クライアント、AOSS、無線 LAN 子機、認証、設定変上、システム起動、NTP クライアント、有線 LAN 子機、認証、設定変上、有線リンクリピータモード時: IP フィルタ、DHCP クライアント、AOSS、無線 LAN 子機、認証、設定変更、システム起動、NTP クライアント、AOSS、無線 LAN 子機、認証、設定変更、システム起動、NTP クライアント、有線リンク

用語集

AES

IEEE802.11i で策定されている次世代暗号化方式です。「WEP」脆弱性の原因は、採用している暗号方式(RC4 暗号)自体に解読手法が存在するためです。「TKIP」にて脆弱性の改善はされていますが、暗号方式自体を抜本的に見直したものが「AES」です。

DHCP サーバ

DHCP サーバはネットワークに関連した情報(IP アドレス、ルータの IP アドレス、ドメイン名など)を管理します。DHCP クライアントが起動すると、自動的にIP アドレスなどの情報を割り振ります。 DHCP サーバがネットワーク上に存在すると、ネットワーク上のパソコンや無線親機に、IP アドレスなどを手動で設定する必要がなくなります。

DNS

コンピュータ名やドメイン名を、それぞれに対応した IP アドレスに変換するシステムです。

IP Unnumbered

他のネットワークに接続するルータの WAN 側ポートに IP アドレスを割り当てず、PPPoE で接続されているプロバイダ側のルータと端末側(宅内)のルータを見かけ上 1 台のルータのように扱う接続方式です。IP Unnumbered機能を使用することで、プロバイダから配布された複数のグローバルIP アドレスを本商品に接続した各パソコンで使用できます。

IP マスカレード

NAT を拡張させた機能で、データの接続元/接続先アドレスに加えて、ポート番号を使ってアドレス変換をします。この機能により、複数のパソコンが異なるポートを用いて同時にインターネットを利用することができます。

MAC アドレス

ネットワーク機器でとの固有の物理アドレスです。先頭からの 3bytes のベンダコード (メーカーの ID) と、残り 3bytes のユーザコードの 6bytes で構成されます。Ethernet ではこのアドレスを元にフレームの送受信を行います。

NAT

LAN 内で使用されるプライベート IP アドレスとインターネットで使用されるグローバル IP アドレスを、1 対 1 で変換する機能です。各パソコンに設定されているプライベート IP アドレスは自動的にグローバル IP アドレスに変換され、インターネットに接続できるようになります。

PPTP

Microsoft 社によって提案された暗号通信のためのプロトコルです。情報を暗号化して送受信し、インターネットを通じて安全に情報をやり取りすることができるため、主に外出先からインターネットを通じて自宅や社内の LAN にアクセスするために使用されます。

RIP1

ルータ間で経路情報を交換するプロトコルです。このやりとりで得た情報をもとにルータはパケットを正しい相手へ送出します。

RIP2

RIP1 に比べ、認証パスワード、サブネットマスクの指定、マルチキャストアドレッシングなどの機能が拡張されています。

SSID

無線機器と無線親機の通信時に混線しないために設定する ID です。無線機器が無線親機と通信するときは、同一の SSID を設定します。

TKIP

無線のデータ暗号化方式である WPA に用いられている暗号化プロトコルです。従来の暗号化方式である「WEP」にあった同じ暗号化キーを使いつづけるため発生する脆弱性を克服するため、キーを自動的に変更し、暗号化を行うように改良された暗号化プロトコルが「TKIP」です。定期的に使用する暗号化キーを変更するため、キーの解析が困難となり、より強固なセキュリティを持った無線LAN を構築することが可能です。

WDS 機能

WDS (Wireless Distribution System) は、無線親機間を無線で通信する機能のことです。WDS機能を利用することで通信距離を延長したり、電波の届かないエリアへの中継が可能となります。

WEP

無線 LAN の規格である 802.11 に追加されたデータを暗号化する機能です。WEP(暗号化)キーに 64 ビット長のデータを使う方式と 128 ビット長のデータを使う方式の 2 つがあります。この WEP(暗号化)キーを元に送受信データを暗号化します。万一、第三者に電波を傍受されても、暗号化されたデータの解読は困難です。ビット数の値が大きいほど(64bit < 128bit)暗号が複雑化し、セキュリティ度が向上します。無線親機に WEP 設定を行なうと、同じ WEP キーを設定した無線機器からしか接続ができなくなります。

WPA

無線 LAN の暗号化方式のひとつで、従来採用されてきた WEP の弱点を補強し、セキュリティ強度を向上させたものです。従来の SSID と WEP キーのセキュリティに加え、Pre-Sheared Key (PSK) や、 PPP Extensible Authentication Protocol (EAP) などを用いて認証を行い、無線親機から配布される暗号化キーで接続させます。また、認証によって配布された暗号化キーを一定時間で自動更新することで、安全性を向上させています。暗号化についても「TKIP」と呼ばれる暗号プロトコルを採用するなど改善が加えられています。

WPA2

WPA が、セキュリティ標準規格「IEEE802.11i」に採用予定であった暗号化の一部から作成さているのに対して、WPA2では正式に策定された「IEEE802.11i」に基づいて作成されています。従来のWPAでは、暗号プロトコルに「TKIP」を採用していましたが、より強力な暗号化技術である「AES」をサポートすることでセキュリティ強度を従来より向上させています。

WPS

WPS (Wi-Fi Protected Setup) は、無線 LAN の普及推進団体である Wi-Fi Alliance によって策定された、無線LANの接続や暗号化など各種セキュリティ設定を簡単に行うための規格です。機器に搭載されたボタンを押すことで接続設定を行うプッシュボタン式と、機器固有情報を相手側機器に登録することで接続設定を行う PIN コード式があり、自動的に接続・セキュリティ設定を行うことができます。

隔離機能

隔離機能を有効にすると、接続している無線機器はインターネット側とだけ通信可能になります。例えば、暗号化にWEPを使用している無線機器を隔離した場合、その機器はインターネット側としか通信できないようになり、悪意あるユーザによりWEPの暗号化キーが解読された場合でも、家庭内のネットワークに進入したり、本商品の設定画面にログインされるといった事態を防ぐことができます。

グローバル IP アドレス

インターネットに直接接続でき、インターネット上では重複しない IP アドレスです。

ゲートウェイ

ネットワークとネットワークを結ぶ機器・パソコン・ソフトウェアです。パケットが LAN の外に出て行くときに通過します。

サブネットマスク

IP アドレスを、ネットワークアドレス番号とホストアドレス番号に分けるための値です。ルータがパケットを送受信するために用いられます。

静的 IP マスカレード

IPマスカレードを拡張させた機能です。ユーザが変換テーブルを指定することで、特定の外部からのデータが通過できます。セキュリティを保持しながら、ネットゲームや再生型アプリケーションなどが使用可能になります。

ドメイン名

インターネットに接続するコンピュータはIPアドレスと呼ばれる数字を使って識別されていますが、ドメイン名は数字よりも簡単に覚えられるようにと考えられた文字で表現された名前です。

パケット

ネットワーク上を流れるデータの単位です。ヘッダ(宛先アドレスや送信元アドレス)と情報データ(実データ)から構成されます。

パケットフィルタリング

通信セキュリティ機能の一つで、パケットの宛先アドレスや送信元アドレスを読み取り、ユーザが設定したルールに従ってパケットの通過・遮断を判断します。

プライバシーセパレータ

プライバシーセパレータは、1台の無線親機に直接無線接続している機器間の通信(共有フォルダー等へのアクセス等)を禁止するセキュリティ機能です。

プライベート IP アドレス

インターネットに直接接続せず、閉じたネットワーク内同士であれば、重複して自由に使用することができる IP アドレスです。プライベート IP アドレスには、次のような種類があります。

クラス A :10.xxx.xxx.xxx/255.0.0.0

クラスB :172.16.0.0 \sim 172.31.255.255/255.255.0.0

クラス C :192.168.xxx.xxx/255.255.255.0

マルチセキュリティ

本商品における「マルチセキュリティ」とは、異なる暗号化レベル(WEP/TKIP/AES)を混在して使用できる機能です。パソコンとゲーム機が混在する環境において、従来の無線設定では、すべての機器を最も暗号化レベルの低い機器に合わせる必要がありました。マルチセキュリティ機能を使用すると、WEP、TKIP、AES 環境を混在できるため、暗号化レベルの異なる機器がある環境でも、高いセキュリティを維持できます。

メトリック

宛先ネットワークとの距離を表すパラメータ(計測単位)を示す一般用語です。あるネットワークにたどり着くのに複数の経路がある場合、ルータはメトリックが小さい経路の方が近いと判断し、そちらの方にパケットを転送します。

ルーティングテーブル

ルータが保持するパケットの配送先に関する経路情報一覧です。

保守サービスのご案内

保証について

保証期間(I年間)中の故障につきましては、「保証書」の記載に基づき当社が無償で修理いたしますので、「保証書」は大切に保管してください。(詳しくは、「保証書」の無料修理規定をご覧ください。)

保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

定額保守サービス	毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理 を行うサービスです。 (保証対象外の故障修理は有料となります。)
実費保守サービス	・修理に要した費用をいただきます。(修理費として、お客様宅へお伺いするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。) (故障内容によっては、高額になる場合もありますのでご了承ください。)
	・当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、 お客様宅へお伺いするための費用は不要となります。

補修用部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品(商品の性能を維持するために必要な部品)は、製造打ち切り後、原則7年保有しております。

設定内容一覧表

お客様が本商品に対して設定した内容をご記入ください。

機能	パラメーター	設定値
Internet (ルータモード時のみ)	IP アドレス取得方法	
(ルータモート时のみ)	デフォルトゲートウェイ	
	DNS(ネーム)サーバ アドレス	
	Internet 側 MAC アドレス	
	Internet 側 MTU 値	
PPPoE	デフォルトの接続先	
(ルータモード時のみ) 	IP Unnumbered 使用時の 接続先	
	PPPoE 接続先リスト	
	接続先経路の表示	
PPTP サーバ	自動入力	
(ルータモード時のみ) 	LAN 側 IP アドレス	
	DHCP サーバ機能	
	割り当て IP アドレス	
	PPTP サーバ機能	
	認証方法	
	サーバ IP アドレス	
	クライアント IP アドレス	
	DNS サーバの IP アドレス	
	WINS サーバの IP アドレス	
	MTU/MRU 値	
	PPTP 接続ユーザの表示	

機能	パラメーター	設定値
LAN	LAN 側 IP アドレス	
	DHCP サーバ機能 (ルータモード時のみ)	
	割り当て IP アドレス (ルータモード時のみ)	
	LAN 側 IP アドレス (IP Unnumbered 用) (ルータモード時のみ)	
	リース期間 (ルータモード時のみ)	
	デフォルトゲートウェイ の通知(ルータモード時 のみ)	
	DNS サーバの通知 (ルータモード時のみ)	
	WINS サーバの通知 (ルータモード時のみ)	
	ドメイン名の通知 (ルータモード時のみ)	
	デフォルトゲートウェイ (ブリッジ/リピータモー ド時のみ)	
	DNS(ネーム)サーバア ドレス(ブリッジ / リ ピータモード時のみ)	
DHCP リース (ルータモード時のみ)	リース情報	
アドレス変換 (ルータモード時のみ)	アドレス変換 破棄パケットのログ表示	
経路情報	経路情報	
RIP	Internet 側 RIP 送信 (ルータモード時のみ)	
	Internet 側 RIP 受信 (ルータモード時のみ)	
	LAN 側 RIP 送信 (ルータモード時のみ)	
	LAN 側 RIP 受信	

機能	パラメーター	設定値
WPS	WPS 機能	
	外部 Registrar	
	光 LINK ルータ W200PIN コード	
	Enrollee の PIN コード	
	WPS 用無線セキュリティ 設定	
AOSS	WEP 専用 SSID の暗号化 レベル	
	暗号化レベル拡張機能	
	WEP 専用 SSID 隔離	
	WEP をゲーム専用にする	
	本体側 AOSS ボタン	
基本 (11n/g/b)	無線機能	
(ルータ/ブリッジモー ド時のみ)	無線チャンネル	
	倍速モード	
	ANY 接続	
	隔離機能	
	SSID	
	無線の認証	
	無線の暗号化	
	WPA-PSK(事前共有 キー)	
	Key 更新間隔	
パソコン側 (リピータモード時	無線機能	
(りピータモート時	無線チャンネル	
	倍速モード	
	ANY 接続	
	隔離機能	
	SSID	
	無線の認証	
	無線の暗号化	
	WPA-PSK(事前共有 キー)	
	Key 更新間隔	

機能	パラメーター	設定	定値	
拡張(11n/g/b)	Multicast Rate			
	DTIM Period			
	プライバシーセパレータ			
WMM	WMM			
	WMM-EDCA パラメータ		AP用	STA 用
	(優先度 AC_BK(低い))	CWmin		
		CWmax		
		AIFSN		
		TXOP Limit		
		Admission Control		
	WMM-EDCA パラメータ		AP用	STA 用
	(優先度 AC_BE(普通))	CWmin		
		CWmax		
		AIFSN		
		TXOP Limit		
		Admission Control		
	WMM-EDCA パラメータ (優先度 AC_VI(優先))		AP用	STA 用
		CWmin		
		CWmax		
		AIFSN		
		TXOP Limit		
		Admission Control		
	WMM-EDCA パラメータ (優先度 AC_VO(最優 先))		AP用	STA 用
		CWmin		
		CWmax		
		AIFSN		
		TXOP Limit		
		Admission Control		
MAC アクセス制限	無線パソコンの接続			
	登録リスト			
マルチキャスト制御	Snooping 機能			
	マルチキャスト Aging Time			

機能	パラメーター	設定値
ファイアウォール (ルータモード時のみ)	ログ出力	
(ルータモード時のみ)	簡易ルール	
IP フィルタ	ログ出力	
(ルータモード時のみ)	IP フィルタ登録情報	
IPv6/PPPoE ブリッジ・ VPN パススルー (ルータモード時のみ)	フレッツ IPv6 サービス 対応機能 (IPv6 ブリッジ)	
	PPPoE ブリッジ機能	
	PPTP パススルー	
ポート変換 (ルータモード時のみ)	ポート変換登録情報	
DMZ (ルータモード時のみ)	DMZ のアドレス	
UPnP (ルータモード時のみ)	UPnP 機能	
QoS (ルータモード時のみ)	インターネットへの送信 用 QoS	
本体	機器名	
パスワード	管理ユーザ名	
	管理パスワード	
時刻	日付	
	時刻	
	タイムゾーン	
NTP	NTP 機能	
	サーバ名	
	確認時間	
エコ	スケジュール	
	週間スケジュール	
	ユーザ定義モード	
アクセス	ログ出力	
	制限項目	

機能	パラメーター	設定値
ログ	ログ情報転送機能	
	syslog サーバ	
	転送するログの種類	

索引

TOUBASE-TX. 21, 331 10BASE-T. 21, 331 10BASE-T. 21, 331 10BASE-T. 21, 331 10BASE-T. 21, 331 22, 133, 135 331	数字	さ行		
アルファベット AES. 21, 118, 122, 133, 135, 340 ANY 接続拒否 173 AOSS 接続 259, 262, 269 AOSS ボタン 215, 264, 270 DHCP サーバ 340 DIAG ランブ 26 DMZ 185 DNS 340 IEEE802.11b 21 IEEE802.11b 21 IEEE802.11b 21 IEEE802.11b 19 175 MAC アクセス制限 175 MAC アクセス制限 175 MAC アドレス 133, 135, 340 NTP 機能 150 PPTP 101, 297, 340 RIP 1118, 122, 133, 135, 341 WDS 機能 341 WDS 機能 341 WPA 21, 118, 122, 133, 135, 341 WPA 21, 134, 124, 1341 TKIP 21, 118, 122, 133, 135, 341 WPA 21, 134, 122, 133, 135, 341 WPS (PIN コード式) 260, 274, 281 WPS (アッシュボタン式) 259, 262, 269 あ行 暗号化キー 112, 114 暗号化の種類 112, 118, 122, 133, 135 おまかせ節電機能 180, 342				
AES. 21, 118, 122, 133, 135, 340 ANY 接続拒否 259, 262, 269 AOSS ボタン 215, 264, 270 DHCP サーバ 340 DIAG ランプ 26 DMZ 185 DNS 340 IEEE802.11b 21 IEEE802.11b 21 IEEE802.11b 21 IEEE802.11b 21 IEEE802.11b 21 IEEE802.11b 175 MAC アクセス制限 175 MAC アトレス 133, 135, 340 NTP 機能 510 PPTP 101, 297, 340 RIP 111, 341 ROUTER スイッチ 27 SSID 17, 121, 341 TKIP 21, 118, 122, 133, 135, 341 WDS 機能 341 WPA 21, 118, 122, 133, 135, 341 WPA 21, 341 WPA 21, 341 WPS (PIN コード式) 260, 274, 281 WPS (アッシュボタン式) 259, 262, 269 か行 「	10BASE-121, 331			
AES				
AES	アルファベット			
ANY 接続拒否 259, 262, 269 AOSS ボタン 215, 264, 270 DHCP サーバ 340 DIAG ランプ 26 DMZ 5185 DNS 340 IEEE802.11b 21 IEEE802.11g 21 IEEE802.11g 21 IEEE802.11g 19 7 340 MAC アウセス制限 175 MAC アドレス 133, 135, 340 NTP 機能 510 PPTP 101, 297, 340 RIP 111, 341 ROUTER スイッチ 27 SSID 117, 121, 341 TKIP 21, 118, 122, 133, 135, 341 WDS 機能 341 WPA 21, 118, 122, 133, 135, 341 WPA 21, 118, 122, 133, 135, 341 WPA (PIN コード式) 260, 274, 281 WPS (PIN コード式) 260, 274, 281 WPS (アッシュボタン式) 259, 262, 269 か行 隔離機能 180, 342	AEC 04 440 400 400 405 040	接続先ユーザ名29		
AOSS 接続		設定画面81		
AOSS ボタン 215, 264, 270 DHCP サーバ 340 DIAG ランプ 26 DMZ 185 DMZ 185 DNS 340 IEEE802.11b 21 IEEE802.11g 21 IEEE802.11m 21 IP Unnumbered 197, 340 MAC アクセス制限 175 MAC アドレス 133, 135, 340 NTP 機能 150 PPTP 101, 297, 340 RIP 21, 118, 122, 133, 135, 341 WDS 機能 341 WPA 21, 118, 122, 133, 135, 341 WPA 31, 118, 122, 133, 135, 341 WPA 31, 122, 133, 135, 341 WPA 31				
DHCP サーバ 340 DIAG ランプ 26 DMZ 50NS 340 IEEE802.11b 21 IEEE802.11b 21 IEEE802.11n 21 IP Unnumbered 197, 340 MAC アクセス制限 175 MAC アドレス 133, 135, 340 NTP 機能 150 PPTP 101, 297, 340 RIP 111, 341 ROUTER スイッチ 27 SSID 117, 121, 341 TKIP 21, 118, 122, 133, 135, 341 WDS 機能 341 WDS 機能 341 WPA 21, 341 WPS (PIN コード式) 260, 274, 281 WPS (アッシュボタン式) 259, 262, 269 か行 隔離機能 180, 342		た行		
DMZ				
DNS	DIAG ランプ26			
IEEE 802.11b		電波混雑防止機能21, 171		
IEEE802.11g				
IEEE802.11n		は行		
F Unnumbered				
MAC アドレス				
NTP機能	MAC アクセス制限175			
PPTP				
RIP		プレッツ・スクリェア186		
ROUTER スイッチ				
SSID	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	ま行		
TKIP				
WDS 機能				
WEP	WDS 機能341			
WPA				
WPS (PIN コード式)	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	7. (1. (1. (1. (1. (1. (1. (1. (1. (1. (1		
WPS (プッシュボタン式) 259, 262, 269 あ行 暗号化キー		s (=		
カ行 暗号化キー112, 114 暗号化の種類112, 118, 122, 133, 135 おまかせ節電機能163 か行 隔離機能180, 342	WPS (PIN コート式)200, 2/4, 281 WPS (プッシュボタンボ) 250, 262, 260	517		
あ行 暗号化キー112, 114 暗号化の種類112, 118, 122, 133, 135 おまかせ節電機能163 か行 隔離機能180, 342	WI 3 (7 7 7 1 M 7 7 M) 239, 202, 209	ログアウト 82		
暗号化キー	女仁	H / / /		
暗号化の種類112, 118, 122, 133, 135 おまかせ節電機能	の 1丁			
暗号化の種類112, 118, 122, 133, 135 おまかせ節電機能	暗号化キー112, 114			
か行 隔離機能180, 342				
隔離機能180, 342	おまかせ節電機能163			
	か行			

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報やバージョンアップサービスなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことを推奨します。

当社ホームページ:

[NTT東日本] http://web116.jp/ced/

[NTT西日本] http://www.ntt-west.co.jp/kiki/

本商品について、不明な点などがございましたら、以下にお問い合わせください。

- ■NTT東日本エリア(北海道、東北、関東、甲信越地区)でご利用のお客様
 - ●本商品のお取り扱いに関するお問い合わせ

お問い合わせ先: [FREE] 0120-970413 (9:00~17:00)

携帯電話・PHS・050IP電話からご利用の場合

03-5667-7100 (通話料金がかかります)

※年末年始12月29日~1月3日は休業とさせていただきます。

●故障に関するお問い合わせ

お問い合わせ先: 00 0120-000113 (24時間 年中無休)

※17:00~翌日9:00までは、録音にて受付しており順次ご対応いたします。

※故障修理などの対応時間は9:00~17:00です。

- ■NTT西日本エリア(東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区)でご利用のお客様
 - ●本商品の取り扱いおよび故障に関するお問い合わせ

□お問い合わせ先: IRREI 0120-248995

(携帯電話・PHSからも利用可能です。)

□受付時間

- 本商品のお取り扱いに関するお問合せ:
- 9:00~17:00 (年末年始12月29日~1月3日を除く)
- ・故障に関するお問合せ: 24時間(年中無休)※

※17:00~翌日9:00までは、録音にて受付しており順次ご対応いたします。

※故障修理対応時間は9:00~17:00です。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

